ＪＡＨＩＳ標準　ＸＸ－ＸＸＸ

ＪＡＨＩＳ
処方データ交換規約
Ｖｅｒ．３．０Ｃ

２０１７年○月

一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会
医療システム部会　相互運用性委員会

ＪＡＨＩＳ 処方データ交換規約 Ｖｅｒ．３．０Ｃ

ま え が き

従来より HIS（病院情報システム）と病院内部門システム間のデータ交換において、メーカ間での統一はもとより、同一メーカにおいても導入ユーザによってその仕様が異なり、接続する際には多くの手間と時間を要していた。また、地域連携や病診連携等で病院内外でのデータ交換の必要性が求められる中、処方データ交換規約の策定が重要な課題となってきた。そうした状況を踏まえ、一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会（JAHIS）では、これまで、2001 年 9 月に「処方データ交換規約 Ver.1.0」、2003 年 2 月に HL7 Ver.2.4 に準拠した「処方データ交換規約 Ver.1.1」、2008 年 3 月に HL7 Ver.2.5 に準拠した「処方データ交換規約 Ver.2.0」を発行してきた。

その後、内服薬処方せんの記載方法に関する課題やその標準化などを目的として、厚生労働省は「内服薬処方せんの記載方法の在り方に関する検討会」を発足し、2010 年 1 月に内服薬処方せんの在るべき姿とそこに至る段階的方策として「内服薬処方せんの記載方法の在り方に関する検討会報告書」が公開された。本報告書を受けて、JAHIS では、2011 年 6 月に JAHIS 技術文書として「処方オーダシステムに関する共通仕様化ガイドライン」を発行した。

2012 年 2 月に日本医療情報学会標準（JAMI 標準）として、処方オーダリングシステム用標準用法「服用回数、服用タイミングに関する標準用法マスタ」（以下、JAMI 標準用法マスタ）が公開された。さらに、2012 年 3 月に厚生労働省より処方せんに記載する一般名処方の標準的な記載として「一般名処方マスタ」が公開された。このような状況を踏まえて、JAMI 標準用法マスタに対応した「処方データ交換規約 Ver.2.1」を 2013 年 5 月に制定した。

その後、2015 年 7 月に各 JAHIS データ交換規約にて共通的に取り扱われている内容を分冊化した「JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.1」が策定された。2016 年 2 月には、JAMI 標準用法マスタに注射用法、スケジュール用法、不均等投与などの用法を追加した「処方・注射オーダ標準用法規格」（以下、JAMI 標準用法規格）が公開された。そこで、「JAHIS データ交換規約 共通編」や「JAHIS 注射データ交換規約」等の最新の JAHIS 標準との整合性をとりながら、「JAMI 標準用法規格」に対応し、対象範囲として新たに処方実施情報などを追加した本規約をとりまとめた。

「JAHIS 処方データ交換規約」は 2014 年 12 月、HELICS の医療情報標準化指針に採択され、その後、2016 年 3 月、厚生労働省標準規格に認定された。本規約に基づくインターフェースが多くのシステムに実装され、処方データ交換の標準化および普及に貢献できれば幸いである。

２０１７年○月

一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会
医療システム部会 相互運用性委員会

＜＜ 告知事項 ＞＞

本規約は関連団体の所属の有無に関わらず、規約の引用を明示することで自由に使用することができるものとします。ただし一部の改変を伴う場合は個々の責任において行い、本規約に準拠する旨を表現することは厳禁するものとします。

本規約ならびに本規約に基づいたシステムの導入・運用についてのあらゆる障害や損害について、本規約作成者は何らの責任を負わないものとします。ただし、関連団体所属の正規の資格者は本規約についての疑義を作成者に申し入れることができ、作成者はこれに誠意をもって協議するものとします。

© JAHIS 2017

目　次

1.　はじめに..1

2.　使用している HL7 について..2

2.1　概要 2
2.2　メッセージ..2
2.3　フィールド..2
2.4　メッセージ区切り文字..2
2.5　データ型 2

3.　主な用語..3

4.　JAHIS 標準テーブル 4

4.1　処方データ交換規約定義のテーブル 4
4.2　その他の HL7 定義以外のテーブル 6

5.　処方データ交換規約の対象範囲 7

6.　処方関連メッセージ構文 9

6.1　処方指示情報通知(RDE/RRE) 9
6.2　処方実施情報通知(RAS/RRA) 12
6.3　患者所在情報照会(QBP/RSP) 14
6.4　処方指示情報照会(QBP/RSP) 15
6.5　処方実施情報照会(QBP/RSP) 16

7.　関連セグメント詳細 18

7.1　AL1 - PATIENT ALLERGY INFORMATION SEGMENT　患者アレルギー情報セグメント........................19
7.2　CTI - CLINICAL TRIAL IDENTIFICATION SEGMENT　治験識別セグメント 19
7.3　ERR - ERROR SEGMENT　エラー情報セグメント 20
7.4　IN1 - INSURANCE SEGMENT 保険セグメント........................20
7.5　MSA - MESSAGE ACKNOWLEDGMENT SEGMENT　メッセージ識別セグメント 20
7.6　MSH - MESSAGE HEADER SEGMENT　メッセージヘッダーセグメント 20
7.7　OBX - OBSERVATION/RESULT SEGMENT　検査結果セグメント 21
7.8　ORC - ORDER COMMON SEGMENT　共通オーダセグメント 26
7.9　PID - PATIENT IDENTIFICATION SEGMENT　患者識別セグメント........................47
7.10　PV1 - PATIENT VISIT SEGMENT　来院情報セグメント 47
7.11　QAK - QUERY ACKNOWLEDGMENT SEGMENT　照会認知セグメント 47
7.12　QPD - QUERY PARAMETER DEFINITION SEGMENT 照会パラメータセグメント 48
7.13　RCP – RESPONSE CONTROL PARAMETER SEGMENT 応答コントロールパラメータセグメント ..49
7.14　RXA - PHARMACY/TREATMENT ADMINISTRATION SEGMENT　薬剤／処置投薬セグメント..........50
7.15　RXE - PHARMACY/TREATMENT ENCODED ORDER SEGMENT　薬剤／処置コード化したオーダセグメント........................57
7.16　RXR - PHARMACY/TREATMENT ROUTE SEGMENT　投薬経路セグメント........................72
7.17　TQ1 - TIMING/QUANTITY SEGMENT　タイミング/数量セグメント 76

付録－１．処方区分、用法ごとのフィールドへのセット内容 92

付録－２．JAMI 標準用法規格における補足用法コードの使用方法とその例 93

（１）日数間隔指定........................93
（２）曜日指定........................93
（３）日付指定........................93
（４）指定期間内回数指定 94

© JAHIS 2017

（５） 不均等 94
付録－３．メッセージ使用例 96
（１）内服薬 98
（２）外用薬 104
（３）坐薬 107
（４）麻薬 110
（５）頓服薬 113
（６）漸増（漸減）投与 116
（７）隔日投与 121
（８）曜日指定投与 124
（９）不均等投与 127
（１０）交互投与 130
（１１）在宅自己注射 134
（１２）処方実施 137
(A-1) 患者情報の照会 140
(A-2) 患者情報の応答 140
(B-1) 処方依頼情報照会メッセージ 141
(B-2) 処方依頼情報応答メッセージ 142
(C-1) 処方実施情報照会メッセージ 149
(C-2) 処方実施情報応答メッセージ 150
付録－４．作成者名簿 153
改訂履歴 154

© JAHIS 2017

1. はじめに

JAHIS 処方データ交換規約 Ver.2.1 の制定から約４年が経ち、2014 年１月に各 JAHIS データ交換規約の共通的な内容をまとめた「JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.0」が策定され、2015 年７月にその改訂版（Ver.1.1）が策定された。また、2016 年２月に JAMI 標準用法マスタの改訂版である JAMI 標準用法規格が公開された。

上記の規格類やJAHIS 実証実験の検証結果、日本HL7協会の適合性認定委員会、および、HELICS協議会からの指摘事項などを踏まえて、以下の点について変更を行った。

（１）「JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.1」との整合
（２）JAMI標準用法規格における拡張内容の取り込み
（３）処方実施情報、在宅自己注射、持参薬処方への対応
（４）JHSP表の新規定義
　　　JHSP表 0005：１日の中での服用開始タイミング
　　　JHSP表 0006：服用実施タイミング
　　　JHSP表 0007：処方区分
（５）コメント類をセットするフィールドを変更（RXE-21→RXE-7）
（６）HL7 関係の説明における不適切な日本語訳の修正
（７）メッセージ使用例の見直し

なお、本規約はJAHISデータ交換規約 共通編と差異がある部分だけを記載した構成になっているため、JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.1との併読を前提としている事を留意いただきたい。本規約のバージョンの後に“C”という接尾辞があるが、これはJAHIS データ交換規約 共通編を参照していることを意味している。

規約の策定にあたっては、ISO 規格として制定されているHL7 Ver.2.5 日本語版より処方関連部分をとりまとめ、不足する項目および日本の実情に合わないテーブルについては、追加・差し替えを行い、解釈が曖昧になりやすい部分については、処方データに限定した注釈を加えている。また、メッセージ使用例については、日本の処方例をもとに作成し、付録として追加した。この JAHIS 標準が活用され、HL7 の普及が促進されることを期待する。本規約の策定にあたって、ご指導ご鞭撻を賜った諸先生方と関係団体の皆様には、心から感謝する。

© JAHIS 2017

2. 使用している HL7 について

2.1 概要

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.1「２．使用している HL7 について」を参照のこと。

2.2 メッセージ

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.1「２．使用している HL7 について」を参照のこと。

2.3 フィールド

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.1「２．使用している HL7 について」を参照のこと。

2.4 メッセージ区切り文字

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.1「２．使用している HL7 について」を参照のこと。

2.5 データ型

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.1「２．使用している HL7 について」を参照のこと。

© JAHIS 2017

3. 主な用語

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.1「３．主な用語」を参照のこと。
以下に共通編との差異を記載する。

用法　　：医薬品を使用する際の使用方法。投与回数、投与期間、投与部位などを指定する。
用量　　：医薬品を使用する際の使用量。
Rp　　　：薬剤や用量、投与方法などが同一である一連の投与指示単位。

用法種別：内服、外用、頓用といった Rp ごとの用法の大分類。
処方区分：処方業務に関わる　調剤の場所と処方指示の出方ルール。外来処方、院内処方、院外処方、入院処方、退院処方、定期処方、臨時処方といった処方業務に関わる区分

休薬期間：服用期間中に一時的に服薬しない期間

※用法における服薬、休薬期間の関係　（○：服薬日　－：休薬日）

	１日目	２日目	３日目	４日目	５日目	６日目	７日目	…
２日おき	○	－	－	○	－	－	○	…
２日ごと	○	－	○	－	○	－	○	…

部門システム：部門業務を担う情報システム。HIS (Hospital Information System)から受け取った患者情報やオーダ情報などを部門業務で活用するとともに部門で発生した情報を HIS などへ伝達する。

HOT コード：日本病院薬剤師会と医療情報システム開発センター（MEDIS-DC）が開発した医薬品マスタ。基本の７桁に販売会社コード２桁、包装形態２桁、包装数量２桁をあわせた１３桁からなる。
JLAC10　　：日本臨床検査医学会が開発した臨床検査項目コード。検査項目を、分析物、材料、分析対象識別、測定法、結果識別の５項目により分類し、これらをあわせて、１５桁ないし１７桁のコードとしたもの。
処方・注射オーダ標準用法規格：日本医療情報学会が制定した、処方オーダシステムおよび注射オーダシステムで使用する用法（服用や注射の方法、回数、タイミング等）の標準的な記述方法に関する規格。基本の用法コード１６桁と補足用法コード８桁を必要に応じて組み合わせる。

© JAHIS 2017

4. JAHIS 標準テーブル

4.1 処方データ交換規約定義のテーブル

処方データでは処方区分などの情報が必要である。HL7 であらかじめ用意されているものがあればそれを活用するが、本規約では存在しない項目について以下のように JHSP 表およびそのコーディングシステム名と OID を定義した。

JHSP 表は HL7 表と同様にコードの追加・変更・削除はできない。

JHSP表 0001　依頼者の処方指示

（コーディングシステム名：JHSP0001）

Value	Description
1	緊急
2	保管
3	薬剤情報提供文書発行
4	健康手帳に記載し、かつ薬剤情報提供文書発行

＊RXE−7で使用する

JHSP表 0002　調剤特別指示

（コーディングシステム名：JHSP0002）

Value	Description
A	別包指示
B	一包化指示
C	混合指示
D	粉砕指示

＊RXE−7で使用する

JHSP表 0003　用法種別

（コーディングシステム名：JHSP0003）

Value	Description
21	内服
22	頓用
23	外用
24	自己注射

＊RXE−7で使用する

JHSP表 0004　薬剤単位

Value	Description
PART	分
TIME	回
KIND	種
BOX	箱
ROLL	巻
PAIR	組
SET	セット
TEAR	裂
DIR	方向
TROC	トローチ
PILL	丸
BTLB	瓶（袋）
TUBE	管
SYRG	シリンジ
DOSE	回分
TEST	テスト分
GCYL	ガラス筒
RODT	桿錠

© JAHIS 2017

Value	Description
TTUN	万単位
FEET	フィート
DROP	滴
KG	Ｋｇ
CC	ｃｃ
MLV	ｍＬＶ
CM	ｃｍ
CM2	ｃｍ２
M	ｍ
MCCI	µＣｉ
MCI	ｍＣｉ
BKR	管（瓶）
PIPE	筒
GBQ	ＧＢｑ
MGBQ	ＭＢｑ
KBQ	ＫＢｑ
KIT	キット
IUNT	国際単位
PAT	患者当り
ATM	気圧
CAN	缶
OPE	手術当り
VSL	容器
MLG	ｍＬ（ｇ）
BLST	ブリスター
SHET	シート

＊MERIT-9 処方オーダ 表4. 単位略号が更新されたため、今後、JHSP表0004は使用しない。
後方互換のために残すものである。

JHSP表 0005　１日の中での服用開始タイミング
（コーディングシステム名：JHSP0005）

Value	Description
NN	NN 回目から服用
NS	指定なし
U	不明

服用開始タイミングとは、朝・昼・夕などの服用タイミング意味し、１日の中での服用順序（NN回目）で表現する。

＊RXE-7で使用する

JHSP表 0006　服用実施タイミング
（コーディングシステム名：JHSP0006）

Value	Description
YYYYMMDDNN	YYYY 年 MM 月 DD 日の NN 回目
NS	指定なし
U	不明

服用実施タイミングは、実際に服用したのがどの指示タイミングのものであったのかを表すために使用する。

ここで、指示タイミングとは、用法指示で予定していた服用日と朝・昼・夕などの服用タイミングを意味し、１日の中での服用順序（NN回目）で表現する。

＊RXA-9で使用する

JHSP表 0007　処方区分
（コーディングシステム名：JHSP0007）

Value	Description
BDP	持参薬処方

MERIT-9 処方オーダ 表7. 処方区分を補足するために使用する。

＊RXE-21で使用する

© JAHIS 2017

コーディングシステム名・OID

表番号	名称	コーディングシステム名	OID
JHSP 表 0001	依頼者の処方指示	JHSP0001	※取得後に記載
JHSP 表 0002	調剤特別指示	JHSP0002	※取得後に記載
JHSP 表 0003	用法種別	JHSP0003	※取得後に記載
JHSP 表 0004	薬剤単位	JHSP0004	−
JHSP 表 0005	１日の中での服用開始タイミング	JHSP0005	※取得後に記載
JHSP 表 0006	服用実施タイミング	JHSP0006	※取得後に記載
JHSP 表 0007	処方区分	JHSP0007	※取得後に記載

4.2 その他の HL7 定義以外のテーブル

本規約においては、HL7の標準定義表および使用者定義表以外の定義表を使用することができる。

HL7で定義された表以外の表を使用する場合、当該テーブルを規定している規約を明らかにする必要がある。要素として　<name of coding system>　を有するデータタイプにおいては、ここにテーブルを規定した規約をあらわす略号を設定する。

本規約においては、次の略号を使用するものとする。

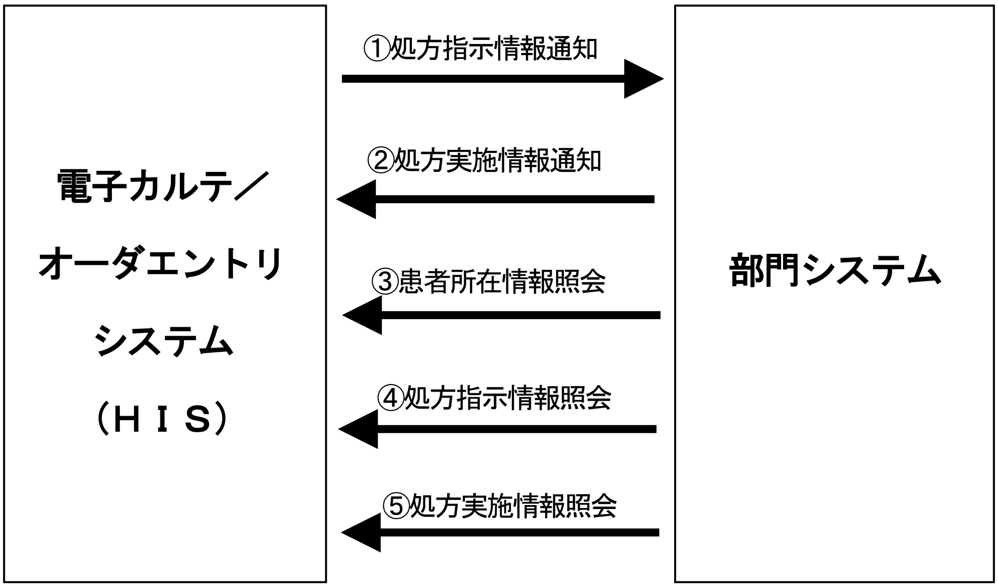
JAMISDP01　：JAMI標準用法規格　で規定されていることを示す
HOT　：医薬品HOTコードマスタ　で規定されていることを示す
MR9P　：MERIT-9 処方オーダ　で規定されていることを示す
JC10　：臨床検査項目分類コード JLAC10　で規定されていることを示す
JHSDnnnn　：JAHIS病名情報データ交換規約　で規定されていることを示す
（nnnn：コード表の連番）

© JAHIS 2017

5. 処方データ交換規約の対象範囲

処方データ交換規約は下図「システム間情報伝達イメージ」の範囲を対象とする。また、取り扱うメッセージタイプ及びトリガーイベントを表「メッセージとトリガーイベント」に示す。

本規約では、部門システムとして看護支援システム、調剤支援システム、服薬指導システムなどを想定している。



システム間情報伝達イメージ

メッセージとトリガーイベント

メッセージ定義	メッセージタイプ	HIS⇔部門	トリガーイベント	イベントタイプ
①処方指示情報通知	RDE/RRE	RDE→ ←RRE	処方指示メッセージ	O11/O12
②処方実施情報通知	RAS/RRA	←RAS RRA→	処方実施メッセージ	O17/O18
③患者所在情報照会	QBP/RSP	←QBP RSP→	患者所在情報照会メッセージ	ZV1/ZV2
④処方指示情報照会	QBP/RSP	←QBP RSP→	処方指示情報照会メッセージ	Q11/K11
⑤処方実施情報照会	QBP/RSP	←QBP RSP→	処方実施情報照会メッセージ	Q11/K11

© JAHIS 2017

メッセージの概要

①処方指示情報通知（RDE/RRE）

処方指示情報を電子カルテ／オーダエントリシステムから部門システムにRDEメッセージで通知する。それに対する応答をRREメッセージで返す。

②処方実施情報通知（RAS/RRA）

処方実施情報を部門システムから電子カルテ／オーダエントリシステムにRASメッセージで通知する。それに対する応答をRRAメッセージで返す。

③患者所在情報照会（QBP/RSP）

患者所在情報を部門システムから電子カルテ／オーダエントリシステムにQBPメッセージで問い合わせる。それに対する応答をRSPメッセージで返す。

④処方指示情報照会（QBP/RSP）

処方依頼情報を部門システムから電子カルテ／オーダエントリシステムにQBPメッセージで問い合わせる。それに対する応答をRSPメッセージで返す。

⑤処方実施情報照会（QBP/RSP）

処方実施情報を部門システムから電子カルテ／オーダエントリシステムにQBPメッセージで問い合わせる。それに対する応答をRSPメッセージで返す。

© JAHIS 2017

6. 処方関連メッセージ構文

本規約では、HL7 メッセージを構成するセグメントの省略の可否（[ ]表記）や繰り返しの可否（{}表記）に加え、JAHIS 仕様での要否を明確にするためコメント Comment(JPN)に要否等を付記した。

メッセージ構文での表記規則：

Comment(JPN)（JAHIS 仕様での取り扱い）

- R - 必須
- RE - 存在すれば必須（送信側アプリケーションは、該当データがあれば送信しなければならないが、存在しなければ省略する）
- O - オプション
- C - トリガーイベントまたはメッセージの使用条件による
- X - 本規約では使用しない
- N - 使用しない（関係者の合意のもとに関係システム内限定で使用可）

注: [ ] は省略可能、{} は繰り返し可能を示す。

注: 特にセグメントグループについては、そのセグメントグループの要否等を記し、さらにそのグループに属する個々セグメントの要否等を記した。

6.1 処方指示情報通知(RDE/RRE)

処方指示情報の通知には処方指示メッセージ(RDE)を用いる。その応答には処方指示確認応答メッセージ(RRE)を用いる。その場合のセグメントと構文規則は以下のとおりである。

6.1.1 RDE 処方指示メッセージ　イベント(O11)

処方指示は、RXE および RXR セグメントを詳細セグメントとして備えた RDE メッセージを使用する。

RDE　処方指示メッセージ

RDE	Pharmacy/Treatment Encoded Order	Comment(JPN)
MSH	Message Header	R
[{SFT}]	Software	N
[{NTE}]	Notes and Comments (for Header)	N
[	--- PATIENT begin	R
PID	Patient Identification	R
[PD1]	Additional Demographics	N
[{NTE}]	Notes and Comments (for Patient ID)	N
[	--- PATIENT_VISIT begin	O
PV1	Patient Visit	O
[PV2]	Patient Visit - Additional Info	N
]	--- PATIENT_VISIT end	
[{	--- INSURANCE begin	O
IN1	Insurance	O
[IN2]	Insurance Additional Info	N
[IN3]	Insurance Add'l Info - Cert	N
}]	--- INSURANCE end	
[GT1]	Guarantor	N
[{AL1}]	Allergy Information	O

© JAHIS 2017

RDE	Pharmacy/Treatment Encoded Order	Comment (JPN)
]	--- PATIENT end	
{	--- ORDER begin	R
ORC	Common Order	R
[{	--- TIMING begin	N
TQ1	Timing/Quantity	N
[{TQ2}]	Timing/Quantity Order Sequence	N
}]	--- TIMING end	
[	--- ORDER_DETAIL begin	N
RXO	Pharmacy/Treatment Prescription Order	N
[{NTE}]	Notes and Comments (for RXO)	N
{RXR}	Pharmacy/Treatment Route	N
[{	--- COMPONENT begin	N
RXC	Pharmacy/Treatment Component (for RXO)	N
[{NTE}]	Notes and Comments (for each RXC)	N
}]	--- COMPONENT end	
]	--- ORDER_DETAIL end	
RXE	Pharmacy/Treatment Encoded Order	R
[{NTE}]	Notes and Comments (for RXE)	N
{	--- TIMING_ENCODED begin	R
TQ1	Timing/Quantity	R
[{TQ2}]	Timing/Quantity Order Sequence	N
}	--- TIMING_ENCODED end	
{RXR}	Pharmacy/Treatment Route	R
[{RXC}]	Pharmacy/Treatment Component (for RXE)	N
[{	--- OBSERVATION begin	O
OBX	Results	O
[{NTE}]	Notes and Comments (for OBX)	N
}]	--- OBSERVATION end	
[{FT1}]	Financial Detail	N
[BLG]	Billing Segment	N
[{CTI}]	Clinical Trial Identification	O
}	--- ORDER end	

- メッセージ構造はRDE_O11を使用する。
- MSHセグメントはオーダの出力単位(メッセージ)に一つ必須である。
- AL1セグメントはアレルギー情報が無い場合は省略する。
- 指示された薬剤単位でORC～CTIセグメントを繰り返す。
- 漸増（漸減）投与、交互投与などで、同一薬品であっても用法・用量・開始日が異なる場合には別のRPとする。
- 外用薬などで複数部位を指定する場合にはRXRセグメントを繰り返す。

© JAHIS 2017

6.1.2 RRE 処方指示確認応答メッセージ イベント(O12)

RRE　処方指示確認メッセージ

RRE	Pharmacy/TreatmentEncoded Order Acknowledgment	Comment(JPN)
MSH	Message Header	R
MSA	Message Acknowledgment	R
[{ERR}]	Error	C
[{SFT}]	Software	N
[{NTE}]	Notes and Comments (for Header)	N
[	--- RESPONSE begin	O
[	--- PATIENT begin	O
PID	Patient Identification	O
[{NTE}]	Notes and Comments (for Patient ID)	N
]	--- PATIENT end	
{	--- ORDER begin	O
ORC	Common Order	O
[{	--- TIMING begin	N
TQ1	Timing/Quantity	N
[{TQ2}]	Timing/Quantity Order Sequence	N
}]	--- TIMING end	
[	--- ENCODING begin	O
RXE	Pharmacy/Treatment Encoded Order	O
[{NTE}]	Notes and Comments (for OBX)	N
{	--- TIMING_ENCODED begin	O
TQ1	Timing/Quantity	O
[{TQ2}]	Timing/Quantity Order Sequence	N
}	--- TIMING_ENCODED end	
{RXR}	Pharmacy/Treatment Route	O
[{RXC}]	Pharmacy/Treatment Component	N
]	--- ENCODING end	
}	--- ORDER end	
]	--- RESPONSE end	

- メッセージ構造はRRE_O12を使用する。
- MSH、MSAはメッセージに一つ必須である。
- エラー(ERR)セグメントは否定応答(MSA-1＝AE or AR)の場合に使用する。

© JAHIS 2017

6.2 処方実施情報通知(RAS/RRA)

処方実施情報の通知には処方実施メッセージ(RAS)を用いる。その応答には処方実施確認応答メッセージ(RRA)を用いる。その場合のセグメントと構文規則は以下のとおりである。

6.2.1 RAS 処方実施メッセージ イベント(O17)

処方実施は、RXA および RXR セグメントを詳細セグメントとして備えた RAS メッセージを使用する。

RAS　処方実施メッセージ

RAS	Pharmacy/Treatment Administration	Comment(JPN)
MSH	Message Header	R
[{SFT}]	Software	N
[{NTE}]	Notes and Comments (for Header)	N
[	--- PATIENT begin	R
PID	Patient Identification	R
[PD1]	Additional Demographics	N
[{NTE}]	Notes and Comments (for Patient ID)	N
[{AL1}]	Allergy Information	O
[	--- PATIENT_VISIT begin	O
PV1	Patient Visit	O
[PV2]	Patient Visit - Additional Info	N
]	--- PATIENT_VISIT end	
]	--- PATIENT end	
{	--- ORDER begin	R
ORC	Common Order	R
[{	--- TIMING begin	N
TQ1	Timing/Quantity	N
[{TQ2}]	Timing/Quantity Order Sequence	N
}]	--- TIMING end	
[	--- ORDER_DETAIL begin	N
RXO	Pharmacy/Treatment Prescription Order	N
[	--- ORDER_DETAIL_SUPPLEMENT begin	
[{NTE}]	Notes and Comments (for RXO)	N
{RXR}	Pharmacy/Treatment Route	N
[{	--- COMPONENT begin	N
RXC	Pharmacy/Treatment Component (for RXO)	N
[{NTE}]	Notes and Comments (for each RXC)	N
}]	--- COMPONENT end	
]	--- ORDER_DETAIL_SUPPLEMENT end	
]	--- ORDER_DETAIL end	
[	--- ENCODING begin	O
RXE	Pharmacy/Treatment Encoded Order	O
{	--- TIMING_ENCODED begin	O
TQ1	Timing/Quantity	O
[{TQ2}]	Timing/Quantity Order Sequence	O
}	--- TIMING_ENCODED end	
{RXR}	Pharmacy/Treatment Route	O

© JAHIS 2017

RAS	Pharmacy/Treatment Administration	Comment (JPN)
[{RXC}]	Pharmacy/Treatment Component	N
]	--- ENCODING end	
{	--- ADMINISTRATION begin	R
{RXA}	Pharmacy/Treatment Administration	R
RXR	Pharmacy/Treatment Route	R
[{	--- OBSERVATION begin	O
OBX	Observation/Result	O
[{NTE}]	Notes and Comments (for OBX)	N
}]	--- OBSERVATION end	
}	--- ADMINISTRATION end	
[{CTI}]	Clinical Trial Identification	O
}	--- ORDER end	

- MSHはメッセージに一つ必須である。
- HL7規約ではPID～PV2を省略可能としているが、【処方】ではPIDを必須とする。
- ORC～CTIを実施されたRPごとに繰り返す。
- RXAをRPで服用された薬剤ごとに繰り返す。

6.2.2 RRA 処方実施確認応答メッセージ イベント(O18)

RRA　処方実施確認メッセージ

RRA	Pharmacy/Treatment Administration Acknowledgment	Comment (JPN)
MSH	Message Header	R
MSA	Message Acknowledgment	R
[{ERR}]	Error	C
[{SFT}]	Software	N
[{NTE}]	Notes and Comments (for Header)	N
[	--- RESPONSE begin	O
[	--- PATIENT begin	O
PID	Patient Identification	O
[{NTE}]	Notes and Comments (for Patient ID)	N
]	--- PATIENT end	
{	--- ORDER begin	O
ORC	Common Order	O
[{	--- TIMING begin	N
TQ1	Timing/Quantity	N
[{TQ2}]	Timing/Quantity Order Sequence	N
}]	--- TIMING end	
[	--- ADMINISTRATION begin	O
{RXA}	Pharmacy/Treatment Administration	O
RXR	Pharmacy/Treatment Route	O
]	--- ADMINISTRATION end	
}	--- ORDER end	
]	--- RESPONSE end	

© JAHIS 2017

- MSH、MSAはメッセージに一つ必須である。
- エラー(ERR)セグメントは否定応答(MSA-1＝AE or AR)の場合に使用されるべきである。

6.3 患者所在情報照会(QBP/RSP)

薬剤の配送先照会はパラメータによる参照メッセージ(QBP)を用い、応答はセグメントパターン応答メッセージ(RSP)を使用する。
薬剤部門においては、薬剤の配送先確認のため、入院病床を照会する。

メッセージ構文については、JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.1「6.1.3. QBP 患者基本属性及び所在照会メッセージイベント(ZV1)」と「6.1.4. RSP 患者基本属性及び所在応答メッセージイベント(ZV2)」を参照のこと。

© JAHIS 2017

6.4 処方指示情報照会(QBP/RSP)

6.4.1 QBP 処方指示照会メッセージ イベント(Q11)

QBP　処方指示情報照会メッセージ

QBP^Q22^QBP_Q21	Pharmacy/Treatment Encoded Order Query	Comment (JPN)
MSH	Message Header	R
QPD	Query Parameter Definition Segment	R
RCP	Response Control Parameters	R
[DSC]	Continuation Pointer	O

6.4.2 RSP 処方指示応答メッセージ イベント(K11)

RSP　処方指示情報応答メッセージ

RSP^K11^RSP_K11	Pharmacy/Treatment Encoded Order Response	Comment (JPN)
MSH	Message Header	R
MSA	Message Acknowledgment	R
[{ERR}]	Error	C
QAK	Query Acknowledgement	R
QPD	Query Parameter Definition Segment	R
[{	--- SEGMENT_PATTERN begin	C
PID	Patient Identification	R
PV1	Patient Visit	O
[IN1]	Insurance	O
[{AL1}]	Allergy Information	O
{	--- ORDER begin	O
ORC	Common Order	RE
RXE	Pharmacy/Treatment Encoded Order	RE
{TQ1}	Timing/Quantity	RE
{RXR}	Pharmacy/Treatment Route	RE
[{OBX}]	Observation/Result	O
[{CTI}]	Clinical Trial Identification	O
}	--- ORDER end	
}]	--- SEGMENT_PATTERN end	
[DSC]	Continuation Pointer	N

- 照会メッセージのメッセージ構造はQBP_Q11を使用する。
- 応答メッセージのメッセージ構造はRSP_K11を使用する。
- QPD-1およびQPD-3以降については本規約で定義しない。各施設での独自定義とする。
- MSHセグメントはメッセージに一つ必須である。
- PID～OBXセグメントをヒットしたオーダの数だけ繰り返す。
- 複数薬剤ある場合には、ORC～CTIを繰り返す。
- エラー(ERR)セグメントは否定応答(MSA-1 = AE or AR)の場合に使用されるべきである。

© JAHIS 2017

6.5 処方実施情報照会(QBP/RSP)

6.5.1 QBP 処方実施照会メッセージ イベント(Q11)

QBP　処方指実施照会メッセージ

QBP^Q11^QBP_Q11	Pharmacy/Treatment Administration Query	Comment(JPN)
MSH	Message Header	R
QPD	Query Parameter Definition Segment	R
RCP	Response Control Parameters	R
[DSC]	Continuation Pointer	O

6.5.2 RSP 処方実施応答メッセージ イベント(K11)

RSP　処方指実施照会メッセージ

RSP^K11^RSP_K11	Pharmacy/Treatment Administration Response	Comment(JPN)
MSH	Message Header	R
MSA	Message Acknowledgment	R
[{ERR}]	Error	C
QAK	Query Acknowledgement	R
QPD	Query Parameter Definition Segment	R
[{	--- SEGMENT_PATTERN begin	C
PID	Patient Identification	R
[{AL1}]	Allergy Information	O
[	--- PATIENT_VISIT begin	O
PV1	Patient Visit	O
]	--- PATIENT_VISIT end	
{	--- ORDER begin	R
ORC	Common Order	R
[	--- ENCODING begin	O
RXE	Pharmacy/Treatment Encoded Order	O
{	--- TIMING_ENCODED begin	O
TQ1	Timing/Quantity	O
[{TQ2}]	Timing/Quantity Order Sequence	O
}	--- TIMING_ENCODED end	
{RXR}	Pharmacy/Treatment Route	O
[{RXC}]	Pharmacy/Treatment Component	O
]	--- ENCODING end	
{	--- ADMINISTRATION begin	R
{RXA}	Pharmacy/Treatment Administration	R
RXR	Pharmacy/Treatment Route	R
[{	--- OBSERVATION begin	O
OBX	Observation/Result	O
[{NTE}]	Notes and Comments (for OBX)	N
}]	--- OBSERVATION end	
}	--- ADMINISTRATION end	

© JAHIS 2017

RSP^K11^RSP_K11	Pharmacy/Treatment Administration Response	Comment(JPN)
[{CTI}]	Clinical Trial Identification	O
}	--- ORDER end	
}]	--- SEGMENT_PATTERN end	
[DSC]	Continuation Pointer	N

- 照会メッセージのメッセージ構造はQBP_Q11を使用する。
- 応答メッセージのメッセージ構造はRSP_K11を使用する。
- QPD-1およびQPD-3以降については本規約で定義しない。各施設での独自定義とする。
- MSHセグメントはメッセージに一つ必須である。
- １RP１タイミングごとにORC～CTIを繰り返し、その中で薬の数だけRXAを繰り返す。
- エラー(ERR)セグメントは否定応答(MSA-1 = AE or AR)の場合に使用されるべきである。

© JAHIS 2017

7. 関連セグメント詳細

セグメントの解説の最初にセグメント属性表を設けている。詳細は JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.1「２．使用しているＨＬ７について」を参照のこと。以下にその要約を示す。

SEQ : セグメント ID に続くフィールド連番
LEN : フィールドの最大長
DT : フィールドのデータ型（データ型の解説を参照）
OPT/Japan : フィールドにおける値の省略の可否(Japan は JAHIS 使用での取り扱い)
- R - 必須
- RE - 存在すれば必須（送信側アプリケーションは、該当データがあれば送信しなければならないが、存在しなければ省略する）
- C - トリガーイベントおよびその他のフィールド条件による
- O - オプション
- X - 本規約では使用しない
- B - HL7 の旧バージョンとの互換性のために残されているフィールド
- N - 使用しない（関係者の合意のもとに関係システム内限定で使用可）
- W - 取り消し

RP# : フィールド成分の反復の可否
- N - 反復不可
- Y - 反復可、反復回数の制限がある場合続く数値で指定
- (整数) 反復数の上限

ELEMENT NAME : フィールドの名称
* : JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.1「７．関連セグメント詳細」と差異があることを示す

© JAHIS 2017

7.1 AL1 - Patient Allergy Information Segment　患者アレルギー情報セグメント

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.1「7．関連セグメント詳細」を参照のこと。

7.2 CTI - Clinical Trial Identification Segment　治験識別セグメント

CTI セグメントはオプションのセグメントであって、オーダまたは結果が関係している治験、段階および時間ポイントを識別する情報を含んでいる。

HL7属性表－CTI－Clinical Trial Identification Segment　治験識別

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME
1	60	EI	R	R			Sponsor Study ID 後援者試験識別子
2	250	CWE	C	C			Study Phase Identifier 試験段階識別子
3	250	CWE	O	O			Study Scheduled Time Point 試験予定時間ポイント

CTI フィールド定義

CTI-1　Sponsor Study ID　後援者試験識別子　(EI)　01011

成分:　<Entity Identifier (ST)> ^ <Namespace ID (IS)> ^ <Universal ID (ST)> ^ <Universal ID Type (ID)>

定義：この項目は、治験の汎用の識別子を含んでいる。コード化方式は CSR-1－試験 ID に記述されたとおりである。

CTI-2　Study Phase Identifier　試験段階識別子　(CWE)　01022

成分:　<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義：この項目は、患者が入った試験の段階を識別する。コード化方式の詳細に関しては、CSP-1－試験段階 ID を参照すること。

CTI-3　Study Scheduled Time Point　試験予定時間ポイント　(CWE)　01055

成分:　<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義：この項目は、治験の段階中の時間ポイントを識別する。もし CTI-3－試験予定時間ポイントが評価されるならば、CTI-2－試験段階識別子が評価されなければならない。CSS-1－予定時間ポイントに対応するべきである。

© JAHIS 2017

7.3 ERR - Error Segment　エラー情報セグメント

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.1「7．関連セグメント詳細」を参照のこと。

7.4 IN1 - Insurance Segment 保険セグメント

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.1「7．関連セグメント詳細」を参照のこと。

7.5 MSA - Message Acknowledgment Segment　メッセージ識別セグメント

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.1「7．関連セグメント詳細」を参照のこと。

7.6 MSH - Message Header Segment　メッセージヘッダーセグメント

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.1「7．関連セグメント詳細」を参照のこと。

© JAHIS 2017

7.7 OBX - Observation/Result Segment　検査結果セグメント

OBX セグメントは単一検査あるいは部分検査を転送するのに使用される。それは分割不可能なレポートの最小単位に相当する。
【処方】本規約では、依頼時点での身長・体重・感染症・血型等の患者身体情報を部門システムに伝達する目的で主に使用する。

HL7属性表－OBX－Observation/Result Segment　検査結果

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME
1	4	SI	O	O			Set ID−OBX　セットID
2	3	ID	C	R		0125	Value Type　値型
3	250	CWE	R	R			Observation Identifier　検査項目
4	20	ST	C	C			Observation Sub-ID　検査副ID
5	65536	*	C	C	Y		Observation Value　検査値
6	250	CWE	O	O			Units　単位
7	60	ST	O	O			References Range　基準値範囲
8	5	IS	O	O	Y/5	0078	Abnormal Flags　異常フラグ
9	5	NM	O	O			Probability　確率
10	2	ID	O	O	Y	0080	Nature of Abnormal Test　異常検査の性質
11	1	ID	R	R		0085	Observ Result Status　検査結果状態
12	26	TS	O	O			Date Last Obs Normal Values　最終検査正常値日付
13	20	ST	O	O			User Defined Access Checks　使用者定義アクセス点検
14	26	TS	O	O			Date/Time of the Observation　検査日時
15	250	CWE	O	O			Producer's ID　実施者ID
16	250	XCN	O	O	Y		Responsible Observer　検査責任者
17	250	CWE	O	O	Y		Observation Method　検査方法
18	22	EI	O	O	Y		Equipment Instunce Identifier　装置コード
19	26	TS	O	O			Date/Time of the Analysis　分析日時

OBX フィールド定義

OBX-1　Set ID - OBX　セット ID　(SI)　00569

定義 : 同一の OBR セグメントに対し 1 から付番される通し番号。

OBX-2　Value Type　値型　(ID)　00570

定義 : OBX 内の検査結果値のフォーマット。値が CWE である場合､結果はコード化入力値でなければならない。値型が TX または FT である場合、結果はテキスト群である。値型の検査で採りうる値は HL7 表 0125-値型に列記される(2.5 データ型を参照)。たとえば、XPN は成分区切り文字により分離した 14 個の成分から成る。NM は有効な型であるが、通常数字として報告される検査では、結果の一部として非数値文字が報告されることがあるので(結果が測定器で計りきれないことを示すために>300 を使う場合など)、文字列(ST)データ型を持つことがある。たとえば">300"では、">"は記号であり桁"300"は数値と考えられる。

以下を除くすべての HL7 データ型が有効である。

CM: 特定のデータでないから。
CQ: OBX-5-検査値の単位は、OBX-6-単位に必ず明示的に指定されるから。
SI: HL7 メッセージセグメント以外に適用されないから。

実際の検査値が OBX では送られていないが、他のどこかに存在する場合、値に RP(参照ポインタ)を使用しなければならない。たとえば、検査が画像(ドキュメント関連画像あるいは医学関連画像)から成る場合、画像そのものは OBX で送ることができない。その場合送信システムは、参照ポインタを

© JAHIS 2017

送信するよう選択することができる。受信システム側は、ACR-NEMA などの他の標準インターフェースにより、あるいは適切なデータベースサーバーにより実際の画像へアクセスする必要がある場合は、いつでもこの参照ポインタを使用することができる。

HL7表 0125 - Value type 値型

Value	Description
AD	Address 住所
CWE	Coded With Exceptions 例外ありコード化
CF	Coded Element With Formatted Values 書式付コード化
CK	Composite ID With Check Digit 点検数字付き複合 ID
CN	Composite ID And Name 複合 ID と名前
CP	Composite Price 合成価格
CX	Extended Composite ID With Check Digit 検査数字を備えた拡張合成 ID
DT	Date 日付
ED	Encapsulated Data カプセルに入れられたデータ
FT	Formatted Text (Display) 書式付テキスト（表示）
MO	Money 貨幣
NM	Numeric 数値
PN	Person Name 人名
RP	Reference Pointer 参照ポインタ
SN	Structured Numeric 構造化した数値
ST	String Data. 文字列データ
TM	Time 時間
TN	Telephone Number 電話番号
TS	Time Stamp (Date & Time) 時間スタンプ（日時）
TX	Text Data (Display) テキストデータ（表示）
XAD	Extended Address 拡張アドレス
XCN	Extended Composite Name And Number For Persons 人の拡張合成名前および番号
XON	Extended Composite Name And Number For Organizations 組織の拡張合成名前および番号
XPN	Extended Person Number 拡張人番号（人名）
XTN	Extended Telecommunications Number 拡張遠隔通信番号

値型の構成成分については、2.5 データ型を参照のこと

OBX-3 Observation Identifier 検査項目 ID (CWE) 0057

成分: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義：検査項目を表す一意な識別子。検査結果コメントをセットする場合検査項目 ID を接尾辞で修飾したコードを用いる。検査結果コメントの扱いを参照。

大半のシステムでは、識別子は受信システムが検査情報を処理するために、他の検査属性を列記した検査項目マスタテーブルを参照するために使用される。検査 ID と検査項目マスタテーブルとの関係は、請求記録中の課金コードと課金マスタテーブルの関係に類似している。

【処方】検査項目 ID は、JLAC10 を推奨する。

OBX-4 Observation Sub ID 検査サブ ID (ST) 00572

定義：1 つの OBR の下で編成された複数の OBX セグメントが同じ検査項目 ID を持つ場合、それぞれの OBX セグメントを識別するのに使う。たとえば、胸部 X 線レポートには独立した 3 つの診断が含まれることがある。標準では、3 つの OBX セグメント(1 つの診断所見に 1 つの OBX セグメント)が必要である。これらの OBX セグメントの 1 番目のサブ ID に 1、2 番目のサブ ID に 2、および 3 番目のサブ ID に 3 を入れることにより、HL7 は、編集あるいは交換に際し各 OBX セグメントを一意に識別することができる。

サブ識別子は、外科病理学などのレポートで関連成分をグループ化するのにも使われる。外科病理学レポートでは、1 回の手術により得られた組織をすべて 1 つのレポートにまとめるということは昔からよくある。胆嚢および虫垂の検査を記述した単一の外科病理学レポートを考えてみる。このレポートは概ね図 7.7.1 に示すように転送されるだろう。

```
OBR|1|||88304&SURG PATH REPORT...
```

© JAHIS 2017

```
OBX|1|CWE|88304&ANT|1|T57000^GALLBLADDER^SNM...
OBX|2|TX|88304&GDT|1|THIS IS A NORMAL GALLBLADDER...
OBX|3|TX|88304&MDT|1|MICROSCOPIC EXAM SHOWS HISTOLOGICALLY
NORMAL GALLBLADDER TISSUE...
OBX|4|CWE|88364&IMP|1|M-00100^NML^SNM...
OBX|5|CWE|88304&ANT|2|T66000^APPENDIX^SNM...
OBX|6|TX|88304&GDT|2|THIS IS A RED, INFLAMED, SWOLLEN, BOGGY APPENDIX...
OBX|7|TX|88304&MDT|2|INFILTRATION WITH MANY PMN's - INDICATING INFLAMATORY
    CHANGE...
OBX|8|CWE|88304&IMP|2|M-40000^INFLAMMATION NOS^SNM...
```

図 7.7.1 検査サブ ID 使用例

図 7.7.1 の例では、レポートの各成分に対して 2 つのセグメントがある(2 つある組織のそれぞれに対して 1 つのセグメント)。このように、88304&ANT セグメントが 2 個存在する；88304&GDT セグメントが 2 個存在する。88304&MDT セグメントが 2 個存在する。胆嚢に適用されるセグメントはすべてサブ識別子として 1 を持つ。虫垂に適用されるセグメントはすべてサブ識別子「2」を持つ。

OBX-5 Observation Value 検査結果値 (*) 00573

定義：検査実施者により検査された検査結果値。検査結果値はこのセグメント中の OBX－2－値型で設定されるデータ型に応じて表記される。このフィールドは OBX セグメントの必須フィールドである。数値なのかあるいは短いテキストなのかどうかに拘らず、回答は ASCII 文字コードで記録されるものとする。

数値型の検査結果であっても比較演算子や接尾辞を持つ場合、値型が文字列 ST の場合と構造化数値 SN の場合によって、検査結果値の表記が異なるので注意、例えば、ST 型では 100 以上(>100)や 2+ であるが、SN 型では >^100 や ^2^+ となる。可能な限り SN 型を使用することを推奨する。
【処方】身長・体重・感染症・血液型情報の送信：
身長・体重・感染症・血液型などの患者身体情報を記述する場合、例えば以下のような表記を行う。

例：

```
OBX|1|ST|9N001000000000001^身長^JC10||164.0|cm|||||F||20060125
OBX|2|ST|9N006000000000001^体重^JC10||58.0|kg|||||F||20060210
OBX|3|ST|5H010000001999911^血液型-ABO式^JC10||AB||||||F||20060125
OBX|4|ST|6B050000006474211^MRSA^JC10||+||||||F||20060210
OBX|5|ST|5F015144002383111^HB^JC10||+||||||F||20060210
OBX|6|ST|5F500143000000011^HIV^JC10||-||||||F||20060210...
```

項目を特定するのに使用するコードとして、本規約では JLAC10 を推奨する。

OBX-6 Units 単位 (CWE) 00574

成分: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義：単位のデータ型は CWE データ型である。

OBX-7 References Range 基準値範囲 (ST) 00575

定義：検査で有毒物質の量を計測する場合、範囲の上限により毒性限界を表す。

OBX-8 Abnormal Flags 異常フラグ (IS) 00576

定義：結果の正常状態を示すテーブルルックアップ。所見（正常、異常）フラグに用いる。

OBX-9 Probability 確率 (NM) 00577

定義：定性値を持つ結果の場合、結果が真である確率(結果が特定のコードとなる確率)。

OBX-10 Nature Of Abnormal Test 異常検査の特質 (ID) 00578

定義：判定の元になった集団を指示。

OBX-11 Observ Result Status 検査結果状態 (ID) 00579

定義： 採りうるコードについては、HL7 表 0085－検査結果状態－を参照。このフィールドは、1 つの検査項目についての、現在の結果完了状態を反映する。

© JAHIS 2017

【処方】身長・体重・感染症・血液型などの患者身体情報を表現する場合には最終結果の情報という意味で、'F'を使用する。

HL7表 0085 - Observation Result Status Codes Interpretation 検査結果状態

Value	Description
C	Record coming over is a correction and thus replaces a final result 到着レコードは修正であり結果を書き換え
D	Deletes the OBX record OBX レコードを削除する
F	Final results; Can only be changed with a corrected result. 最終結果： 修正結果でのみ変更可能
I	Specimen in lab; results pending 臨床検査室の検体 ; 結果保留
N	Not asked; used to affirmatively document that the observation identified in the OBX was not sought when the universal service ID in OBR-4 implies that it would be sought.
O	Order detail desctiption only (no result) 依頼詳細記述 （結果なし）
P	Preliminary results 事前結果
R	Results entered -- not verified 結果を入力 －－ 未検証
S	Partial results 部分結果
X	Results cannot be obtained for this observation この検査では、結果は得られない
U	Results status change to Final. Without retransmitting results already sent as 'preliminary. 結果状態を最終へ変更。結果は変化しなかった(テストを転送しない) たとえば、放射線科により状態が事前から最終へ変更される
W	Post original as wrong, e.g., transmitted for wrong patient

OBX-12 Effective Date Last Obs Normal Value 最新正常値有効日付 (TS) 00580

定義：測定方法の変更により、旧方式で得られた値が新規方式で得られた値と比較できなくなる場合、そのような測定方法の変更などを表す。

OBX-13 User Defined Access Checks 使用者定義アクセス点検 (ST) 00581

定義：これにより実施者は、受信システムで検査を分類するのに使用する結果依存コードを記録できるようになる。

OBX-14 Date Time Of the Observation 検査日時 (TS) 00582

定義：検査日時は検査が行われた日時である。

OBX-15 Producer's ID 実施者 ID (CWE) 00583

成分: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義：検査実施責任者の一意な識別子。

OBX-16 Responsible Observer 検査責任者 (XCN) 00584

成分: <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <DEPRECATED-Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CE)> ^ <DEPRECATED-Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

定義：要求された場合、検査に直接責任を負う個人(つまり検査を実行、もしくは検証した人)の識別子。

OBX-17 Observation Method 検査方法 (CWE) 00936

定義：検査項目案内などで公表している検査方法と異なる検査方法を実施した場合などはここに明示する。

OBX-18 Equipment instance identifier 装置識別 ID (EI) 01479

成分: <Entity Identifier (ST)> ^ <Namespace ID (IS)> ^ <Universal ID (ST)> ^ <Universal ID Type (ID)>

定義：このフィールドは検査に用いられる装置の識別 ID である。

© JAHIS 2017

OBX-19　Date/time of the analysis　分析日時　(TS)　01480

定義：このフィールドは、実装置 ID で指定された機器によって分析結果の世代と関連したタイムスタンプを転送する為に使われる。

© JAHIS 2017

7.8 ORC - Order Common Segment　共通オーダセグメント

共通オーダセグメント(ORC)は、すべてのオーダに共通なデータ要素を伝達するために使用される(要求されるすべてのタイプのサービス)。場合によっては、ORC は文字列 ORC|OK|<依頼者オーダ番号>|<実施者オーダ番号>|<CR>のように単純になる。

詳細内容がオーダのために必要ないならば、オーダ詳細セグメントは省略してよい。たとえば、オーダを保留するためには、ORC で次のフィールドを付けて伝達する(HD の値付きの ORC-1－オーダ制御、ORC-2－依頼者オーダ番号、および ORC-3 実施者オーダ番号)。

ORC のフィールドとオーダ詳細セグメントの中のフィールドとの間にいくつかの重複がある。これらは以下の節に述べる。原則として、ORC と OBR に重複する情報は、OBR セグメントのものを優先する。

ORC使用注記

a)依頼者オーダグループ
本規格では、複数のオーダを1つのグループに集めるメカニズムをサポートする。大抵の場合、これは1人の患者に対して「依頼セッション」を表すために使用される。
オーダグループは、ORC-4-依頼者グループ番号に関連するオーダ(ORCs)のリストである。グループは、依頼者が最初のオーダに依頼者グループ番号を付けた時に確立する。オーダグループは、同じ依頼者グループ番号を有するすべてのORCsおよびすべての詳細セグメントから成る。オーダは、グループからキャンセルを使用して除去したり、取換えや親子メカニズムを使用して追加したりできる。新規オーダは、その他の方法でのグループへの追加はできない。

b)重複フィールド
ORCは、すべてのオーダ(すなわち要求されたサービス)に共通なフィールドを一様に定義するよう意図されている。ただし、一部のORCフィールドは、一部のオーダ詳細セグメント(たとえばOBR、RXO)では重複する。たとえば、ORC-2依頼者オーダ番号は、OBR-2依頼者オーダ番号フィールドと同じ意味および目的を持つ。これによって過去のバージョンおよびASTMとの上位互換性が保たれる。
これらのフィールドを使用する規則では、ORCに現われない値はオーダ詳細セグメントに現われねばならない。しかし、両方の箇所に値を入れて混乱を避けることが望ましい。

c)親/子　－　キャンセル、保留、中断
親オーダのキャンセル、保留または中断の要求の伝達は、その要求は親オーダおよびすべての関連の子オーダに対して再帰的に適用されるよう意図されている。たとえば
1)EKGアプリケーションが3回のEKGに対するオーダを受け、これが3日連続で毎朝行われるとする。
2)EKGアプリケーションは3つの子オーダを、各々の要求されたEKGに対して1つずつ作成する。
3)元の親オーダを取消す要求が受取られた時に1日目のEKGが実施されていた。(親は取消せなかった)
4)残りの、未実施の子は要求の結果として取り消される。

【処方】本規約では親/子オーダは使用しない。処方実施情報通知メッセージにおいても、ORC-2、ORC-4、ORC-9、ORC-12、ORC-17、ORC-19、及び、ORC-29には処方実施に対応するオーダの情報をセットする。

HL7属性表－ORC－Order Common Segment　共通オーダセグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	NOTE
1	2	ID	R	R		0119	Order Control　オーダ制御	
2	22	EI	C	R			Placer Order Number　依頼者オーダ番号	
3	22	EI	C	C			Filler Order Number　実施者オーダ番号	
4	22	EI	O	R			Placer Group Number　依頼者グループ番号	
5	2	ID	O	O		0038	Order Status　オーダ状態	
6	1	ID	O	O		0121	Response Flag　応答フラグ	
7	200	TQ	B	B	Y		Quantity/Timing　数量/タイミング	
8	200	EIP	O	O			Parent　親	
9	26	TS	O	O			Date/Time of Transaction　トランザクション日時	
10	250	XCN	O	O	Y		Entered By　入力者	
11	250	XCN	O	O	Y		Verified By　検証者	
12	250	XCN	O	O	Y		Ordering Provider　依頼者	
13	80	PL	O	O			Enterer's Location　入力場所	
14	250	XTN	O	O	Y/2		Call Back Phone Numberコールバック用電話番号	

© JAHIS 2017

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME	NOTE
15	26	TS	O	O			Order Effective Date/Time　オーダ有効日時	
16	250	CWE	O	O			Order Control Code Reason　オーダ制御コードの理由	
17	250	CWE	O	O			Entering Organization　入力組織	
18	250	CWE	O	O			Entering Device　入力装置	
19	250	XCN	O	O	Y		Action By　発動者	
20	250	CWE	O	O		0339	Advanced Beneficiary Notice Code 事前保険金受給通知コード	
21	250	XON	O	O	Y		Ordering Facility Name　オーダ施設名	
22	250	XAD	O	O	Y		Ordering Facility Address　オーダ施設住所	
23	250	XTN	O	O	Y		Ordering Facility Phone Number　オーダ施設電話番号	
24	250	XAD	O	O	Y		Ordering Provider Address　オーダ実施者住所	
25	250	CWE	O	O			Order Status Modifier　オーダ状態変更	
26	60	CWE	C	C			Advanced Beneficiary Notice Override Reason　拡張利用用注意上書き理由	
27	26	TS	O	O			Filler's Expected Availability Date/Time　実施者可能日時	
28	250	CWE	O	O		0177	Confidentiality Code　信頼性モード	
29	250	CWE	O	O		0482	Order Type　オーダタイプ	
30	250	CNE	O	O		0483	Enterer Authorization Mode　入力者許可モード	

ORC フィールド定義

ORC-1　Order Control　オーダ制御　(ID)　00215

定義：オーダセグメントの機能を決定する。取りうる値は HL7 表 0119 -オーダ制御を参照。コードは大別すると次の 3 つのカテゴリーに入る。

a)　事象要求

事象を発動するために、『NW』(新規オーダ)とか『CA』(オーダ要求のキャンセル)のようなコードが使用される。

b)　事象応答承認

事象要求に返答するために、『OK』(オーダが受け入れられた)とか『CR』(要求されたようにオーダが取り消された)のようなコードが使用される。

c)　事象通知

事象が発生したことを他のアプリケーションに知らせるために、『OC』(オーダが取り消された)とか『OD』(オーダが中断された)のようなコードが使用される。いかなるアプリケーション応答も必要としない。

事象要求コードは、事象を発動することを意図する。事象応答コードは、事象を要求したアプリケーションに応答することを意図する。事象通知コードは、他のアプリケーションに例えば、次のようなことを知らせることを意図する。すなわち実施者がオーダに対し何かアクションを取りそれを他のアプリケーション、例えば、依頼者が知る必要がある場合等である。

実施者、依頼者、および他のアプリケーションは、事象要求、事象応答、および事象通知型トリガーイベントを相互互換的に使用できる。しかしながら、あるオーダ制御コード(例　CR)は実施者のみが生成することができ、他のオーダ制御コード(例　CA)は依頼者のみが生成することができる。

【処方】本規約においては、オーダのキャンセルおよび修正は処方せん単位で行うものとし、Rp単位や薬剤単位でのキャンセルおよび修正は行わない。

HL7表　0119 -Order Control Code　オーダ制御コード

Value	Description	Comment
AF	Order/service refill request approval 補充オーダ要求承認	Placer Applications. AFは依頼者が補充または補充の量を許可するRFへの応答である。
CA	Cancel order/service request	Placer Applications.

© JAHIS 2017

Value	Description	Comment
	オーダキャンセル要求	オーダキャンセルは、以前にオーダしたサービスを実施者に行わせないようにする依頼者からの要求である。キャンセル要求の確認は、実施者によって行われる、例えば、CRのORC-1オーダ制御値)を持つメッセージである。 一般的な応答は、これらに限定されないが、以下のようなものが挙げられる、CR－要求通りオーダキャンセル完了、UC－オーダキャンセル不能。
CH	Child order/service 子オーダ	Placer or Filler Applications. PAとあわせて使用－親オーダコントロールコード。詳細はPAオーダコントロールコードを参照。
CN	Combined result 統合検査結果	Filler Applications. 統合検査結果コードは、複数のオーダに関連する結果を送るためのメカニズムを提供する。この状態は、放射線科医が通常複数のオーダで表示された複数の検査に対して単一のレポートを作成するときの放射線科レポートに見られる。例えば、放射線科医はリューマチ性の関節炎患者のひざと手のフィルムに対してひとつのレポートを生成することがある。 その結果報告のときに、最後のORCを除くREはすべてCNコードに置換される、結果は最後のORCとそのOBRに続く。以下3つのORCに対する単一のレポート例は下記の通りである。 MSH|...<cr> PID|...<cr> ORC|CN|...<cr> OBR|1|A4461XA^HIS|81641^RAD|73666^Bilateral Feet|...<cr> ORC|CN|...<cr> OBR|2|A4461XB^HIS|81642^RAD|73642^Bilateral Hand PA|...<cr> ORC|RE|...<cr> OBR|3|A4461XC^HIS|81643^RAD|73916^Bilateral Knees|...<cr> OBX|1|CE|73916&IMP|1|Radiologist's Impression|...<cr> OBX|2|CE|73642&IMP|1|Radiologist's Impression|...<cr> OBX|3|FT|73642&GDT|1|Description|...<cr>
CR	Canceled as requested 要求通りオーダキャンセル完了	Filler Applications. キャンセル(依頼者アプリケーションからのCA)の要求が成功したことを示す実施者アプリケーションからの応答
DC	Discontinue order/service request オーダ中断要求	Placer Applications. 実施者アプリケーションに前もって要求したサービスを中断するための依頼者アプリケーションからの要求。中断とキャンセルの違いとして、中断はオーダ／サービスおよび今後起こるすべての動作に影響、キャンセルは現在のアクションだけに影響する。 一般的な応答は、これらに限定されないが、以下のようなものが挙げられる、CR－要求通りオーダキャンセル完了、UC－オーダキャンセル不能
DE	Data errors データエラー	Placer or Filler Applications.
DF	Order/service refill request denied 補充オーダ要求拒否	Placer Applications. 補充許可(RF)に対する実施者アプリケーションの応答、DFは依頼者がオーダの補充を許可しないことを意味する。ORC-16オーダ制御コードの理由は要求拒否の理由を意味する。提案された値は以下を含む： AA　Patient unknown to the provider 患者は依頼者、 提供者、医療機関(provider)に知られていない。 AB　Patient never under provider care 依頼者の看護下の患者ではない AC　Patient no longer under provider care 患者はもはや医療提供者のもとにない AD　Patient has requested refill too soon 患者の補充要求が頻繁すぎる AE　Medication never prescribed for the patient 患者の薬剤は一度も処方されていない。 AF　Patient should contact provider first 患者は最初に医療提供者に連絡が必要

© JAHIS 2017

<table>
<tr><th>Value</th><th>Description</th><th>Comment</th></tr>
<tr><td></td><td></td><td>AG　　　Refill not appropriate
　　　補充は適していない。
注:これらの値はNCPDP SCRIPT応答セグメントコードリストに由来する。
資料の複製は©National Council for Prescription Drug Programs, Inc.（米国規格協会認定の機関）1988, 1992, 2002 NCPDPの承諾を得てください。</td></tr>
<tr><td>DR</td><td>Discontinued as requested
要求通りオーダ中断</td><td>Filler Applications.
実施者は、中断（依頼者アプリケーションからのDC）の要求に応じて、オーダ／サービスを中断する。</td></tr>
<tr><td>FU</td><td>Order/service refilled, unsolicited
補充オーダ済、未承諾</td><td>Filler Applications.
FUは依頼者に実施者が患者要求のオーダに対して補充を発行したことを通知する。</td></tr>
<tr><td>HD</td><td>Hold order request
オーダ保留要求</td><td>Placer Applications.
一般的な応答は、これらに限定されないが、以下のようなものが挙げられる、CR－要求通りオーダキャンセル完了、UC－オーダキャンセル不能。</td></tr>
<tr><td>HR</td><td>On hold as requested
要求通りオーダ保留</td><td>Filler Applications.</td></tr>
<tr><td>LI</td><td>Link order/service to patient care problem or goal
オーダ／サービスを患者看護プロブレムまたはゴールに紐付ける</td><td>Placer or Filler Applications.
本規約では取り扱わない。
詳細はHL7 Ver.2.5 第12章:患者看護を参照。</td></tr>
<tr><td>NA</td><td>Number assigned
番号が割り当て済</td><td>Placer Applications.
オーダ番号の要求に関与する3つの状態がある（ORC-2－依頼者オーダ番号またはORC-3－実施者オーダ番号）。

(1) 実施者アプリケーションが、例えば、HISのような中央型アプリケーションからORC-3－実施者オーダ番号を要求する必要があるとき。
SN－送信オーダ番号コードは、実施者が集中アプリケーション（下記の表で “other” と呼ばれている）例えば、中央HISからORC-3－実施者オーダ番号を要求するためのメカニズムを提供する。これはSNのORC-1－オーダ制御値を含んでいるORMメッセージを送ることによって行う。このORCはNullのORC-3－実施者オーダ番号とORC-2－依頼者オーダ番号を持つ。これらは実施者がオーダを開始するとき、実施者アプリケーションによって作成されたものである。

　　オーダ（SN型）メッセージは、以下2つの方法のいずれかで応答される:
a)　OKのORC-1－オーダ制御値を持つオーダアプリケーションACKメッセージ。未承諾オーダメッセージは、割り当てられた実際の数値を提供するためにNAのORC-1－オーダ制御値NAのORCを含み、後で送ることができる。
b)　以下に記載のNAのORC-l－オーダ制御値を含むオーダアプリケーションACKメッセージ

　　NA－コードを割り当てられた番号は“other”アプリケーションが最近割り当てられた実施者オーダ番号を実施者アプリケーションに知らせることを許可する。NAのORC-1－オーダ制御値は、ORC-2－依頼者オーダ番号（SN値を持つORCから）および最近割り当てられた実施者オーダ番号を含む。

<table>
<tr><th>Code</th><th>From</th><th>ORC-2-Placer Order Number</th><th>ORC-3-Filler Order Number</th></tr>
<tr><td>SN</td><td>filler application</td><td>placer order number^filler applicat on ID</td><td>Null</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

© JAHIS 2017

Value	Description	Comment
		(continued below)

NA	other application	placer order number^filler application ID	filler order number^filler application ID
Note: Both the placer order number and the filler order number have the filler's application ID 注：依頼者オーダ番号と実施者オーダ番号は実施者のアプリケーションIDを持ちます。			

(2) 実施者アプリケーションはその他のアプリケーション（例：オーダエントリ）からORC-2依頼者オーダ番号を要求する必要があるとき

SN －送信オーダ番号コードは、実施者アプリケーションがORC-2－依頼者オーダ番号をその他のアプリケーション（下記表で“other”と記載）から要求するためのメカニズムを提供する。これはSNのORC-1－オーダ制御値を含みオーダメッセージを送ることによって行う。このORCはnullのORC-2－依頼者オーダ番号とORC-3－実施者オーダ番号を持つ。これらは実施者がオーダを開始するとき、実施者アプリケーションによって作成されたものである。

オーダ（SN型）メッセージは、2つの方法によって応答される。

a) OKのORC-1－オーダ制御値を含むオーダアプリケーションACKメッセージ。修正オーダメッセージは、割り当てられた実際の番号を提供するためNAのORC-1－オーダ制御値を含んでいて、後で送られる。

b) 以下で述べるNAのORC-l－オーダ制御値を含むオーダACKメッセージ。

NA －コードを割り当てられた番号は、“other”アプリケーションが新しく割り当てられたORC-2－依頼者オーダ番号を実施者アプリケーションに知らせることを許す。ORCはNAのORC-1－オーダ制御値、新しく割り当てられたORC-2－依頼者オーダ番号、およびORC-3－実施者オーダ番号（SN値を持つORCから）を含む。

Code	From	ORC-2-Placer Order Number	ORC-3-Filler Order Number
SN	filler application	Null	filler order number^filler application ID
NA	other application	placer or filler number^placer application ID	filler order number^filler application ID
Note: The new ORC-2-placer order number has the placer's application ID 注：新しいORC-2依頼者のオーダ番号は依頼者のアプリケーションIDを持ちます。			

3) アプリケーション（実施者アプリケーションではない）が、新規オーダのORC-3実施者オーダ番号を割り当てたい場合。

NW －オーダを作成するアプリケーション（実施者アプリケーションではない）が、新規オーダの実施者オーダ番号を割り当てたいとき。

または

RO －（RPに続くRO）この場合、“other”のアプリケーションがORC3－実施者オーダ番号を完成する。このときには実施者オーダ番号の2番目の項目として、実施者アプリケーションIDを使用する。

Code	From	ORC-2-Placer Order Number	ORC-3-Filler Order Number
NW o RO	Other application to filler application	placer order number^placer application ID	filler order number^filler application ID

© JAHIS 2017

<table>
<tr><th>Value</th><th>Description</th><th>Comment</th></tr>
<tr><td>NW</td><td>New order/service
新規オーダ</td><td>Placer Applications.
NAのコメントを参照－番号は割り当て</td></tr>
<tr><td>OC</td><td>Order/service canceled
オーダキャンセル完了</td><td>Filler Applications.</td></tr>
<tr><td>OD</td><td>Order/service discontinued
オーダ中断</td><td>Filler Applications.</td></tr>
<tr><td>OE</td><td>Order/service released
オーダ開放</td><td>Filler Applications.</td></tr>
<tr><td>OF</td><td>Order/service refilled as requested
要求通り補充オーダ済</td><td>Filler Applications.
OFは依頼者システムからの補充要求に直接応答する。</td></tr>
<tr><td>OH</td><td>Order/service held
オーダ保留</td><td>Filler Applications.</td></tr>
<tr><td>OK</td><td>Order/service accepted & OK
オーダ受付&OK</td><td>Filler Applications.
NAのコメントを参照－番号割り当て。</td></tr>
<tr><td>OP</td><td>Notification of order for outside dispense
外部調剤へのオーダ通知</td><td>Placer Applications.
これらオーダ制御コードはオーダが情報提供目的とされるシステム間でオーダを通信するために使用される。例えば、通信システムの企業外部のベンダによってオーダは実行される。通信システムでは、臨床継続性のためのオーダに関連した情報の維持が必要であるが、オーダされたサービスを実行するアクションを意図するものではない。
OPはNWの情報提供バージョンを表す。PYはROだけの情報提供バージョンといえる。NWとROの表注記はOPとPYそれぞれにも適用できる。</td></tr>
<tr><td>OR</td><td>Released as requested
要求通りオーダ開放</td><td>Filler Applications.</td></tr>
<tr><td>PA</td><td>Parent order/service
親オーダ</td><td>Filler Applications.
親(PA)と子(CH)のオーダ制御コードは親（オリジナルオーダ）を変えることなく「親オーダ」から「子オーダ」を作成可能である。PAのORC-1－オーダ制御値を持つ1個以上のORCセグメントはCHのORC-1－オーダ制御値を持つ1個以上のORCセグメントが後に続く。ORC-6－応答フラグの値によってOBRセグメントが存在しなければならないかどうか決定される。

例えば、細菌培養で2つの細菌を生成しそれに対応する感受性試験の結果がでたと仮定して、そのときセグメントの順序は、次の通りである
<table>
<tr><th>Segment</th><th>Order Control</th><th>Comment</th></tr>
<tr><td>ORC</td><td>PA</td><td>1st parent ORC</td></tr>
<tr><td>ORC</td><td>CH</td><td>1st child ORC</td></tr>
<tr><td>OBR</td><td></td><td>1st child order</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>ORC</td><td>CH</td><td>2nd child ORC</td></tr>
<tr><td>OBR</td><td></td><td>2nd child order</td></tr>
</table>
親－子パラダイムの依頼者番号の割り当ては、実施者あるいは依頼者が子オーダを生成するかどうか、または、後者の場合は依頼者がSN/NAトランザクションをサポートするかどうかに依存する。依頼者が子オーダを作成する場合、その通常の手続きに従い、依頼者番号を割り当てる。実施者が子オーダを作成する場合、そこで2つの可能性がある:それぞれの子はその親の依頼者番号を受け継ぐか、あるいは、実施者は依頼者が依頼者オーダ番号(placer order number.)を割り当てるよう要求するためにSN/NAトランザクションを使用する。どちらのケースでも、実施者アプリケーションは、その通常の手続きに応じて子の実施者オーダ番号を作成する。

ORCセグメントのORC-8－親に子オーダが送られるときは、親の実施者番号（実施者から開始するならば）および親の依頼者番号（実施者、あるいは依頼者から開始するならば）が割り振られる。

親子のメカニズムは、例えば、毎朝、連続して3回のEKGのオーダを発行するといったように、親</td></tr>
</table>

© JAHIS 2017

<table>
<tr><th>Value</th><th>Description</th><th>Comment</th></tr>
<tr><td></td><td></td><td>オーダを拡張するために使用される。</td></tr>
<tr><td>PR</td><td>Previous Results with new order/service
以前の結果</td><td>Placer Applications.
PRはORCのオーダに組み込まれた過去の検査を含むORU構造の一部だと示す。

少なくとも2つの主要なユースケースは、過去の検査の完了結果をそのオーダとともに転送されるために必要とする。

• 診断検査室が結果（HIV等）の確認あるいは検査（遺伝子検査等）を行う設備がない等で他の検査機関に検査を問い合わせる。

• 診断検査室が検査報告に含まれる診断コメントの自動生成のための知識ベースに結果を送る。</td></tr>
<tr><td>PY</td><td>Notification of replacement order for outside dispense
外部調剤へのオーダ修正通知</td><td>Placer Applications.
OP（外部調剤へのオーダ通知）のコメントを参照。</td></tr>
<tr><td>RE</td><td>Observations/Performed Service to follow
検査付帯情報</td><td>Placer or Filler Applications.
検査付帯情報コードはオーダとともに患者固有情報を送るのに使用される。オーダ詳細セグメント（例えば、OBR）の後には1個またはそれ以上の検査セグメント(OBX)を続けることができる。ORUメッセージとして伝えることができるいかなる検査情報も、このメカニズムで伝えることができる。オーダとともに結果が送られる際は、サポートするためオーダの直後に結果が次にくる。

次の例は、3個の処方オーダのためのセグメントのシーケンスを、REコードの使用例で示す。
<table>
<tr><th>Segment</th><th>Order Control</th><th>Comment</th></tr>
<tr><td>MSH</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>PI</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>ORC</td><td>NW</td><td>First new order</td></tr>
<tr><td>RXO</td><td></td><td>First order segment</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>ORC</td><td>NW</td><td>2nd new order</td></tr>
<tr><td>RXO</td><td></td><td>2nd order segment</td></tr>
<tr><td>[ORC</td><td>RE</td><td>Patient-specific observation, optional in V 2.2</td></tr>
<tr><td>OBR]</td><td></td><td>Observation OBR, optional in V 2 2</td></tr>
<tr><td>OBX</td><td></td><td>An observation segment</td></tr>
<tr><td>OBX</td><td></td><td>Another observation segment</td></tr>
<tr><td>OBX</td><td></td><td>Another observation segment</td></tr>
<tr><td>OBX</td><td></td><td>Another observation segment</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>ORC</td><td>NW</td><td>3rd order</td></tr>
<tr><td>RXO</td><td></td><td>3rd order segment</td></tr>
</table>
HL7のこのバージョンにおいて、結果は1個あるいはそれ以上のOBXセグメントとしてオーダとともに送ることができる。ただしORCとOBRセグメントを必ずしも含む必要はない。

検査情報はORCを使用せずにORUメッセージを用いて伝えることができる。
ORUメッセージのOBRセグメントに含まれない情報を伝える必要が生じるときがある。この場合、ORCがORUメッセージに含まれていることを推奨する。

オーダ制御値REはオーダの後に検査結果(OBX)が続くことを示すためにORMメッセージにおいてのみ要求される。REコードはORUメッセージでは必要ではない。なぜならOBRセグメントの後に検査結果(OBX)を続けることができるからである。</td></tr>
<tr><td>RF</td><td>Refill order/service request
補充オーダ要求</td><td>Placer or Filler Applications.
RFは実施者または依頼者のどちらかによる要求を受け入れる。実施者は依頼者からの補充許可を要求することができる。依頼者システムは、補充が実施者システムによって行われるよう要</td></tr>
</table>

© JAHIS 2017

<table>
<tr><th>Value</th><th>Description</th><th>Comment</th></tr>
<tr><td></td><td></td><td>求することができる。

標準的な応答は、これらに限定されないが、以下のようなものが挙げられる。実施者要求に関してはAF－補充オーダ要求承認、DF–補充オーダ要求拒否; 依頼者要求には、RE－検査付帯情報、UF－補充不能</td></tr>
<tr><td>RL</td><td>Release previous hold
前回保留オーダ開放</td><td>Placer Applications.</td></tr>
<tr><td>RO</td><td>Replacement order
修正後オーダ</td><td>Placer or Filler Applications.
オーダ修正依頼は以前に依頼された1個以上のオーダの置き換えである。

修正されたオーダはあたかも取り消されたオーダのように扱われる。依頼されたサービスが取り換えられるかどうか、いつ修正されるかは、現場独自で決定する。

オリジナルのオーダが元の状態を保つことをサイトが要求するならば、親／子オーダ制御コードを使用する。以下の場合は、オーダ修正コードを使用しない。

修正される各オーダにはRP（実施者に対するオーダ修正依頼）のORC-1－オーダ制御値またはRU（実施者によって作成された未承認オーダ修正）を使用すること。RUは実施者によって使用され、依頼者および、または他のシステムに通知するためのものである。現場での取り決め(local agreement)によって、ORCセグメント（RPまたはRUと）の後には、そのオリジナルのオーダ詳細セグメントが続いてもよい。ORCセグメント（RPまたはRUを含む）の後には、RO（修正後オーダを示す）のORC-1－オーダ制御値を持つ、ORCセグメントが続かなければならない。現場での取り決めによっては、RO値を持つORCは、オーダ詳細セグメントが後に続いてもよい。

例えば、部門のアプリケーションが2個のOBRオーダを3つの異なったオーダで修正されていたと仮定して、セグメントの順序は、次の通りになる。

<table>
<tr><th>Seg</th><th>Order Control</th><th>Comment</th></tr>
<tr><td>ORC</td><td>RU</td><td>1st replaced ORC</td></tr>
<tr><td>OBR</td><td></td><td>1st replaced order s detail segment</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>ORC</td><td>RU</td><td>2nd replaced ORC</td></tr>
<tr><td>OBR</td><td></td><td>2nd replaced order's detail segment</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>ORC</td><td>RO</td><td>1st replacement ORC</td></tr>
<tr><td>OBR</td><td></td><td>1st replacement order's detail segment</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>ORC</td><td>RO</td><td>2nd replacement ORC</td></tr>
<tr><td>OBR</td><td></td><td>2nd replacement order's detail segment</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>ORC</td><td>RO</td><td>3rd replacement ORC</td></tr>
<tr><td>OBR</td><td></td><td>3rd replacement order's detail segment</td></tr>
</table>

ORC-6－応答フラグの値によってOBRセグメントが存在しなければならないかどうかが決定される。

この修正方法はすべての修正可能なケースを扱う:
1個から1個へ、多数から1個へ、1個から多数へ、および多数から多数へである。もし依頼者が実施者に2つのRP付き要求を送り実施者から依頼者への応答があるとすると、2つのRU（未承認のオーダ修正）は2つのRQ（要求どおりオーダ修正）となる。

<table>
<tr><th>Seg</th><th>Order Control</th><th>Comment</th></tr>
<tr><td>ORC</td><td>RQ</td><td>1st replaced ORC</td></tr>
<tr><td>OBR</td><td></td><td>1st replaced order's detail segment</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

© JAHIS 2017

<table>
<tr><th>Value</th><th>Description</th><th>Comment</th></tr>
<tr><td></td><td></td><td>
<table>
<tr><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>ORC</td><td>RQ</td><td>2nd replaced ORC</td></tr>
<tr><td>OBR</td><td></td><td>2nd replaced order's detail segment</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>ORC</td><td>RO</td><td>1st replacement ORC</td></tr>
<tr><td>OBR</td><td></td><td>1st replacement order's detail segment</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>ORC</td><td>RO</td><td>2nd replacement ORC</td></tr>
<tr><td>OBR</td><td></td><td>2nd replacement order's detail segment</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>ORC</td><td>RO</td><td>3rd replacement ORC</td></tr>
<tr><td>OBR</td><td></td><td>3rd replacement order's detail segment</td></tr>
</table>
修正オーダコードは実施者のアプリケーションによってオーダされたサービスの正確な取り換えを指示する別なアプリケーションに送られる。それは上記のRPとRUのオーダ制御コードによって使用される。
ROの制御値を持つORCセグメントのオーダ番号の規則は修正型（RPまたはRU）によって決定される。
RU型（すなわち実施者からの未承諾オーダ修正）のときには、実施者オーダ番号は、実施者アプリケーションによって通常生成される。依頼者オーダ番号は、RUのオーダ制御値を含む最初に送られたORCの依頼者オーダ番号と全く同一である。
RP型（すなわち別のアプリケーションから実施者へのオーダ修正要求）のときには、依頼者オーダ番号は、新規オーダのための手続きを使用して、依頼者アプリケーションによって生成される。実施者オーダ番号は、新規オーダと同一の手順を使用して、実施者アプリケーションによって生成される。
修正シーケンスがORUメッセージ（すなわち検査結果報告の間に）において使用されるときの、オーダ修正に使用されるべき推奨セグメントを以下に述べる。
オーダ制御値ROのORC。
任意のOBRセグメント（任意のオーダ詳細セグメントによって変えられる）。
任意に、検査結果セグメント(OBX)が後に続く。
NTEセグメントは、OBR（あるいはいかなるオーダ詳細セグメント）後、あるいは、通常のORUメッセージにおけるのと同様にOBXセグメントの後に続けられる。
</td></tr>
<tr><td>RP</td><td>Order/service replace request
オーダ修正要求</td><td>
Placer Applications.
オーダ修正依頼は、以前に依頼された、1個あるいはそれ以上のオーダの置き換えである。今後の議論のためには、RO–修正後オーダのコメントを参照
オーダ修正要求コードは依頼者アプリケーションの要求に応じて、実施者が1個あるいはそれ以上の新規オーダを1個あるいはそれ以上の新規オーダと取り換えることを許可する。
ROの制御値を持つORCセグメントのオーダ番号の規則は修正型（RPまたはRU）によって決定される。
RU型（すなわち実施者からの未承諾オーダ修正）のときには、実施者オーダ番号は、実施者アプリケーションによって通常生成される。依頼者オーダ番号は、RUのオーダ制御値つきの最初に送られたORCの依頼者オーダ番号と全く同一である。
RP型（すなわち別のアプリケーションから実施者へのオーダ修正要求）のときには、依頼者オー
</td></tr>
</table>

© JAHIS 2017

Value	Description	Comment
		ダ番号は、新規オーダのための手続きを使用して、依頼者アプリケーションによって生成される。実施者オーダ番号は、新規オーダと同一の手順を使用して、実施者アプリケーションによって生成される。 修正シーケンスがORUメッセージ（すなわち検査結果報告の間に）において使用されるときの、オーダ修正に使用されるべき推奨セグメントを以下に述べる。 a) オーダ制御値ROのORC b) 任意のOBRセグメント（任意のオーダ詳細セグメントによって変えられる） c) 任意に、検査結果セグメント(OBX)が後に続く d) NTEセグメントは、OBR（あるいはいかなるオーダ詳細セグメント）後、あるいは、通常のORUメッセージにおけるのと同様にOBXセグメントの後に続けられる。
RQ	Replaced as requested 要求通りオーダ修正	Filler Applications. オーダ修正依頼は、以前に依頼された、1個あるいはそれ以上のオーダの置き換えである。今後の議論のためには、RO–修正後オーダのコメントを参照。 オーダ修正要求コードは依頼者アプリケーションの要求に応じて、実施者が1個あるいはそれ以上の新規オーダを1個あるいはそれ以上の新規オーダと修正することを許可する。 修正後オーダコードは実施者アプリケーションによってオーダされたサービスの正確な修正を指示する別なアプリケーションに送られる。それは上記のRPとRUのオーダ制御コードによって使用される。 ROの制御値を持つORCセグメントのオーダ番号の規則は修正型（RPまたはRU）によって決定される。 RU型（すなわち実施者からの未承諾オーダ修正）のときには、実施者オーダ番号は、実施者アプリケーションによって通常生成される。依頼者オーダ番号は、RUのオーダ制御値つきの最初に送られたORCの依頼者オーダ番号と全く同一である。 RP型（すなわち別のアプリケーションから実施者へのオーダ修正要求）のときには、依頼者オーダ番号は、新規オーダのための手続きを使用して、依頼者アプリケーションによって生成される。実施者オーダ番号は、新規オーダと同一の手順を使用して、実施者アプリケーションによって生成される。 修正シーケンスがORUメッセージ（すなわち検査結果報告の間に）において使用されるときの、オーダ修正に使用されるべき推奨セグメントを以下に述べる。 a) オーダ制御値ROのORC b) 任意のOBRセグメント（任意のオーダ詳細セグメントによって変えられる） c) オプションで、検査結果セグメント(OBX)が後に続く d) NTEセグメントは、OBR（あるいはいかなるオーダ詳細セグメント）後、あるいは、通常のORUメッセージにおけるのと同様にOBXセグメントの後に続けられる。
RR	Request received 要求受付	Placer or Filler Applications. 旧バージョンとの互換性のため。現在のバージョンにおいてはACK（確認応答）の受諾に等しい。要求受信コードはオーダメッセージが受信されて、後で処理されることを示す。すなわち、そのオーダはより正確な応答をするための処理をまだ実行していないということである。
RU	Replaced unsolicited 未承諾オーダ修正	Filler Applications. オーダ修正依頼は以前に依頼された、1個あるいはそれ以上のオーダの置き換えである。今後の議論のためにはRO–修正後オーダのコメントを参照。 未承諾オーダ修正コードは依頼者アプリケーションから要求されることなしに実施者アプリケー

Value	Description	Comment
		ションが別なアプリケーションに知らせることを許可する。 ROの制御値を持つORCセグメントのオーダ番号の規則は取り換え型（RPまたはRU）によって決定される。 RU型（すなわち実施者からの未承諾オーダ修正）のときには、実施者オーダ番号は実施者アプリケーションによって通常生成される。依頼者オーダ番号はRUのオーダ制御値つきの最初に送られたORCの依頼者オーダ番号と全く同一である。 RP型（すなわち別のアプリケーションから実施者へのオーダ修正要求）のときには、依頼者オーダ番号は、新規オーダのための手続きを使用して、依頼者アプリケーションによって生成される。実施者オーダ番号は、新規オーダと同一の手順を使用して、実施者アプリケーションによって生成される。 取り換えシーケンスがORUメッセージ（すなわち検査結果報告の間に）において使用されるときの、オーダ修正に使用されるべき推奨セグメントを以下に述べる。 a) オーダ制御値ROのORC b) 任意のOBRセグメント（任意のオーダ詳細セグメントによって変えられる） c) 任意に、検査結果セグメント(OBX)が後に続く d) NTEセグメントは、OBR（あるいはいかなるオーダ詳細セグメント）後、あるいは、通常のORUメッセージにおけるのと同様にOBXセグメントの後に続けられる。
SC	Status changed 状態変更	Placer or Filler Applications.
SN	Send order/service number 送信オーダ番号	Placer Applications. NAに関してはコメントを参照－番号割り当て
SR	Response to send order/service status request 送信オーダ状態要求応答	Filler Applications.
SS	Send order/service status request 送信オーダ状態要求	Placer Applications.
UA	Unable to accept order/service 受付オーダキャンセル	Filler Applications. オーダ受付不可コードが使用されるのは新しいオーダを実施者が受付できないときである。受付できない理由としては患者がアレルギーを起こす薬剤の処方を要求したこと、またはそのオーダを実施するための機器が利用できないこと（例えば、オーダが記入できないなど）が考えられる。これはMSAセグメント内で定義される通信レベルでの受付とは異なることに留意すること。
UC	Unable to cancel オーダキャンセル不能	Filler Applications. オーダキャンセル不能コードは依頼されたサービスが実施者によって取り消せない時点にあるとき、あるいは現場の取り決めで実施者によるキャンセルを禁止するとき使用される。このコードの使用はORC-6－応答フラグに従う。
UD	Unable to discontinue オーダ中断不能	Filler Applications.
UF	Unable to refill 補充不能	Filler Applications. UFは実施者システムがRF－許可補充要求／サービス要求に対して否定応答で、受信アプリケーションが補充要求を完了できないことを示す
UH	Unable to put on hold オーダ保留不能	Filler Applications.
UM	Unable to replace オーダ修正不能	Filler Applications.
UN	Unlink order/service from patient care problem or goal 患者看護プロブレムまたはゴールからのリンクオーダ解除	Placer or Filler Applications. 詳細は、第12章： 患者看護を参照。

© JAHIS 2017

Value	Description	Comment
UR	Unable to release オーダ開放不能	Filler Applications.
UX	Unable to change オーダ変更不能	Filler Applications.
XO	Change order/service request オーダ変更要求	Placer Applications.
XR	Changed as requested 要求通りオーダ変更	Filler Applications.
XX	Order/service changed unsolicited. オーダ変更（未承諾）	Filler Applications.
MC	Miscellaneous Charge – not associated with an order 雑費－オーダとは関連なし	applies to DFT^P03^DFT_P03 and DFT^P11^DFT_P11 DFT^P03^DFT_P03 とDFT^P11^DFT_P11を適用。

注記：HL7 Ver.2.5の当該表は、オーダ制御コードに対応するメッセージの記述が不十分であるため、HL7 Ver.2.7の当該表を採用した。

ORC-2　Placer Order Number 依頼者オーダ番号 (EI)　00216

成分:　<Entity Identifier (ST)> ^ <Namespace ID (IS)> ^ <Universal ID (ST)> ^ <Universal ID Type (ID)>

定義：依頼アプリケーションのオーダ番号

　第1成分は、個々のオーダ(たとえば、(OBR))を識別する15文字までの文字列である。それは、依頼者(依頼アプリケーション)によって割り当てられる。それは、特定の依頼アプリケーションからのすべてのオーダの中から一意に一つのオーダを識別する。第2成分は依頼アプリケーションのアプリケーションIDを含む。アプリケーションIDは、アプリケーションに一意に関連する6つの文字までの文字列である。ひとつの施設または相互に通信する施設のグループは、アプリケーションで一意のリストを確立すべきである。リストは潜在的な依頼者と実施者であってもよく、そして一意なアプリケーションIDを割り当ててもよい。2つの成分は、共通の区切り文字によって分離される。

　このように一意ではなく、真の依頼者がいくらかあいまいな3つの状態がある。

a) RU取替えに続く、ROのORC-1-オーダ制御値の場合；

b) CH(子オーダー)のORC-1-オーダ制御値の場合；

c) SN(番号を送ること)のORC-1-オーダ制御値の場合；

ORC-2-依頼者オーダ番号がこれらの場合どのように割り当てられるかの詳細については、ORC-1-オーダ制御の下の表の注を参照すること。

　ひとつの施設または相互に通信する施設のグループは、アプリケーションで一意のリストを確立すべきである。リストは潜在的な依頼者と実施者であってもよく、そして一意なアプリケーションIDを割り当ててもよい。アプリケーションIDリストは、本規格の他の箇所で文書化されている、施設のマスタ辞書の1つになる。第三者アプリケーション(オーダの依頼者および実施者以外)がOMGとORGのメッセージ送受信ができるので、このフィールドの依頼アプリケーションIDは、ネットワーク上の送信および受信アプリケーションと同じでなくともよい(MSHセグメントにおいて述べた)。

　ORC-2-依頼者オーダ番号は、OBR-2-依頼者オーダ番号と同じある。依頼者オーダ番号がORCの中に存在していないならば、それは関連したOBR内に存在しなければならない。その逆もまた真である。もし両方のフィールド、すなわちORC-2-依頼者オーダ番号およびOBR-2-依頼者オーダ番号が設定されるならば、それらは同じ値でなければならない。結果がORUメッセージで送られるとき、ORCは必要ないが、依頼者オーダ識別番号がOBRセグメント内に存在せねばならない。

　これらの規則は、上位互換性のためORCとOBRの両方の中に存在している他のフィールドにも適用する。(たとえば、数量/タイミング、親番号、オーダ依頼者、および依頼コールバック用電話番号)。

【処方】　すべてのオーダ（処方せん単位）を一意に識別できるオーダ番号。オーダの特定に必要な情報として必須とする。

ORC-3　Filler Order Number 実施者オーダ番号 (EI)　00217

成分:　<Entity Identifier (ST)> ^ <Namespace ID (IS)> ^ <Universal ID (ST)> ^ <Universal ID Type (ID)>

定義：　実施アプリケーションに関連したオーダ番号。その第１成分は、オーダ詳述セグメントを識別する 15 文字の文字列である(例　OBR)。それは、オーダ実施(受け取る)アプリケーションによっ

© JAHIS 2017

て割り当てられる。この文字列は、特定の実施アプリケーション(例　臨床検査)の他のオーダから、そのオーダ(オーダ詳細セグメントにおいて明示されるように)を、一意に識別せねばならない。一意性は長時間にわたたって持続しなければならない。

第2成分は、実施アプリケーションIDを含んでいる。実施アプリケーションIDは、6文字までの文字列であり、アプリケーションをネットワーク上の他のアプリケーションから識別する。実施者オーダ番号の第2成分は、オーダの実際の実施者を常に識別する。

ある施設または相互通信施設グループは、アプリケーションの一意のリストを確立すべきである。リストは潜在的な依頼者と実施者であってもよく、そして一意なアプリケーションIDを割り当ててもよい。アプリケーションIDリストは、本規格の他の箇所で文書化されている、施設のマスタ辞書の1つになる。第三者アプリケーション(オーダの依頼者および実施者以外)がOMGとORGのメッセージ送受信ができるので、このフィールドの依頼アプリケーションIDは、ネットワーク上の送信および受信アプリケーションと同じでなくともよい(MSHセグメントにおいて確認したように)。

実施者オーダ番号(OBR-3あるいはORC-3)は、オーダとその関連した検査を一意に識別する。たとえば、ある施設が検査をいくつかの関連アプリケーションから集め、それを共通のデータベースの中に入れ、この共通のデータベースがまた別のアプリケーションによって検査のために照会される、と仮定する。この場合、共通のデータベースアプリケーションによって送られた実施者オーダ番号と依頼者オーダ番号は、それぞれオリジナルの実施者および依頼者であろう。すなわち共通のデータベースアプリケーションによって割り当てられた新しいものではない。

同様に、実施者あるいは依頼者でないオーダの第三者アプリケーションが、オーダの状態を修正する(たとえば、それをキャンセルすること)権限があるならば、その第三者アプリケーションは、実施者にOMGメッセージを送る。そこには、『CA』に等しいORC-1オーダ制御の付いたORCセグメント、およびオリジナル依頼者オーダ番号および実施者オーダ番号を含む。いずれもそれ自身が割り当てることはない。

ORC-4　Placer Group Number　依頼者グループ番号 (EI)　00218

成分:　<Entity Identifier (ST)> ^ <Namespace ID (IS)> ^ <Universal ID (ST)> ^ <Universal ID Type (ID)>

定義:オーダ依頼アプリケーションが複数セットのオーダを一緒にグループ化して後でそれらを識別できるようにする。

第1成分は、15文字までの文字列であって、これがすべての他のオーダグループを特定の依頼アプリケーションから一意に識別する。それは依頼アプリケーションによって割り当てられて、ORCの依頼者オーダ番号と同じシリーズでもよいが、これは必須ではない。

第2成分は、依頼アプリケーションIDであり、これはORC-2-依頼者オーダ番号の第2成分と同じである。

【処方】本規約では、オーダ番号、すべてのRPをアプリケーション内で一意に識別するため、番号（RP番号）を、アンダースコアを区切り文字として連結したテキストを必ずセットする。オーダ番号はORC-2と同じ値とする。RP番号は2桁とすることを推奨する。RPの特定に必要な情報として必須とする。

例:オーダ番号が123456789012345、RP番号が02の場合

|123456789012345_02|

ORC-5　Order Status オーダ状態 (ID)　00219

定義：　オーダの状態。取りうる値についてはHL7表0038-オーダ状態を参照すること。このフィールドの目的は、要求された場合または状態が変更になった場合に、オーダの状態を報告することであり、オーダ自体を処理する事ではない。オーダ状態は、メッセージが送られるとき送信アプリケーションに知られていた状態を反映させる。実施者だけがこのフィールドに値を付けることができる。

HL7表 0038に示すオーダ状態は、HL7表 0119-オーダ制御と同じ様な内容を含んでいるが、目的は異なる。オーダ状態は、ORC-1-オーダ制御値のSRまたはSCにおいて典型的に使用される。これはオーダの状態を、要求を受けた時または当事者に随時報告するためである。

HL7表 0038 -Order status オーダ状態

Value	Description
A	Some, but not all, results available　部分的完了

© JAHIS 2017

Value	Description
CA	Order was canceled　オーダが取り消された
CM	Order is completed　オーダが完了した
DC	Order was discontinued　オーダが中断した
ER	Error, order not found　エラー、オーダが見つからない
HD	Order is on hold　オーダが保留
IP	In process, unspecified　進行中、不定
RP	Order has been replaced　オーダが取替えられた
SC	In process, scheduled　進行中、予定

ORC-6　Response Flag 応答フラグ (ID)　00220

定義：これによって依頼者(送信)アプリケーションは、実施者から返されるべき情報の量を決定できる。要求されたレベルの応答は、即時には可能ではないかもしれない、しかし、それが可能なときは、実施者(受信)アプリケーションは、情報を送らなければならない。フィールドが null であるとき、フィールドのデフォルト値は D である。取りうる値については HL7 表 0121-応答フラグを参照のこと。

HL7表 0121 -Response flag 応答フラグ

Value	Description
E	Report exceptions only　例外のみを報告
R	Same as E, also Replacement and Parent-Child　E と同じ、また取換えおよび親子
D	Same as R, also other associated segments　R と同じ、また他の関連セグメント
F	Same as D, plus confirmations explicitly　D と同じ、プラス明確な確認
N	Only the MSA segment is returned　MSA セグメントのみが返却される

ORC-7　Quantity/Timing 数量/タイミング (TQ)　00221

成分: <Quantity (CQ)> ^ <Interval (RI)> ^ <Duration (ST)> ^ <Start Date/Time(TS)> ^ <End Date/Time (TS)> ^ <Priority (ST)> ^ <Condition (ST)> ^ <Text(TX)> ^ <Conjunction (ID)> ^ <Order Sequencing (OSD)> ^ <OccurrenceDuration (CWE)> ^ <Total Occurrences (NM)>

副成分 for Quantity (CQ): <Quantity (NM)> & <Units (CWE)>

Note subcomponent contains sub-subcomponents

副成分 for Interval (RI): <Repeat Pattern (IS)> & <Explicit Time Interval(ST)>

副成分 for Start Date/Time (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree ofPrecision (ID)>

副成分 for End Date/Time (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision(ID)>

副成分 for Order Sequencing (OSD): <Sequence/Results Flag (ID)> & <PlacerOrder Number: Entity Identifier (ST)> & <Placer Order Number: Namespace ID(IS)> & <Filler Order Number: Entity Identifier (ST)> & <Filler OrderNumber: Namespace ID (IS)> & <Sequence Condition Value (ST)> & <MaximumNumber of Repeats (NM)> & <Placer Order Number: Universal ID (ST)> &<Placer Order Number: Universal ID Type (ID)> & <Filler Order Number:Universal ID (ST)> & <Filler Order Number: Universal ID Type (ID)>

副成分 for Occurrence Duration (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義：*(このフィールドは下位互換を保つ目的のためだけに残されている)*

ORC-8　Parent 親 (EIP)　00222

成分:　<Placer Assigned Identifier (EI)> ^ <Filler Assigned Identifier (EI)>

副成分 for Placer Assigned Identifier (EI):　<Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Filler Assigned Identifier (EI):　<Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

定義：親子のメカニズムの関係が存在するとき子を親に関係付ける。親子のメカニズムは、ORC-1-オーダ制御の注のところで述べられる。第 1 成分は、親オーダの依頼者オーダ番号を含んでいる。それは、オーダが子であるとき要求される。

第 2 成分は、親オーダの実施者オーダ番号を含んでいる。

依頼者オーダ番号と実施者オーダ番号との成分は、このフィールドの 2 つの成分の副成分として送られる。

ORC-9　Date/Time Of Transaction　トランザクション日時 (TS)　00223

成分:　<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

© JAHIS 2017

定義：このフィールドはORC-1オーダ制御コードに反映された現在の処理を始めた事象の日時からなる。このフィールドは、物理的メッセージの日時を反映したMSH-7メッセージ日時と同じではない。

ORC-10 Entered By 入力者 (XCN) 00224

成分: <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <DEPRECATED-Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <DEPRECATED-Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Family Name (FN): <Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分 for Assigning Authority (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Name Context (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for DEPRECATED-Name Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

Note subcomponent contains sub-subcomponents

副成分 for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義：要求をアプリケーションに実際に打鍵した人の所属氏名。それは、要求が不正確に入れられ、関連部門が要求を明らかにする必要がある場合、監査証跡となる。現場の取り決めによって、ID番号または名前成分は、省略されてもよい。

要求をアプリケーションに実際に打鍵した操作者のID。

ORC-11 Verified By 検証者 (XCN) 00225

成分: <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <DEPRECATED-Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <DEPRECATED-Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Family Name (FN): <Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分 for Assigning Authority (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

© JAHIS 2017

副成分 for Assigning Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>
副成分 for Name Context (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>
副成分 for DEPRECATED-Name Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>
Note subcomponent contains sub-subcomponents
副成分 for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>
副成分 for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>
副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>
副成分 for Assigning Agency or Department (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義: 入れられた要求の精度を検証した人の所属氏名。それが使用されるのは、要求が技師によって入力され、看護婦などのより高い権威者によって検証される必要がある場合である。現場の取り決めによって、ID 番号や名前成分は、省略されてもよい。

ORC-12 Ordering Provider オーダ依頼者 (XCN) 00226

成分: <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <DEPRECATED-Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <DEPRECATED-Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>
副成分 for Family Name (FN): <Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>
副成分 for Assigning Authority (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>
副成分 for Assigning Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>
副成分 for Name Context (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>
副成分 for DEPRECATED-Name Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>
Note subcomponent contains sub-subcomponents
副成分 for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>
副成分 for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>
副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>
副成分 for Assigning Agency or Department (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義： 要求を作成することに責任がある依頼する医師などの所属氏名。

© JAHIS 2017

要求を作成することに責任がある依頼する医師など ID。

【処方】処方医のＩＤ・氏名（姓・名）を示す。姓・名の分離が難しい場合は＜姓＞フィールドを使用する。

ORC-13　Enterer's Location 入力者の場所 (PL)　00227

成分:　<Point of Care (IS)> ^ <Room (IS)> ^ <Bed (IS)> ^ <Facility (HD)> ^ <Location Status (IS)> ^ <Person Location Type (IS)> ^ <Building (IS)> ^ <Floor (IS)> ^ <Location Description (ST)> ^ <Comprehensive Location Identifier (EI)> ^ <Assigning Authority for Location (HD)>

副成分 for Facility (HD):　<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Comprehensive Location Identifier (EI):　<Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Authority for Location (HD):　<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

定義： 要求を入力した人の場所(たとえば、部門、階)。それは、部門のあるサブカテゴリーを含むためサイト固有のベースに基づいて使用されてもよい複合フィールドである。たとえば、ICU4 は、4 階の ICU の場所の呼称とするなど。

ORC-14　Call Back Phone Number コールバック用電話番号 (XTN)　00228

成分:　<DEPRECATED-Telephone Number (ST)> ^ <Telecommunication Use Code (ID)> ^ <Telecommunication Equipment Type (ID)> ^ <Email Address (ST)> ^ <Country Code (NM)> ^ <Area/City Code (NM)> ^ <Local Number (NM)> ^ <Extension (NM)> ^ <Any Text (ST)> ^ <Extension Prefix (ST)> ^ <Speed Dial Code (ST)> ^ <Unformatted Telephone number　(ST)>

定義： 要求またはオーダに関して、必要な他の情報を確認するための電話番号。

ORC-15　Order Effective Date/Time オーダ有効の日時 (TS)　00229

成分:　<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義: 変更要求が有効になった、あるいは、有効になる予定の日時。

ORC-9-トランザクション(日時)が、ORC-15-オーダ［訳注:原文は ORC-16-オーダとなっているが、明らかな間違いのため修正した］有効日時の後またはそれに等しくなっているならば、ORC およびその下のセグメントにおけるデータ値はこの日時に有効になった。

ORC-9-トランザクション 日時が ORC-15-オーダ有効日時より前ならば、ORC およびその下位セグメントのデータ値は、オーダ有効日時に有効になるよう計画される。

有効 ORC-15-オーダ有効日時が空白にしておかれるならば、その値は、ORC-9-トランザクション日時と等しいと仮定される。また、トランザクション日時が空白であるならば MSH-7-メッセージと等しいと仮定される。

ORC-15-オーダ有効日時(同じ ORC セグメントのオーダ制御コードイベントのために)が、ORC-7-数量/タイミングと異なる場合は、ORC-15-オーダ有効日時が優先する。一例として ORC イベントが実施者への連続オーダに対する中断要求であり、かつオーダ有効日時が ORC-7-数量/タイミング終了日時の前にあるならば、オーダ有効日時が優先する。ORC の中で識別されたオーダが子を持っているならば、開始しなかった子は取り消される必要がある；プロセスに子がいるならば、それは中断される必要がある。子が中断できる点を超えて前進しているならば、その状態は影響されない。

ORC-16　Order Control Code Reason オーダ制御コード理由 (CWE)　00230

成分:　<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義： オーダ制御コード(HL7 表 0119)によって述べたオーダイベントの理由の説明。コード化したあるいはテキスト形式のどちらでもよい。オーダ特定のセグメント(たとえば、RXO、ORO、OBR)の後の NTE は、その特定のセグメントのためにコメントとなる。もうひとつ、オーダ制御コード理由の目的には、そのオーダイベントの理由を拡張することがある。

ORC-1-オーダ制御が NW であるときは、ORC-16-オーダ制御コード理由に、普通は値を設定しない。ただし、設定できないわけではない。取り消されたオーダのときには、たとえば、このフィールドは、一般的に、キャンセルの理由を説明するために使用される。

良く実証されたアレルギーのために医者からの処方オーダをキャンセルした調剤システムは、このフィールドでアレルギーの事実が多分報告される。

それが薬理相互作用のためにこのオーダをキャンセルしたならば、このフィールドは、相互作用

© JAHIS 2017

物質の少なくとも名称(およびコード、必要とするならば)となる。文章で相互作用、および相互作用の激しさの程度を述べる。

ORC-17　Entering Organization 入力組織 (CWE)　00231

成分:　<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：　入力者がオーダを入力/修正した時に属していた組織

入力者の所属(CWE 型)なので、医師が入力するオーダ情報では診療科と扱う。

【処方】本規約では、依頼科のコードと名称をセットする。

ORC-18　Entering Device 入力装置識別 (CWE)　00232

成分:　<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：　オーダを入力するため使用された物理的装置(端末や PC)の識別子

ORC-19　Action By 発動者 (XCN)　00233

成分:　<ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <DEPRECATED-Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <DEPRECATED-Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分　for Family Name (FN):　<Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分　for Assigning Authority (HD):　<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分　for Assigning Facility (HD):　<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分　for Name Context (CWE):　<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分　for DEPRECATED-Name Validity Range (DR):　<Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

Note subcomponent contains sub-subcomponents

副成分　for Effective Date (TS):　<Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分　for Expiration Date (TS):　<Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分　for Assigning Jurisdiction (CWE):　<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分　for Assigning Agency or Department (CWE):　<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義：　対応するオーダ制御コードによって表されたイベントを発動した人の所属氏名。たとえば、オーダ制御コードが CA(オーダキャンセル依頼)であるならば、このフィールドは、オーダキャンセルを要求した人を表す。

【処方】本規約では、オーダの更新者をセットする。

ORC-20　Advanced beneficiary notice code　事前保険金受給通知コード　(CWE)　01310

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義:このフィールドは患者もしくは患者の責任で保険外のサービスに対して費用の支払うことを保証していない状態を示す。この要素は、ＨＣＦＡの条件を満たす為に導入された。

© JAHIS 2017

参照：使用者定義表 0339 – Advanced beneficiary notice code 事前保険金受給通知コード

使用者定義表 0339 -Advanced beneficiary notice code 事前保険金受給通知コード

Value	Description
1	Service is subject to medical necessity procedures　サービスは医学の必要性がある手続きである
2	Patient has been informed of responsibility, and agrees to pay for service　患者は支払いの義務があり，それを通知されている
3	Patient has been informed of responsibility, and asks that the payer be billed　患者は支払いを了承し請求書を送ることを要求している
4	Advanced Beneficiary Notice has not been signed　受益者注意はサインされていない

ORC-21　Ordering facility name　オーダ施設名 (XON)　01311

成分:　<Organization Name (ST)> ^ <Organization Name Type Code (IS)> ^ <DEPRECATED-ID Number (NM)> ^ <Check Digit (NM)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Organization Identifier (ST)>

副成分 for Assigning Authority (HD):　<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD):　<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

定義：このフィールドは、オーダの発行者施設を記述する

ORC-22　Ordering facility address　オーダ施設住所 (XAD)　01312

成分: In Version 2.3 and later, replaces the AD data type.　<Street Address (SAD)> ^ <Other Designation (ST)> ^ <City (ST)> ^ <State or Province (ST)> ^ <Zip or Postal Code (ST)> ^ <Country (ID)> ^ < Address Type (ID)> ^ <Other Geographic Designation (ST)> ^ <County/parish Code (IS)> ^ <Census Tract (IS)> ^ <Address Representation Code (ID)> ^ <Address Validity Range (DR)>

副成分 for Street Address (SAD):　<Street or Mailing Address (ST)> & <Street Name (ST)> & <Dwelling Number (ST)>

副成分 for DEPRECATED-Address Validity Range (DR):　<Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

Note subcomponent contains sub-subcomponents

副成分 for Effective Date (TS):　<Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS):　<Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドは、オーダの発行者施設の住所を記述する

ORC-23　Ordering facility phone number　オーダ施設電話番号　(XTN)　01313

成分:　[NNN] [(999)]999-9999 [X99999] [B99999] [C any text] ^ <Telecommunication Use Code (ID)> ^ <Telecommunication Equipment Type (ID)> ^ <Email Address (ST)> ^ <Country Code (NM)> ^ <Area/City Code (NM)> ^ <Phone Number (NM)> ^ <Extension (NM)> ^ <Any Text (ST)>

定義：このフィールドは、オーダの発行施設の電話番号を記述する

ORC-24　Ordering provider address　オーダ提供者住所 (XAD)　01314

成分: In Version 2.3 and later, replaces the AD data type.　<Street Address (SAD)> ^ <Other Designation (ST)> ^ <City (ST)> ^ <State or Province (ST)> ^ <Zip or Postal Code (ST)> ^ <Country (ID)> ^ < Address Type (ID)> ^ <Other Geographic Designation (ST)> ^ <County/Parish Code (IS)> ^ <Census Tract (IS)> ^ <Address Representation Code (ID)> ^ <Address Validity Range (DR)>

副成分 for Street Address (SAD):　<Street or Mailing Address (ST)> & <Street Name (ST)> & <Dwelling Number (ST)>

副成分 for DEPRECATED-Address Validity Range (DR):　<Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

Note subcomponent contains sub-subcomponents

副成分 for Effective Date (TS):　<Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS):　<Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドは、オーダの医療提供者住所を記述する

ORC-25　Order status modifier　オーダ状態変更　(CWE)　01473

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

© JAHIS 2017

定義 : このフィールドは、ORC-5 オーダ状態の変更，または、再生を記述する。定義されたオーダ状態コードの追加のレベル特性、もしくは追加の情報を提供する為に使われる。このオーダ状態はＨＬ７により定義されたものとは異なり，ＡＰにより状態コードを任意に設定できる。データタイプは CWE である。

使用規則 : このフィールドは ORC-5 状態が指定されていれば 使用される。

ORC-26　Order status modifier　事前保険金受給通知上書き理由　(CWE)　01641

成分:　<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義 : このフィールドは、患者が受益者注意コードにサインしない理由を含む。理由はコード化されるか或いは自由なテキスト形式で入力される。

条件 : このフィールドは ORC-20 受益者注意コードの値が、通知にサインされていない場合に要求される。例えば、ORC-20 が使用者定義表 0339—受益者注意コードに 3 或いは 4 の値が入力されている場合、または、関連する外部コード表で同様の値は入力されている場合、追加の資格或いは説明のための情報が正しい値として認められる。

ORC-27　Filler's Expected Availability Date/Time　実施者サービス可能日時　(TS)　01642

成分:　<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義 : このフィールドは、実施者がサービス可能な日時を指定する。例えば、処方せんが受け取り可能或いは研究結果が可能となる場合に記述する。

ORC-28　Confidentiality Code　守秘コード　(CWE)　00615

成分:　<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義 : このフィールドは、オーダを取り巻くセキュリティレベル又或いは注意度に関する情報を含む。（例えば厳重注意、注意不要、注意など）。可能な値に関しては、 HL7 表 0177 – 守秘コード を参照のこと。特別な守秘レベルを持つデータの処理に関しては、現場特殊な交渉に委ねる。

HL7表　0177 -Confidentiality Code　守秘コード

Value	Description
AID	AIDS patient　患者
EMP	Employee　従業員
ETH	Alcohol/drug treatment patient　アルコール/薬物中毒 治療患者
HIV	HIV(+) patient　 HIV(+)患者
PSY	Psychiatric patient　精神医学患者
R	Restricted　限定
U	Usual control　通常管理
UWM	Unwed mother　未婚の母
V	Very restricted　非常に限定
VIP	Very important person or celebrity　重要人物や名士

ORC-29　Order Type　オーダタイプ　(CWE)　01643

成分:　<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義 : このフィールドは、オーダが入院患者にセット、あるいは外来患者にセットされ実行されるかどうかを示している。もし、このフィールドが値を持っていなければ、システムのデフォルト値がとられる。推奨値に関しては、HL7 表 0482 – オーダタイプを参照のこと。

例 : 理学療法を続行するために発行されるオーダを取り消す前に、或いは地域薬局で処方せんをもらうオーダを取り消す前は、その患者は、PV1 によると入院患者だが、そのオーダ自体は外来患者に発行される場合。

HL7表　0482 -Order Type　オーダタイプ

Value	Description
I	Inpatient Order　入院患者オーダ
O	Outpatient Order　外来患者オーダ

【処方】本規約では、オーダの入外区分をセットする。

© JAHIS 2017

ORC-30　Enterer Authorization Mode　承認モード入力　(CNE)　 01644

成分:　<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは、 オーダを作成或いは変更する責任を持った実行者からの記録を承認する形態を示している。推奨値に関しては、 HL7 表 0483 承認モードを参照のこと。

HL7表 0483 -Authorization Mode 承認モード

Value	Description
EL	Electronic　電子的
EM	E-mail
FX	Fax
IP	In Person　本人自ら
MA	Mail
PA	Paper　紙
PH	Phone　電話
RE	Reflexive (Automated system)　再帰的 (自動化システム)
VC	Video-conference　 TV 会議
VO	Voice　口頭

© JAHIS 2017

7.9 PID - Patient Identification Segment　患者識別セグメント

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.1「7．関連セグメント詳細」を参照のこと。

7.10 PV1 - Patient Visit Segment　来院情報セグメント

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.1「7．関連セグメント詳細」を参照のこと。

7.11 QAK - Query Acknowledgment Segment　照会認知セグメント

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.1「7．関連セグメント詳細」を参照のこと。

© JAHIS 2017

7.12 QPD - Query Parameter Definition Segment 照会パラメータセグメント

QPD セグメントは照会のパラメータを定義する。

HL7属性表－QPD－Query Parameter Definition Segment 照会パラメータセグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME
1	250	CWE	R	R		0471	Message Query Name メッセージ照会名
2	32	ST	C	C			Query Tag 照会タグ
3-n	256	-	-	-			User Parameter ユーザ・パラメータ

QPD フィールド定義

QPD-1 Message Query Name メッセージ照会名 (CWE) 01375

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義 : このフィールドは照会名を含む。これらの具体的な値は、この機能を使用する各章に指定されている。照会名はコンフォーマンス・ステートメントと一対一であり、その識別子である。各施設でローカル定義した照会名は文字 Z から始める。照会名の定義は使用者定義表 0471-照会名を参照すること。

使用者定義表 0471 – Query Name 照会名

Value	Description	Comments
	提案値は定義されていない	

QPD-2 Query Tag 照会タグ (ST) 00696

定義 : このフィールドは、照会を識別するために照会するシステムによって値が設定され、応答と照会を突合するために使用する。照会時にこのフィールドに値が設定されていれば、応答するシステムは、照会承認セグメント(QAK)の最初のフィールドとして、この値をエコーバックすることが要求される。この値は照会に関係があるそれぞれのメッセージ(すなわちすべての継続メッセージ)で同じ値を設定するため、このフィールドは、MSA-2-メッセージ・コントロール ID と異なる。MSA-2-メッセージ・コントロール ID は、それが全体としての照会ではなく、それぞれの個々のメッセージに関係があるので、それぞれの継続メッセージによって異なる可能性がある。

[実装時の考慮 : ソケットの返答メッセージだけが、今送られた照会に対して唯一の応答になる場合には、実装でこのフィールドに値を入れる必要がない。逆に、多くの照会、応答、および他のメッセージを、同一ソケットを利用する「非同期通信」を利用する場合には、サーバがどの照会に答えているかをクライアントが判別できるように、このフィールドに値を入れなければならない。]

QPD-3 User Parameter ユーザ・パラメータ (多様) 01435

定義 : これ以降のフィールドは、クライアントがサーバに受け渡す値を保持する。各フィールドはコンフォーマンス・ステートメントで定義された 1 つのパラメータに相当し、名前、タイプ、オプション、および繰り返しがそれぞれ規定される。また、これらのパラメータは一般的には AND 結合され、利用者はコンフォーマンス・ステートメントの要求を厳密に検査する必要がある。各パラメーター・フィールドは、QIP および QSC タイプを含む、あらゆるデータタイプがコンフォーマンス・ステートメントよって指定される。また、パラメーター・フィールドはソート・コントロール(SRT)フィールド、あるいはセグメント・グループ(ID)フィールドを含んでもよい。QPD セグメントのパラメーター・フィールドは、コンフォーマンス・ステートメントのいくつかの指示よって形成される。

【処方】本規約では以降のパラメータの内容については特に規定しない。各施設にて取り決めるものとする。

© JAHIS 2017

7.13　RCP－Response Control Parameter Segment 応答コントロールパラメータセグメント

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.1「７．関連セグメント詳細」を参照のこと。

© JAHIS 2017

7.14 RXA - Pharmacy/Treatment Administration Segment　薬剤／処置投薬セグメント

ORC セグメントは実施者オーダ番号およびオーダコントロールコード RE でなければばならない。サイト特定のように、受信アプリケーションがそれらのデータのうちの何かを必要とする場合、RXO および関連する RXC および(または)RXE(および関連する RXC)が存在してもよい。RXA は投薬データを伝達する。

【処方】本規約では、処方実施情報を送信する場合に ORC セグメントの ORC-1 オーダコントロールコードに"NW"をセットする。

HL7属性表－RXA－Pharmacy/Treatment Administration Segment　薬剤／処置 投薬セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME
1	4	NM	R	R			Give Sub-ID Counter　与薬サブIDカウンター
2	4	NM	R	R			Administration Sub-ID Counter投薬サブIDカウンター
3	26	TS	R	R			Date/Time Start of Administration　投薬開始日時
4	26	TS	R	R			Date/Time End of Administration (If Applies)　投薬終了日時
5	250	CWE	R	R		0292	Administered Code　投薬コード
6	20	NM	R	R			Administered Amount　投薬量
7	250	CWE	C	C			Administered units　投薬単位
8	250	CWE	O	O			Administered Dosage Form　投薬剤形
9	250	CWE	O	O	Y		Administration Notes　投薬注記
10	250	XCN	O	O	Y		Administering Provider　投薬者
11	200	LA2	C	C			Administered-at Location　投薬場所
12	20	ST	C	C			Administered Per (Time Unit)　投薬あたりの時間
13	20	NM	O	O			Administered Strength　投薬力価
14	250	CWE	O	O			Administered Strength Units　投薬力価単位
15	20	ST	O	O	Y		Substance Lot Number　薬剤ロット番号
16	26	TS	O	O	Y		Substance Expiration Date　薬剤有効期限
17	250	CWE	O	O	Y	0227	Substance Manufacturer Name薬剤製造者名
18	250	CWE	O	O	Y		Substance/Treatment Refusal Reason　薬剤/治療拒否理由
19	250	CWE	O	O	Y		Indication　指示
20	2	ID	O	O		0322	Completion Status　完了状態
21	2	ID	O	O		0323	Action Code – RXA　アクションコード__RXA
22	26	TS	O	O			System Entry Date/Time　システム入力日時
23	5	NM	O	O			Administered Drug Strength Volume　投薬力価量
24	250	CWE	O	O			Administered Drug Strength Volume Units　投薬力価量単位
25	60	CWE	O	O			Administered Barcode Identifier投薬バーコード識別機能
26	1	ID	O	O		0480	Pharmacy Order Type　薬剤オーダタイプ

RXA　フィールド定義

RXA-1　Give Sub-ID Counter　与薬サブ ID カウンター　(NM)　00342

定義：その対応する RXG セグメントにこの RXA セグメントを対応づける場合このフィールドを使用する。2 つのアプリケーションが RXG と RXA セグメントを対応づけしていない場合、このフィールドの値はゼロ(0)である。

例：|0|

RXA-2　Administration Sub-ID Counter　投薬サブ ID カウンター　(NM)　00344

定義：その薬物治療/処置がはじめてこのオーダのために実施される時に、このフィールドは 1 で始まる。個々の薬物治療/処置の追加の実施により 1 ずつ増加する。

注:点滴の投与速度の変更を記録する場合のように、1 つを越える RXA セグメントを単一の RXG セグメントに 対応づけができる。

例：|1|

© JAHIS 2017

RXA-3　Date/Time Start of Administration　投薬開始日時　(TS)　00345

成分:　<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：オーダが連続的な投薬(点滴のように)に対してあり、速度が開始後のある時点に変更される場合、RAS メッセージの変更を記録するために出すことができる。そのような RAS メッセージについては、このフィールドは、RXA-12-投薬あたりの時間に記録された新しい値に速度が変更された時に記録する。

【処方】本規約では、薬剤単位の１回ごとの実施開始日時とする。服薬しなかった場合には、「""」をセットする。

例：|201607010830|

RXA-4　Date/Time End of Administration (If Applies)　投薬終了日時(当てはまる場合)　(TS)　00346

成分:　<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：null の場合、RXA-3-投薬開始日時の日時と仮定される。

【処方】本規約では、薬剤単位の１回ごとの実施終了日時とする。実施終了日時をセットできない場合や服薬しなかった場合には「""」をセットする。

例：　|201607010830|

RXA-5　Administered Code　投薬コード　(CWE)　00347

成分:　<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：このフィールドは、実施された薬剤/処置の識別子を含んでいる。それは機能的には OBR-4-汎用サービス ID と同等である。投薬された薬剤がワクチンである場合、CVX コードがこのフィールドをコード化するために使用されるかもしれない(HL7 表 0292-投薬されたワクチン-を参照)。

【処方】本規約では、標準マスタとしては、MEDIS-DC の標準医薬品マスタを使用することを推奨する。この場合、HOT9 コードや可能な場合には HOT11 コードを使用し、コーディングシステム名には「HOT」を格納する。

例：　|103835401^ムコダイン錠２５０ｍｇ^HOT|

RXA-6　Administered Amount　投薬量　(NM)　00348

定義：このフィールドは、投薬された量を含んでいる。

例：　|1|

RXA-7　Administered units　投薬単位　(CWE)　00349

成分:　<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：投薬された投与量コードが単位を意味しない場合それが必要とされるので、このフィールドは条件付きである。このフィールドは、投与された薬剤の実際の数量を反映した、単純な単位でなければならない。それは合成単位を含んでいない。

【処方】取りうる値は表 7.14.1 に示すとおりとする。値をセットできない場合は「""」をセットする。

表　7.14.1　単位略号（MERIT-9　処方オーダ　表4）

Value	Description
PART	分
TIME	回
KIND	種
BOX	箱
ROLL	巻
SHT	枚
HON	本
PARI	組
SET	セット
KO	個
TEAR	裂
DIR	方向
TROC	トローチ
AMP	アンプル
CAP	カプセル

© JAHIS 2017

Value	Description
TAB	錠
PILL	丸
PCK	包
BTL	瓶
BAG	袋
BTLB	瓶（袋）
TUBE	管
SYRG	シリンジ
DOSE	回分
TEST	テスト分
GCYL	ガラス筒
RODT	桿錠
UNT	単位
TTUN	万単位
FEET	フィート
DROP	滴
MG	ｍｇ
G	ｇ
KG	ｋｇ
CC	ｃｃ
ML	ｍＬ
L	Ｌ
MLV	ｍＬＶ
VIL	バイアル
CM	ｃｍ
CM2	ｃｍ^2
M	ｍ
MCCI	μＣｉ
MCI	ｍＣｉ
MCG	μｇ
BKR	管（瓶）
PIPE	筒
GBQ	ＧＢｑ
MGBQ	ＭＢｑ
KBQ	ＫＢｑ
KIT	キット
IUNT	国際単位
PAT	患者当り
ATM	気圧
CAN	缶
OPE	手術当り
VSL	容器
MLG	ｍＬ（ｇ）
BLST	ブリスター
SHET	シート
TUNT	千単位
TTIU	万国際単位
MEQ	ｍＥｑ
MCL	μＬ

第三成分(name of coding system)には、'MR9P'を設定する。

例：|AMP^アンプル^MR9P|

RXA-8　Administered Dosage Form　投薬剤形　(CWE)　00350

定義：剤形は、薬物治療/処置が調剤のために集められる形態を示す。例えば錠剤、カプセル、坐薬である。ある場合には、この情報がRXA-5-投薬コードにおける調剤/与薬コードによって意味される。投薬コードが剤形を指定しない場合、このフィールドを使用すること。

【処方】本規約では、取りうる値は下表に示すとおりとする。

表　7.14.2　剤形略号（MERIT-9）

Value	Description
TAB	錠剤

© JAHIS 2017

Value	Description
CAP	カプセル剤
PWD	散剤、ドライシロップ剤
SYR	シロップ剤
SUP	坐剤
LQD	液剤
OIT	軟膏、ゲル
CRM	クリーム
TPE	テープ、貼付剤
INJ	注射剤

第三成分(name of coding system)には、'MR9P'を設定する。

RXA-9　Administration Notes　投薬注記　(CWE)　00351

成分:　<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：このフィールドは、薬物治療/治療を実施する供給者からのメモを含んでいる。もしコード化されれば、ユーザに定義された表が要求される。フリーテキストの場合(例えば通常の点滴、混合薬または軟膏)について記述して)第1成分に null を置き、第2成分にテキストを置く。

【処方】本規約では、服用実施タイミング、投与実施におけるコメントをセットする。服用実施タイミングの取りうる値はJHSP表0006 服用実施タイミングを参照し、コーディングシステム名は"JHSP0006"を用いる。実施コメントのコーディングシステム名は特に規定しない。

JHSP表 0006　服用実施タイミング

Value	Description
YYYYMMDDNN	YYYY年MM月DD日のNN回目
NS	指定なし
U	不明

例:| 2016010501^2016年01月05日の01回目^JHSP0006~CMT010^手術のため投与時間変更^99ZAC |

RXA-10　Administering Provider　投薬者　(XCN)　00352

成分:　<ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <DEPRECATED-Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <DEPRECATED-Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Family Name (FN):　<Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

定義：このフィールドは、調合薬/処置を実施する人の供給者IDを含んでいる。

【処方】本規約では、処方実施の担当者とする。服薬、未服薬を確認した担当者を含む。

例：|20001^看護^花子^^^^^^^L^^^^^I|

RXA-11　Administered-at Location　投薬場所　(LA2)　00353

成分:　<Point of Care (IS)> ^ <Room (IS)> ^ <Bed (IS)> ^ <Facility (HD)> ^ <Location Status (IS)> ^ <Patient Location Type (IS)> ^ <Building (IS)> ^ <Floor (IS)> ^ <Street Address (ST)> ^ <Other Designation (ST)> ^ <City (ST)> ^ <State or Province (ST)> ^ <Zip or Postal Code (ST)> ^ <Country (ID)> ^ <Address Type (ID)> ^ <Other Geographic Designation　(ST)>

定義：第1成分は、薬または処置が実施された(適用可能な場合)入院患者か外来患者のロケーションを含む。デフォルト値(null)は患者の現在の患者登録場所である。施設特定の表。 最初の8つの成分は、PV1-3-患者の割り当てられた所在の最初の8つの成分と同じ形式を持っている。最終の8つの成分は、PV1-3-患者の割り当てられた所在の第9成分を置き換え、十分なアドレス明細を表す。

【処方】本規約では、処方実施の場所とする。

例：病棟の場合　|09A^021^4^^^N|

© JAHIS 2017

RXA-12　Administered Per (Time Unit)　時間当たりの投薬　(ST)　00354

定義：このフィールドは、RXA-6-投薬量および RXA-7-投薬単位の使用により計算されるようにこの薬物治療/処置が実施された速度を含んでいる。治療部門が、規定された速度(例えばある点滴)で連続的に投薬される場合それが必要とされるので、このフィールドは条件付きである。

RXA-13　Administered Strength　投薬力価　(NM)　01134

定義：RXA-5-投薬されたコードが力価を指定しない場合に使用する。これは RXA-14-投薬力価単位と結合して使用される力価の数値の部分である。

RXA-14　Administered Strength Units　投薬力価単位　(CWE)　01135

定義：RXA-5-投薬コードが力価を指定しない場合に使用する。これは力価の RXA-13-投薬力価と結合して使用される単位である。

注:これらのユニットは＂合成数量＂つまり、単位は、単位時間当たりの数量を表現するかもしれない。 例えば、マイクログラム毎時(μg/h)は受理可能な値である。 これらの合成単位は ISO+テーブルに含まれている。

RXA-15　Substance Lot Number　薬剤ロット番号　(ST)　01129

定義：このフィールドは、投薬された薬剤のロット番号を含んでいる。

注:ロット番号は、薬剤を保持するコンテナーに付けられたラベル上、およびコンテナーを収容するパッケージ上に印刷された番号である。 薬剤が例えばワクチンで、希釈剤が要求される場合、ロット番号は希釈剤のバイアルに表示されることがある。 しかしながら、希釈剤に関連したいかなるそのような確認者も興味のある確認者ではない。 だからといって薬剤ロット番号が希釈剤に報告されるべきであるわけではない。

RXA-16　Substance Expiration Date　薬剤有効期限　(TS)　01130

定義：このフィールドは、投薬された薬剤の有効期限を含んでいる。

注:ワクチン有効期限は必ずしも＂日＂成分を持っているとは限らない。 したがって、そのような日付は YYYYMM として送信されるかもしれない。

RXA-17　Substance Manufacturer Name　薬剤製造者名　(CWE)　01131

定義：このフィールドは、投薬された薬剤のメーカーを含む。

注:ワクチンについては、コード化システム MVX がこのフィールドをコード化するために使用されるかもしれない。薬剤のメーカーが、RXA-5-投薬コードの中で使用されるコードによって識別されなければ、このフィールドが使用されるかもしれない。

RXA-18　Substance/Treatment Refusal Reason　薬剤／処置　拒否理由　(CWE)　01136

成分:　<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：このフィールドは、患者が投薬/処置を拒絶した理由を含んでいる。 このフィールドでのいかなるエントリーも、患者が薬剤をとらなかったことを示す。

RXA-19　Indication　指示　(CWE)　01123

成分:　<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：このフィールドは、薬/処置が処方された条件または問題の識別子を含んでいる。　複合の表示が適切である場合、繰り返してもよい。

RXA-20　Completion Status　完了状態　(ID)　01223

定義：処置実施イベントのステータス。 有効な値は HL7 表 0322 - 完了状態を参照のこと。

【処方】本規約では、服薬の実施状況とする。

© JAHIS 2017

HL7表 0322 - Completion Status 完了状態

Value	Description	Comments
CP	完了した	
RE	拒絶された	
NA	実施しなかった	
PA	部分的に実施した	

例：|CP|

RXA-21 Action Code - RXA アクションコードーRXA (ID) 01224

定義：記録状態。 正しくない患者情報を識別して送信された、予防接種情報を修正する方法が必要な場合、このフィールドの情報は、ワクチンメッセージ中のRXAの使用を可能にする。有効値は HL7 表 0323 - アクションコード を参照のこと。

HL7 表 0323 - Action Code アクションコード

Value	Description	Comments
A	追加	
D	削除	
U	更新	

RXA-22 System Entry Date/Time システム入力日時 (TS) 01225

成分: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：投薬情報がシステムに入力された日時。 このフィールドは、一意な識別フィールドの提供により、治療投薬情報が不注意に複数回入力される場合に、事実を検知するために使用される。 通常の環境下では、このフィールドは人によって入力されるよりも、むしろコンピューターシステムによって自動的に提供される。

【処方】本規約では、実施情報がシステムに登録された日時とする。

例：|20160701165043|

RXA-23 Administered Drug Strength Volume 投薬力価量 (NM) 01696

定義：この数値フィールドは薬剤力価濃度の容積の測定を定義する。例えば、アセタミノフェン 120MG/5ML エリクシルの意味は 120MG の薬剤が 5ML の量の液剤に入っているということであり、RXA-13, RXA-14, RXA-23 及び RXA-24 において、次のようにコード化される。

RXA-24 Administered Drug Strength Volume Units 投薬力価量単位 (CWE) 01697

定義：このフィールドは、RXA-23 投薬力価量に関連した分量単位を示す。RXA-23 の例を参照のこと。

RXA-25 Administered Barcode Identifier 投薬バーコード機能 (CWE) 01698

定義：このフィールドには、与薬発生に対して薬剤システムが指定したバーコード番号が入っている。点滴静注オーダに対しては、多くの薬剤システムでオーダの袋/瓶を識別するバーコード番号を設けている。この番号は、事例を識別し、患者を特定し、薬の組み合わせ、日程を識別する機能をもつ。また単に薬の識別だけをする場合もある。バーコード番号の設置及び使用は応用次第で異なる。このフィールドの例は次のようなものである：バーコード番号は 9XXXXXXX000 のようなものである。数字の '9' は常にこの位置にあり、XXXXXXX は識別を可能にする 7 文字で、特別な識別数字を指定する場合も、患者の記録番号及びオーダ ID から取る場合もある。000 は 3 文字の点滴静注の瓶の番号である。このフィールドの最初の構成の最大の長さは 40 文字であり、現在用いられている、バーコードの最大限まで読み取れるようになっている。二番目の成分にはコード化される項目の記述が入っており、三番目の成分はバーコードのタイプを定義するものとなっている。

RXA-26 Pharmacy Order Type 薬剤オーダタイプ (ID) 01699

定義：薬剤オーダタイプフィールドは、オーダが辿るであろう処理の経路を決定するために用いられる薬剤オーダの一般的カテゴリーを定義するものである。有効な値については HL7 表 0480 薬剤オーダタイプを参照のこと。このフィールドはまた、処理そして/もしくは記

© JAHIS 2017

録のために、関連のあるオーダをグループ化するために用いられることもある。例えば、医薬品投薬記録 Medication Administration Records (MARs) はしばしば、大量の液剤、医薬品と少量の液剤とを個別の処理現場の必要に応じて異なるグループに分ける。 使用のルール：このフィールドはすべての薬剤処理において選択できるものである。このフィールドに何も入っていない時は、デフォルトの「M」が想定される。

© JAHIS 2017

7.15 RXE - Pharmacy/Treatment Encoded Order Segment 薬剤／処置コード化したオーダセグメント

RXE セグメントは、薬剤部門または治療部門アプリケーションのオーダのコード化について詳述する。 このセグメントには、RXE-16-再調剤残数、RXE-17-調剤済薬品数または投与数、RXE-18-調剤済薬品数または投与数の最新日時、RXE-19- 1 日当たりの総投与量などの、投薬固有のオーダ状態フィールドも含まれる。

HL7属性表－RXE－ Pharmacy/Treatment Encoded Order Segment 薬剤／処置コード化したオーダセグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	TBL #	ELEMENT NAME
1	200	TQ	B	B			Quantity/Timing 数量/タイミング
2*	250	CWE	R	R			Give Code 与薬コード
3*	20	NM	R	R			Give Amount – Minimum 与薬量-最小
4	20	NM	O	O			Give Amount – Maximum 与薬量-最大
5*	250	CWE	R	R			Give Units 与薬単位
6*	250	CWE	O	O			Give Dosage Form 与薬剤形
7*	250	CWE	O	O	Y		Provider's Administration Instructions 依頼者の投薬指示
8	200	LA1	B	O			Deliver-to Location 配布先
9	1	ID	O	O		0167	Substitution Status 代替品状態
10	20	NM	C	R			Dispense Amount 調剤量
11	250	CWE	C	R			Dispense Units 調剤単位
12	3	NM	O	O			Number of Refills 同一薬発行数
13*	250	XCN	C	O	Y		Ordering Provider's DEA Number オーダ発行者のDEA番号
14*	250	XCN	O	O	Y		Pharmacist/Treatment Supplier's Verifier ID 薬剤師/治療提供者の検証ID
15*	20	ST	C	O			Prescription Number 処方せん番号
16	20	NM	C	O			Number of Refills Remaining 薬剤残数
17	20	NM	C	O			Number of Refills/Doses Dispensed 調剤済薬品数または投与数
18	26	TS	C	O			D/T of Most Recent Refill or Dose Dispensed 調剤済薬品数または投与数の最新日時
19	10	CQ	C	O			Total Daily Dose 1日あたりの総投与量
20	1	ID	O	O			Needs Human Review 人によるレビューの必要性
21*	250	CWE	O	O	Y		Pharmacy/Treatment Supplier's Special Dispensing Instructions 薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示
22	20	ST	C	O			Give Per (Time Unit) 時間あたりの与薬
23*	6	ST	O	O			Give Rate Amount 与薬速度
24	250	CWE	O	O			Give Rate Units 与薬速度単位
25	20	NM	O	O			Give Strength 与薬力価
26	250	CWE	O	O			Give Strength Units 与薬力価単位
27*	250	CWE	O	O	Y		Give Indication 与薬指示
28	20	NM	O	O			Dispense Package Size 調剤パッケージサイズ
29	250	CWE	O	O			Dispense Package Size Unit 調剤パッケージサイズの単位
30	2	ID	O	O		0321	Dispense Package Method 調剤パッケージ方法
31	250	CWE	O	O	Y		Supplementary Code 補足コード
32	26	TS	O	O			Original Order Date/Time 当初のオーダ日／時間
33	5	NM	O	O			Give Drug Strength Volume 与薬力価量
34	250	CWE	O	O			Give Drug Strength Volume Units 与薬力価量単位
35	60	CWE	O	O		0477	Controlled Substance Schedule 薬物コントロールスケジュール
36	1	ID	O	O		0478	Formulary Status 処方集ステータス
37	60	CWE	O	O	Y		Pharmaceutical Substance Alternative 薬物代替え
38	250	CWE	O	O			Pharmacy of Most Recent Fill 最新の与薬の薬剤部
39	250	NM	O	O			Initial Dispense Amount 最初の調剤量
40	250	CWE	O	O			Dispensing Pharmacy 調剤薬剤部
41	250	XAD	O	O			Dispensing Pharmacy Address 調剤薬剤部の住所
42	80	PL	O	O			Deliver-to Patient Location 患者への配達場所
43	250	XAD	O	O			Deliver-to Address 配達先住所
44	1	ID	O	O		0480	Pharmacy Order Type 薬剤オーダタイプ

© JAHIS 2017

RXE フィールド定義

RXE-1 Quantity/Timing 数量/タイミング (TQ) 00221

成分: <Quantity (CQ)> ^ <Interval (RI)> ^ <Duration (ST)> ^ <Start Date/Time (TS)> ^ <End Date/Time (TS)> ^ <Priority (ST)> ^ <Condition (ST)> ^ <Text (TX)> ^ <Conjunction (ID)> ^ <Order Sequencing (OSD)> ^ <Occurrence Duration (CWE)> ^ <Total Occurrences (NM)>

副成分 for Quantity (CQ): <Quantity (NM)> & <Units (CWE)>

注意 副成分は別の副成分を含んでいる

副成分 for Interval (RI): <Repeat Pattern (IS)> & <Explicit Time Interval (ST)>

副成分 for Start Date/Time (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for End Date/Time (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Order Sequencing (OSD): <Sequence/Results Flag (ID)> & <Placer Order Number: Entity Identifier (ST)> & <Placer Order Number: Namespace ID (IS)> & <Filler Order Number: Entity Identifier (ST)> & <Filler Order Number: Namespace ID (IS)> & <Sequence Condition Value (ST)> & <Maximum Number of Repeats (NM)> & <Placer Order Number: Universal ID (ST)> & <Placer Order Number: Universal ID Type (ID)> & <Filler Order Number: Universal ID (ST)> & <Filler Order Number: Universal ID Type (ID)>

副成分 for Occurrence Duration (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義：“RXE－薬剤／処置コード化されたオーダセグメント”を参照して、 このフィールド定義を適宜修正して、薬剤／処置オーダに必要なオーダ相互間の依存性をカバーすること。このフィールドは、薬剤または処置のタイミングの完全にコード化されたバージョンを表現するために、薬剤または非薬剤処置供給者によって使用される。それは、オリジナルのオーダで要求された数量/タイミングである。

RXE-2 Give Code 与薬コード (CWE) 00317

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義： このフィールドは患者に与えることを依頼され、薬剤または処置提供者によってコード化された薬剤または処置を示す。RXE セグメントでは、この与薬コードは完全にコード化しなければならない。調剤フィールドは、患者に発行される単位、および量を定義する。(以下に示す RXE-10-調剤量および RXE-11-調剤単位を参照) これは、“与えられた”または投薬された 1 回ごとの投与量と必ずしも相関関係があるわけでなく、オーダで指定できる場合と指定できない場合がある。例えば、オーダの“与薬 ”部分において、アンピシリンの 250mg 投与というフィールド情報を伝達する一方、オーダの調剤部分では、この外来患者処方せんの指定薬剤と同等の錠剤 30 錠を発行する、という要求を伝達することができる。

【処方】コード表としては、MEDIS-DC の医薬品 HOT コードマスタを使用することを推奨する。この場合、コーディングシステム名には「HOT」を格納する。

RXE-3 Give Amount – Minimum 与薬量-最小 (NM) 00318

定義：このフィールドは薬剤または処置提供者によってコード化された依頼量を含んでいる。可変投与量オーダでは、これが最小依頼量である。固定投与量オーダでは、これがオーダの正確な量である。

注: このフィールドは数量/タイミングフィールドの第 1 成分の複製ではない。なぜなら、非薬剤部門/治療部門オーダでは、依頼量の倍数を指定するためにその成分を使用するからである。
言いかえれば、薬剤部門/治療部門オーダについては、数量/タイミングフィールドの数量成分が各サービス間隔で与えるべきものの数量を示す。したがって、RX オーダでは、その第 1 成分は常に 1 になる。したがって、オーダの実際の実行では、数量/タイミングフィールドの第 1 成分中の 1 の値は、常にこのフィールド(要求与薬量フィールド)で指定された量を 1 回の投薬することを意味する。

© JAHIS 2017

【処方】１回量が明確に表現されている場合は必ずセットする。外用用法時など明確に１回投与量が表現されていない場合は、「””」をセットする。不均等投与時、１回分投与量の最小値を示す。

例．　以下の場合は、１回量をセットしない。
ジフラール軟膏　０．０５％を１日４回左手に塗布

RXE-4　Give Amount – Maximum　与薬量-最大　(NM)　00319

定義：可変投与量オーダでは、これが最大の依頼量である。固定投与量では、このフィールドは使用されない。
【処方】不均等投与時、１回分投与量の最大値を示す。

RXE-5　Give Units　与薬単位　(CWE)　00320

成分:　<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>
定義：このフィールドは、薬剤または処置(例えば呼吸治療)アプリケーションによってコード化される与薬量のための単位を含んでいる。

注: これらの単位は "複合量 "でありうる。つまり、単位は、"当たり"という単語を含む場合がある。例えば、キログラム当たりのマイクログラム(μg/kg)は許容される値であり、それは体重1kg 当たりのマイクログラムを意味する。

複合単位を含んでいる標準単位の表は必要である。そのような表が承認されるまで、それぞれの施設で使用者定義表が必要になる。

【処方】取りうる値は表 7.15.1 に示すとおりとする。値がセットできない場合は「””」をセットする。

表7.15.1　単位略号（MERIT-9　処方オーダ　表4）

Value	Description
PART	分
TIME	回
KIND	種
BOX	箱
ROLL	巻
SHT	枚
HON	本
PARI	組
SET	セット
KO	個
TEAR	裂
DIR	方向
TROC	トローチ
AMP	アンプル
CAP	カプセル
TAB	錠
PILL	丸
PCK	包
BTL	瓶
BAG	袋
BTLB	瓶（袋）
TUBE	管
SYRG	シリンジ
DOSE	回分
TEST	テスト分
GCYL	ガラス筒
RODT	桿錠
UNT	単位
TTUN	万単位
FEET	フィート
DROP	滴

© JAHIS 2017

Value	Description
MG	ｍｇ
G	ｇ
KG	ｋｇ
CC	ｃｃ
ML	ｍＬ
L	Ｌ
MLV	ｍＬＶ
VIL	バイアル
CM	ｃｍ
CM2	ｃｍ^{2}
M	ｍ
MCCI	μＣｉ
MCI	ｍＣｉ
MCG	μｇ
BKR	管（瓶）
PIPE	筒
GBQ	ＧＢｑ
MGBQ	ＭＢｑ
KBQ	ＫＢｑ
KIT	キット
IUNT	国際単位
PAT	患者当り
ATM	気圧
CAN	缶
OPE	手術当り
VSL	容器
MLG	ｍＬ（ｇ）
BLST	ブリスター
SHET	シート
TUNT	千単位
TTIU	万国際単位
MEQ	ｍＥｑ
MCL	μＬ

第 3 成分（name of coding system）には、’MR9P’を設定する。

例.　TAB^錠^MR9P と表現

RXE-6　Give Dosage Form 与薬剤形　(CWE)　00321

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義： 剤形は、投薬または処置が調剤のために集められる形態を示す。例えば、錠剤、カプセル、坐薬である。ある場合には、この情報が RXE-2-与薬コードの中の与薬コードによって意味される。与薬コードが剤形を指定しない場合、RXE-6-与薬剤形を使用する。

【処方】取りうる値は下表に示すとおりとする。

表7.15.2　剤形略号（MERIT-9　処方オーダ　表3）

Value	Description
TAB	錠剤
CAP	カプセル剤
PWD	散剤、ドライシロップ剤
SYR	シロップ剤
SUP	坐剤
LQD	液剤
OIT	軟膏、ゲル
CRM	クリーム
TPE	テープ、貼付剤
INJ	注射剤

第 3 成分（name of coding system）には、’MR9P’　を設定する。

© JAHIS 2017

RXE-7　Provider's Administration Instructions 依頼者の投薬指示　(CWE)　00298

成分:　<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義 : このフィールドは、患者あるいは投薬または治療の供給者へのオーダ発行者の指示を含んでいる。もしコード化されれば、ユーザに定義された表は使用されていなければならない。フリーテキストの場合(例えば、通常の点滴、混合、軟膏について記述する)、第 2 成分にテキストを置く。例えば、

```
|^this is a free text administration instruction|
```

【処方】本規約では、処方オーダに付帯する詳細な指示(「依頼者の処方指示」、「調剤特別指示」、「不均等投与」、「医師の指示用量区分」、「服用開始タイミング」)をセットするために使用する。詳細な指示が複数ある場合、反復セパレータを使用して複数記述することができる。

１）依頼者の処方指示

取りうる値は JHSP 表 0001 依頼者の処方指示を参照し、コーディングシステム名は"JHSP0001"を用いる。Ver3.0C から、本指示がセットされるフィールドを RXE-21 から RXE-7 へ変更している。

JHSP表 0001　依頼者の処方指示

Value	Description
1	緊急
2	保管
3	薬剤情報提供文書発行
4	健康手帳に記載し、かつ薬剤情報提供文書発行

２）調剤特別指示

取りうる値は JHSP 表 0002 調剤特別指示を参照し、コーディングシステム名は"JHSP0002"を用いる。Ver3.0C から、本指示がセットされるフィールドを RXE-21 から RXE-7 へ変更している。

JHSP表 0002　調剤特別指示

Value	Description
A	別包指示
B	一包化指示
C	混合指示
D	粉砕指示

３）不均等投与

JAMI 標準用法規格の 8 桁補足用法コードを用いて表現し、コーディングシステム名は"JAMISDP01"を用いる。１つの補足用法コードで 1 回分のタイミング服用量を指定するため、必要な数だけ繰り返しコードを使用する。Ver3.0C からは「依頼者の投薬指示」ではなく本表現を用いることを推奨する。

例 1. 不均等投与　朝：１、昼：１、夜：１、就寝前：２　の場合

V11NNNNN^1^JAMISDP01~V21NNNNN^1^JAMISDP01~
V31NNNNN^1^JAMISDP01~V42NNNNN^2^JAMISDP01 と表現

例 2. 不均等投与　朝：２、昼：２．５、夕：０．５　の場合

V12NNNNN^2.0^JAMISDP01~V22.5NNN^2.5^JAMISDP01~V30.5NNN^0.5^JAMISDP01 と表現

補足用法コードを用いた不均等投与の表現では服用量のみ指定する。不均等投与の服用単位及び服用タイミングはそれぞれ RXE-5 及び TQ1-3 を参照する。

以下の表 7.15.3　依頼者の投薬指示（MERIT-9　処方オーダ）は後方互換性確保のために維持されており、JAMI 標準用法規格の 8 桁補足用法コードを用いて不均等投与を表すことを推奨する。

© JAHIS 2017

表7.15.3　依頼者の投薬指示（MERIT-9　処方オーダ）

ID	テキスト	内容
DVD	a-b-c-d	a,b,c,dは不均等投薬時の投与量をあらわす 投薬毎の投与量をセパレータで区切って指示する 規約上１日の投与回数は制限しない

例. 不均等投与　朝：１、昼：１、夜：１、就寝前：２　の場合
DVD^1-1-1-2^MR9P と表現

DVD を使用する場合､投与量をセットする a,b,c,d が各々どのタイミングを意味するのか特に規定が無いため、通信を行うシステム間で規定する必要がある。また、コーディングシステム名は”MR9P”を用いる。

５）服用開始タイミング

患者が指示された薬剤を、1 日用法のどのタイミングから飲み始めるかを表すために使用する。取りうる値は JHSP 表 0005　1 日の中での服用開始タイミングを参照し、コーディングシステム名は”JHSP0005”を用いる。
飲み始めが特に指定されない場合、NS（指定なし)をセットすることとし、明示的な飲み始め指示と区別しなければならない。頓用指示など服用開始タイミングを指定することができない場合には必ずしも設定する必要はない。

JHSP表0005　1日の中での服用開始タイミング

Value	Description
NN	NN 回目から服用
NS	指定なし
U	不明

例 1.　1 日 3 回朝昼夕食後の用法において昼食後から服用を開始する場合
02^02回目から服用^JHSP0005

例 2.　服用開始タイミングが指定されない場合
NS^指定なし^JHSP0005

RXE-8　Deliver-to Location 配布先　(CM)　00299

成分: <Point of Care (IS)> ^ <Room (IS)> ^ <Bed (IS)> ^ <Facility (HD)> ^ <Location Status (IS)> ^ <Patient Location Type (IS)> ^ <Building (IS)> ^ <Floor (IS)> ^ <Address (AD)>
副成分 for Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>
副成分 for Address (AD): <Street Address (ST)> & <Other Designation (ST)> & <City (ST)> & <State or Province (ST)> & <Zip or Postal Code (ST)> & <Country (ID)> & <Address Type (ID)> & <Other Geographic Designation (ST)>
定義：このフィールドは後方互換性確保のために維持されている。読者は RXE-40, RXE-41, RXE-42 及び RXE-43. を参照すること。第 1 成分は、薬剤または処置供給者が薬または治療装置(適用可能な場合に)を配布予定である、入院患者か外来患者のロケーションを含む。

デフォルト値(null)は現在の患者登録場所である。 施設固有の表。 最初の 8 つの成分は、PV1-3-患者の割り当てられた所在の最初の 8 つの成分と同じ形式を持っている。 最終の 8 つの成分は、PV1-3-患者の割り当てられた所在の第 9 成分を置換し、十分なアドレス仕様を表わす。

RXE-9　Substitution Status 代替品状態　(ID)　00322

定義：有効な値は HL7 表 0167 -代替品状態を参照のこと。代替品が作られており、オリジナルの要求与薬コード(RXO-1-要求与薬コード)の記録が必要な場合、オプションの RXO セグメントを RDE メッセージに含むことができる。

© JAHIS 2017

HL7表 0167 -Substitution Status 代替品状態

Value	Description	Comment
N	No substitute was dispensed. This is equivalent to the default (null) value. 代替薬剤を調剤しなかった。これはデフォルト値(null)と同等である。	
G	A generic substitution was dispensed. 一般の代替薬剤を調剤した。	
T	A therapeutic substitution was dispensed. 治療用の代替薬剤を調剤した。	
0	No product selection indicated. 製品選択は示されなかった。	
1	Substitution not allowed by prescriber. 処方担当者が代替品を許可しない。	
2	Substitution allowed - patient requested product dispensed. 許可された代替品－患者が要求した製品を調剤した。	
3	Substitution allowed - pharmacist selected product dispensed. 許可された代替品－薬剤師が選択した製品を調剤した。	
4	Substitution allowed - generic drug not in stock. 許可された代替品－在庫にない一般薬品。	
5	Substitution allowed - brand drug dispensed as a generic. 許可された代替品－一般として調剤された商標薬。	
7	Substitution not allowed - brand drug mandated by law. 許可されない代替品－法律によって命じられた商標薬。	
8	Substitution allowed - generic drug not available in marketplace. 許可された代替品－市販されていない一般薬品。	

RXE-10　Dispense Amount 調剤量　(NM)　00323

定義：このフィールドは、薬剤または処置供給者によってコード化された調剤量を含んでいる。
【処方】投与量の総量を示す。このフィールドは、処方指示として必要なため必須とする。

RXE-11　Dispense Units 調剤単位　(CWE)　00324

成分:　<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは、薬剤または処置供給者によってコード化された、調剤量のための単位を含んでいる。単位が実際の調剤コードによって意味されない場合、このフィールドが要求される。これは、薬剤が調剤された実際の量を反映する、単純な単位でなければならない。それは複合単位を含んでいない。

【処方】取りうる値は表 7.15.1 単位略号に示すとおりとする。このフィールドは、処方指示として必要なため必須とする。

RXE-12　Number of Refills 同一薬発行数　(NM)　00304

定義：このフィールドは、オリジナルの同一薬発行回数の合計を含んでいる。外来患者のみ。

RXE-13　Ordering Provider's DEA Number オーダ発行者の DEA 番号　(XCN)　00305

成分　<ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <DEPRECATED-Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <DEPRECATED-Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分　for Family Name (FN):　<Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分　for Assigning Authority (HD):　<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分　for Assigning Facility (HD):　<Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分　for Name Context (CWE):　<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding

© JAHIS 2017

System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for DEPRECATED-Name Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

注意 副成分は別の副成分を含んでいる

副成分 for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義 : このフィールドは、規制薬物(例えば麻薬)を要求した時に必要とされるので、条件付きのものとして定義される。

【処方】麻薬施用者の免許番号を示す。

RXE-14 Pharmacist/Treatment Supplier's Verifier ID 薬剤師/治療提供者の検証 ID(XCN) 00306

成分: <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <DEPRECATED-Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <DEPRECATED-Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Family Name (FN): <Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分 for Assigning Authority (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Name Context (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for DEPRECATED-Name Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

注意 副成分は別の副成分を含んでいる

副成分 for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義 : このフィールドは、薬剤師/治療供給者の検証 ID を含んでいる。もし薬剤または処置アプリケーション、あるいは施設の要求(またはオーダのサブグループ)によって要求があれば使用する。

RXE-15 Prescription Number 処方せん番号 (ST) 00325

定義 : このフィールドは薬剤または処置アプリケーションによって割り当てられた処方せん番号を含んでいる。薬剤／処置実施者オーダ番号と一意性において同等である。いくつかの施設では、これが

© JAHIS 2017

薬剤または処置システム(内部)の連続形式である。 他の施設では、これが外部形式である。薬剤／処置メッセージの中で使用された時、これは RXE の中の要求されたフィールドである。
【処方】本規約では、処方せん番号をセットする。

RXE-16　Number of Refills Remaining 薬剤残数　(NM)　00326

定義 : 同一薬発行数の残数である。　処方せんによって外来患者に調剤される場合それが必要とされるので、このフィールドは条件付きである。それは入院患者処置オーダには適切ではない。

RXE-17　Number of Refills/Doses Dispensed 調剤済薬品数または投与数　(NM)00327

定義 : 同一薬発行数の残数である。処方せんによって外来患者に調剤される場合それが必要とされるので、このフィールドは条件付きである。それは入院患者治療部門オーダに適切ではない。

RXE-18　D/T of Most Recent Refill or Dose Dispensed 調剤済薬品数または投与数の最新日時 (TS)　00328

成分:　<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>
定義 : 補充または調剤した、最近の日時。

RXE-19　Total Daily Dose 1 日あたりの総投与量　(CQ)　00329

成分:　<Quantity (NM)> ^ <Units (CWE)>
副成分 for Units (CWE):　<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>
定義 : このフィールドは、実際の調剤単位で表現されるような、個々の調合薬のための 1 日当たりの投与量合計を含んでいる。
【処方】調剤単位と 1 日量単位が異なる場合は、必ず第 2 成分をセットする。本成分の HL7 属性定義表上の最大長は 10 文字であるが、MERIT-9 等を用いる際は 10 文字を超える値がセットされうることを考慮する必要がある。その場合、CQ 型の最大長である 500 桁まで入りうるものとして処理できなければならない。

RXE-20　Needs Human Review 人によるレビューの必要性　(ID)　00307

定義 : このフィールドは HL7 表 0136（Yes/No 指標）を使用する。値は、このフィールドにおいて次の意味を持っている:

Y　Yes－警告が存在することを示す。 コード化されたオーダを受け取るアプリケーションは、RXE-21-薬剤部門／処置部門による特別な調剤指示のテキストに注意を払うように、投薬または処置をする人に警告する必要がある。
N　No－警告が存在しないことを示す。これはデフォルト値（null）と同等である。

RXE-21　Pharmacy/Treatment Supplier's Special Dispensing Instructions 薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示　(CWE)　00330

成分:　<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>
定義 : このフィールドは、薬剤または処置提供者によって生成された、調剤／投薬オーダの供給者への特別指示を含む。
【処方】本規約では処方区分を表現するために使用する。処方区分は、表 7.15.4 処方区分(MERIT-9 処方オーダ　表 7)と JHSP 表 0007　処方区分を参照する。複数の処方区分がある場合、反復セパレータを使用して、複数記述することができる。

表7.15.4　処方区分（MERIT-9　処方オーダ　表7）

Value	Description
OHP	外来処方
OHI	院内処方
OHO	院外処方

© JAHIS 2017

Value	Description
IHP	入院処方
DCG	退院処方
ORD	定期処方
XTR	臨時処方

第 3 成分（name of coding system）には、’MR9P’を設定する。

JHSP表 0007　処方区分

Value	Description
BDP	持参薬処方

例 1. 外来院外処方の場合

`OHP^外来処方^MR9P~OHO^院外処方^MR9P` と表現

例 2. 入院持参薬処方の場合

`IHP^入院処方^MR9P~BDP^持参薬処方^JHSP0007` と表現

RXE-22　Give Per (Time Unit) 時間あたりの与薬　(ST)　00331

定義 : このフィールドは、製剤が投薬されることになっている速度を計算するために使用する、時間単位を含んでいる。

フォーマット:

S<整数>	=	<整数> 秒
M<整数>	=	<整数> 分
H<整数>	=	<整数> 時間
D<整数>	=	<整数> 日
W<整数>	=	<整数> 週
L<整数>	=	<整数> 月
T<整数>	=	決められた時間間隔と量での「投薬量」＜整数＞の総合計。単位は「数量」フィールドと同じであると仮定する。
INDEF	=	無期限に行う－さらにデフォルト

これは、“X”の仕様を除いて、数量／タイミングフィールドの「継続時間」成分で指定したフォーマットと同じである。

このフィールドは、オーダされた薬剤が規定された速度(例えばある点滴)で連続的に投薬されることになっている場合に必要とされるので、条件付きであると定義される。 例えば、“与薬量／単位”が 300ml、そして与薬あたりの時間単位が H1(1 時間と等価)だった場合、速度は 300ml/時間である。

RXE-23　Give Rate Amount 与薬速度　(ST)　00332

定義 : このフィールドは、薬剤が投与されるべき速度を含んでいる。

RXE-24　Give Rate Units 与薬速度単位　(CWE)　00333

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義 : このフィールドは、RXE-23-与薬速度のための単位を含んでいる。　　合成かもしれない。

RXE-23-与薬速度および RXE-24-与薬速度単位は、投薬の実際の速度を定義する。 したがって、RXE-23-与薬速度=100、および RXE-24-与薬速度単位=ml/hr の場合、投薬の要求速度は 100ml/時間である。

© JAHIS 2017

与薬速度単位はISO単位を参照する。ISO単位を使用した場合のコーディングシステム名は、ISO+を用いる。

例：|mL／hr ^ミリリッター／時間^ISO+|

RXE-25　Give Strength 与薬力価　(NM)　01126

定義：RXE-2-与薬コードが力価を指定しない時に使用する。 これはRXE-26-与薬力価単位と結合して使用される力価の数値部分である。

力価および力価単位フィールドが、さまざまなRX__セグメントに含まれた数量および数量単位フィールドに加えて必要になる。その理由を説明する。内科医は、2つの方法でアンピシリンのような薬の処方を書くことができる。1つの方法は次のとおりである。「アンピシリン250mgの錠剤、2粒を1日４回。」この場合投与量は2、投与単位は錠剤、力価は250、力価単位はミリグラムである。しかしながら、依頼者は「アンピシリン500mg、１日４回」と処方せんを書くことがある。この場合投与量は500で、投与単位はミリグラムである。力価はRXEセグメント中で報告されない。なぜならそれが指定されないからである。薬は、250mg　2カプセルまたは500mg　1カプセル投与することがある。しかし、薬剤師は特定の錠剤サイズを決めて、処方した錠剤サイズを250または500としてRXEセグメントに力価を記録する。

力価、単位、投薬経路、および製造会社を単一コードで指定するコード化方式もある。NDCコードは通常、医薬品だけでなく力価、単位、剤型も意味する。例えば0047-0402-30 ˆ Ampicillin　250 MG TABS ˆ NDC。したがって、この情報はすべてRXE-1－要求投薬コードの中で、そして他の薬剤／治療セグメントの中の類似のCWEフィールドの中で完全に指定され得る。この場合、この情報を指定するために力価および力価単位フィールドを使用する必要はない。

【処方】製剤単位あたりの力価を示す。

RXE-26　Give Strength Units 与薬力価単位　(CWE)　01127

成分:　<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：RXE-2-与薬コードが力価を指定しない時に使用する。これは力価の単位で、RXE-25-与薬力価と結合して使用される。

注:　　これらのユニットは " 合成数量 "でありうる。つまり、単位は、時間の1単位当たり数量を表現する。 例えば、マイクログラム毎時(ug/h)は受理可能な値である。これらの合成単位はISO+テーブルに含まれている。

RXE-27　Give Indication 与薬指示　(CWE)　01128

成分:　<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは、薬/治療が処方された条件か問題を示す。 複合指示が適切であれば、繰り返してもよい。

【処方】内服、外用、頓用という用法種別をセットする。取りうる値は、下表に示すとおりとする。

記載例：｜21^内服^JHSP0003｜

JHSP表 0003　用法種別

Value	Description
21	内服
22	頓用
23	外用
24	自己注射

第3成分（name of coding system）には、’JHSP0003’を設定する。

© JAHIS 2017

RXE-28　Dispense Package Size 調剤パッケージサイズ　(NM)　01220

定義：このフィールドは、調剤されるパッケージのサイズを含んでいる。 単位は RXE-29-調剤パッケージサイズ単位で送信される。

RXE-29　Dispense Package Size Unit 調剤パッケージサイズの単位　(CWE)　01221

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは、RXE-28-調剤パッケージサイズが称される単位を含んでいる。

RXE-30　Dispense Package Method 調剤パッケージ方法　(ID)　01222

定義：このフィールドは、治療を行う方法を含んでいる。有効な値は、HL7 表 0321 - 調剤方法　を参照。

HL7表 0321 -Dispense Method 調剤方法

Value	Description	Comment
TR	Traditional　従来	
UD	Unit Dose　ユニットドーズ	
F	Floor Stock　フロアストック	
AD	Automatic Dispensing　自動調剤	

RXE-31　Supplementary Code 補足コード　(CWE)　01476

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは、薬剤に関係しているすべてのコードの識別を提供する。共通のコードは次のものを含んでいる：Generic Product Identifier(GPI)、Generic Code Number_Sequence Number(GCN_SEQNO)、National Drug Code(NDC)。

RXE-32　Original Order Date/Time 当初のオーダ日／時間　(TS)　01673

Components: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドには補充（refill）認可が要請された時の、オリジナルオーダ（ORC-9）の日時が含まれている。これはオリジナルオーダ処理の ORC－9 の中に提示されている。

RXE-33　Give Drug Strength Volume 与薬力価量　(NM)　01674

定義：この数量フィールドは量の測定を定義するもので、その中には薬力価濃度が含まれている。例えば、アセタミノフェンの 120MG/5ML エリクシルの意味は、この薬の 120MG は 5ML の薬量の溶液に入っており、 RXE-25, RXE-26, RXE-33 及び RXE-34 にコードで次のように表される。

```
RXE|||||||||||||||||||||||||120|mg^^ISO|||||||5|ml^^ISO …<cr>
```

RXE-34　Give Drug Strength Volume Units 与薬力価量単位　(CWE)　01675

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは RXE－33 与薬力価量に関連した量単位を提示する。RXE－33 の中の例を参照すること。

RXE-35　Controlled Substance Schedule　薬物コントロールスケジュール　(CWE)　01676

Components: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

© JAHIS 2017

定義 : このフィールドは法律で使用量が規制されている薬物もしくは他の物質の分類を特定するものである。米国においては、このような法律としては連邦薬物規制法 the federal Controlled Substance Act (CSA) もしくは州の法律である State Uniform Controlled Substance がある。米国での合法の使用量については、使用者が定義する表 0477 - 薬物コントロールの日程を参照のこと。他の各国も独自にこの表のような日程を作るべきである。
行政管轄体によっては、特定の分類の薬物のコントロールリストを追加する場合もあり、日程も追加されるので、使用者定義表 0477 薬物コントロールの日程は使用者が定義するものである。

使用者定義表 0477 – Controlled Substance Schedule* 薬物コントロールの日程

Value	Description	Comment
I	Schedule I スケジュール I	濫用となる危険性が高い薬物、および米国では現在医薬品として受け入れられていないもの、また医療監督の下においても使用の安全性が認められていない薬物を含む。
II	Schedule II スケジュール II	米国で現在医薬品として使用が認められているが、濫用の危険性が高く、心理的、身体的に依存性が極めて高い薬物（薬品）を含む。
III	Schedule III スケジュール III	スケジュール I と II にリストされている薬物よりも濫用の危険性が低いもの。CS III の薬品は現在米国で医薬品として使用が認められている。
IV	Schedule IV スケジュール IV	スケジュール III にリストされている薬物よりも濫用の危険性が低いもの。CS IV の薬品は現在米国で医薬品として使用が認められている。
V	Schedule V スケジュール V	濫用の危険性が低く、リスト IV のものと比較して心理的、身体的な依存性が低い。米国で医薬品として使用が認められている。
VI	Schedule VI スケジュール VI	州により規定される。

*Pharmacy Law Digest July 1988

RXE-36 Formulary Status 処方集ステータス (ID) 01677

定義 : このフィールドは薬剤がその地域の処方規定に準拠しているかどうかを特定するものである。有効な値は HL7 表 0478 - 規定のステータスを参照のこと。

HL7表 0478 –Formulary Status 規定のステータス

Value	Description
Y	Pharmaceutical substance is in the formulary 薬剤が処方集の中に入っている。
N	Pharmaceutical substance is NOT in the formulary 薬剤が処方集の中に入っていない。
R	Pharmaceutical substance is in the formulary, but restrictions apply 薬剤は処方集の中に入っているが、規制が適用される。
G	Pharmaceutical substance is in the formulary, but guidelines apply 薬剤は処方集の中に入っているが、ガイドラインが適用される。

RXE-37 Pharmaceutical Substance Alternative 薬物代替え (CWE) 01678

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

© JAHIS 2017

定義 : このフィールドは、処方された薬品の代替えとして処方集に載っている薬品を特定するものである。特定の医薬品が処方集の中に含まれていない場合、このフィールドは処方集に載っている治療的代替薬品を提示する。

RXE-38 Pharmacy of Most Recent Fill 最新の与薬の薬剤部 (CWE) 01679

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義 : このフィールドは最も新しく薬剤を処方した薬剤部を特定するものである。

RXE-39 Initial Dispense Amount 最初の調剤量 (NM) 01680

定義 : このフィールドは、最初の処方による調剤の量が補充薬（Refill）に用いられた処方の量と異なる時に、最初の調剤量を特定するものである。処方者が新しい医薬品を処方した際、患者がその投与量に耐えられるかどうかを見極めたいと思うようなケースがその例である。処方者が当初の処方量を 30 錠とし、もし患者が耐えられるなら補充の際には 100 錠にすると明示するような場合である。このような場合 RXE-39 には 30 と記され、RXE-10 には 100 という数価が提示される。もしこのフィールドに何も記されていない場合は、当初の調剤量は RXE-10 と同じになる。

単位は RXE-11 に記されている通りである。

RXE-40 Dispensing Pharmacy 調剤薬剤部 (CWE) 01681

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義 : このフィールドは処方せんを調剤する薬剤部を特定するものである。

RXE-41 Dispensing Pharmacy Address 調剤薬剤部の住所 (XAD) 01682

成分: <Street Address (SAD)> ^ <Other Designation (ST)> ^ <City (ST)> ^ <State or Province (ST)> ^ <Zip or Postal Code (ST)> ^ <Country (ID)> ^ <Address Type (ID)> ^ <Other Geographic Designation (ST)> ^ <County/Parish Code (IS)> ^ <Census Tract (IS)> ^ <Address Representation Code (ID)> ^ <DEPRECATED-Address Validity Range (DR)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)>

副成分 for Street Address (SAD): <Street or Mailing Address (ST)> & <Street Name (ST)> & <Dwelling Number (ST)>

副成分 for DEPRECATED-Address Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

注意 副成分は別の副成分を含んでいる

副成分 for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義 : このフィールドは調剤薬剤部の住所を特定するものである。

RXE-42 Deliver-to Patient Location 患者への配達場所 (PL) 01683

成分: <Point of Care (IS)> ^ <Room (IS)> ^ <Bed (IS)> ^ <Facility (HD)> ^ <Location Status (IS)> ^ <Person Location Type (IS)> ^ <Building (IS)> ^ <Floor (IS)> ^ <Location Description (ST)> ^ <Comprehensive Location Identifier (EI)> ^ <Assigning Authority for Location (HD)>

副成分 for Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Comprehensive Location Identifier (EI): <Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Authority for Location (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

定義 : このフィールドでは薬剤が患者に引き渡される場所が特定される。

RXE-43 Deliver-to Address 配達先住所 (XAD) 01684

成分: <Street Address (SAD)> ^ <Other Designation (ST)> ^ <City (ST)> ^ <State or Province (ST)> ^ <Zip or Postal Code (ST)> ^ <Country (ID)> ^ <Address Type (ID)> ^ <Other Geographic Designation (ST)> ^ <County/Parish Code (IS)> ^ <Census Tract (IS)> ^ <Address Representation Code (ID)> ^ <DEPRECATED-Address Validity Range (DR)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)>

© JAHIS 2017

副成分 for Street Address (SAD): <Street or Mailing Address (ST)> & <Street Name (ST)> & <Dwelling Number (ST)>
副成分 for DEPRECATED-Address Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>
注意 副成分は別の副成分を含んでいる
副成分 for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>
副成分for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>
定義：このフィールドは処方薬剤が、郵送もしくは手渡しされるべき住所を特定するものである。

RXE-44 Pharmacy Order Type 薬剤オーダタイプ (ID) 01685

定義：薬剤オーダタイプは、オーダが処理される経路を決定するために用いられる薬剤オーダの一般的カテゴリーを定義するものである。 有効な価については HL7 表 0480 -薬剤オーダタイプを参照のこと。

このフィールドは関連するオーダの処理そして/もしくは記録のために、グループ化する目的にも用いられて差し支えないものである。例えば、医療管理記録 Medication Administration Records (MARs) はしばしば大量の液剤、医薬品を、現場の手順に応じて少量の液剤とは異なる区分をする。

使用のルール：このフィールドはすべての薬剤処置が選択するものである。何も入っていない場合には、デフォルトの「M」が用いられる。

HL7表 0480 – Pharmacy Order Types 薬剤オーダタイプ

Value	Description	Comment
M	Medication 投薬	デフォルト値。錠剤、カプセル、粉末、その他の注射以外の／注入以外の製品を含むがこれらには限られない
S	IV Large Volume Solutions IV 大量溶液	TPN, 混合薬剤、溶液、ドリップなどを含むがこれらに限られない。
O	Other solution as medication orders 医療のオーダに応じて他の溶液	ピギーバック及び注射（入）器を含むがこれらに限られない。

© JAHIS 2017

7.16 RXR - Pharmacy/Treatment Route Segment 投薬経路セグメント

薬剤／治療経路セグメントには、処方される経路、部位、投薬装置、投薬方法の任意な組み合わせが含まれる。どの経路を選ぶかは、薬剤／治療スタッフ及び看護スタッフのいずれか、またはその両方に任されるが、その判断基準は、各スタッフの専門的判断か、医師の投薬指示に基づく。

HL7属性表－RXR－ Pharmacy/treatment route segment 投薬経路セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME
1	250	CWE	R	R		0162	Route 経路
2	250	CWE	O	O		0550	Administration Site 投薬部位
3	250	CWE	O	O		0164	Administration Device 投薬装置
4	250	CWE	O	O		0165	Administration Method 投薬方法
5	250	CWE	O	O			Routing Instruction 経路指示
6	250	CWE	O	O		0495	Administration Site Modifier 投薬部位モディファイアー

RXR フィールド定義

RXR-1 Route 経路（CWE） 00309

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは投薬の経路である。

NDC から派生したコードのように、最新の“経路コード”は、部位を既に含んでいる。 そのような場合、全コードは、CWE データタイプの“ローカル定義コード”として、このフィールドに含むことができる 。 有効な値は、使用者定義表 0162－投薬経路を参照のこと。

【処方】本規約では、投与経路をセットする。

使用者定義表 0162 -Route of Administration 投薬経路

Value	Description	Value	Description
AP	Apply Externally 外用	MM	Mucous Membrane 粘膜
B	Buccal 頬	NS	Nasal 鼻側
DT	Dental 歯	NG	Nasogastric 経口径内腔
EP	Epidural 硬膜外	NP	Nasal Prongs* 鼻のプロング*
ET	Endotrachial Tube* 気管内チューブ*	NT	Nasotrachial Tube 鼻気管内チューブ
GTT	Gastrostomy Tube 消化器官	OP	Ophthalmic 眼
GU	GU Irrigant GU 洗浄	OT	Otic 耳
IMR	Immerse (Soak) Body Part 浸透	OTH	Other/Miscellaneous その他／さまざま
IA	Intra-arterial 動脈内	PF	Perfusion 灌流
IB	Intrabursal 滑液包内	PO	Oral 口
IC	Intracardiac 心臓内	PR	Rectal 直腸
ICV	Intracervical (uterus) 子宮	RM	Rebreather Mask* リブリーザーマスク*
ID	Intradermal 皮膚内	SD	Soaked Dressing 湿性包帯
IH	Inhalation 吸入	SC	Subcutaneous 皮下
IHA	Intrahepatic Artery 肝内動脈	SL	Sublingual 舌下
IM	Intramuscular 筋肉内	TP	Topical 局所
IN	Intranasal 鼻腔内	TRA	Tracheostomy* 気管切開*
IO	Intraocular 眼内	TD	Transdermal 経皮性
IP	Intraperitoneal 腹腔内	TL	Translingual 経舌
IS	Intrasynovial 滑液包内	UR	Urethral 尿道
IT	Intrathecal 鞘内	VG	Vaginal 膣
IU	Intrauterine 子宮内	VM	Ventimask 換気マスク
IV	Intravenous 静脈内	WND	Wound 創傷
MTH	Mouth/Throat 口／喉		

*主として呼吸器治療および麻酔に使用される。

© JAHIS 2017

RXR-2　Administrative Site　投薬部位（CWE）　00310

成分:　<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは、投薬経路の部位を含んでいる。このフィールドでコーディネイトした後のコード表を使う場合は、このフィールドの意味を修正するためにRXR-6 投薬サイト（RXR-6 Administration Site ）が用いられることがある。

有効な値についてはHL7 表0550－身体の部位を参照のこと。後方互換性については、HL7 表0163－身体サイトも利用できる。その他の適切な外用のコードセットも利用できる。 (例, SNOMED)

【処方】本規約では、外用指示の場合のみ使用することとし、JAMI 標準用法規格を使用することを推奨する。

このフィールドは繰り返すことができないため、複数部位を指定する場合RXR セグメントを繰り返す。

7.16.1　外用部位コード表（JAMI標準用法規格 表１３）

部位名称	左右指定なし	左	右	両（左右）
全身	010	01L	01R	01B
頭皮	120	12L	12R	12B
頭部	130	13L	13R	13B
頭頂部	140	14L	14R	14B
後頭部	150	15L	15R	15B
ひたい	210	21L	21R	21B
顔	220	22L	22R	22B
まゆ	230	23L	23R	23B
まゆのまわり	240	24L	24R	24B
まぶた	250	25L	25R	25B
眼	260	26L	26R	26B
目のまわり	270	27L	27R	27B
頬	310	31L	31R	31B
鼻	320	32L	32R	32B
鼻のまわり	330	33L	33R	33B
鼻の下	340	34L	34R	34B
鼻腔内	350	35L	35R	35B
耳	420	42L	42R	42B
耳たぶ	430	43L	43R	43B
耳のうしろ	440	44L	44R	44B
耳のまわり	450	45L	45R	45B
耳の中	460	46L	46R	46B
口	520	52L	52R	52B
口のまわり	530	53L	53R	53B
口唇	540	54L	54R	54B
口腔内	550	55L	55R	55B
口腔内ほほの内側	560	56L	56R	56B
口腔内上あご部	570	57L	57R	57B
上歯茎部	580	58L	58R	58B
下歯茎部	590	59L	59R	59B
舌	5A0	5AL	5AR	5AB
舌の裏側	5B0	5BL	5BR	5BB
喉の奥	610	61L	61R	61B
扁桃腺部	620	62L	62R	62B
下あご	630	63L	63R	63B
首	640	64L	64R	64B
うなじ	650	65L	65R	65B
肩	710	71L	71R	71B
上肢	720	72L	72R	72B
腕	730	73L	73R	73B
上腕	740	74L	74R	74B
前腕	750	75L	75R	75B
ひじ	760	76L	76R	76B
手	770	77L	77R	77B
手の甲	780	78L	78R	78B
手のひら	790	79L	79R	79B
手の指	7A0	7AL	7AR	7AB
手の指の間	7B0	7BL	7BR	7BB

© JAHIS 2017

部位名称	左右指定なし	左	右	両（左右）
手の爪	7C0	7CL	7CR	7CB
手足	7D0	7DL	7DR	7DB
体幹部	810	81L	81R	81B
背中	820	82L	82R	82B
上背部	830	83L	83R	83B
脇の下	840	84L	84R	84B
全胸部	850	85L	85R	85B
乳房	860	86L	86R	86B
乳房まわり	870	87L	87R	87B
乳首	880	88L	88R	88B
上腹部	890	89L	89R	89B
下腹部	8A0	8AL	8AR	8AB
へそ	8B0	8BL	8BR	8BB
へそのまわり	8C0	8CL	8CR	8CB
臀部	8D0	8DL	8DR	8DB
陰のう	8E0	8EL	8ER	8EB
陰部	8F0	8FL	8FR	8FB
股間部	8G0	8GL	8GR	8GB
肛門部	8H0	8HL	8HR	8HB
肛門周囲	8J0	8JL	8JR	8JB
下肢	910	91L	91R	91B
ふともも	920	92L	92R	92B
ふともも後ろ	930	93L	93R	93B
ふとももとすね	940	94L	94R	94B
膝	950	95L	95R	95B
膝のうら	960	96L	96R	96B
すね	970	97L	97R	97B
ふくらはぎ	980	98L	98R	98B
くるぶし	990	99L	99R	99B
かかと	9A0	9AL	9AR	9AB
足	9B0	9BL	9BR	9BB
足の裏	9C0	9CL	9CR	9CB
足の甲	9D0	9DL	9DR	9DB
足のゆび	9E0	9EL	9ER	9EB
足のゆびの間	9F0	9FL	9FR	9FB
足の爪	9G0	9GL	9GR	9GB
かゆい所	A10	A1L	A1R	A1B
カサカサした所	A20	A2L	A2R	A2B
じくじくした所	A30	A3L	A3R	A3B
ひどい所	A40	A4L	A4R	A4B
褥瘡部	A50	A5L	A5R	A5B
発赤部	A60	A6L	A6R	A6B
発疹部	A70	A7L	A7R	A7B
ストマ部	A80	A8L	A8R	A8B
カテ挿入部	A90	A9L	A9R	A9B
患部	AA0	AAL	AAR	AAB

RXR-3　Administrative Device　投薬装置（CWE）　00311

成分:　<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは投薬または他の治療の一助に使用される機械装置を含んでいる。よくある例としては、各種点滴セットがある。有効な値については、使用者定義表 0164－投薬装置を参照。

使用者定義表 0164 -Administration Device 投薬装置

Value	Description	Value	Description
AP	Applicator アプリケータ	IVS	IV Soluset 点滴溶剤セット
BT	Buretrol ビューレトロール	MI	Metered Inhaler メーター付吸入器
HL	Heparin Lock ヘパリン固定具	NEB	Nebulizer 噴霧器
IPPB	IPPB	PCA	PCA Pump ＰＣＡポンプ
IVP	IV Pump 点滴ポンプ		

© JAHIS 2017

RXR-4　Administrative Method　投薬方法（CWE）　00312

成分:　<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：投薬方法の指定により、患者への投薬や治療に必要な特定の方法を識別する。有効な値については、使用者定義表0165－投薬方法を参照。

使用者定義表 0165 -Administration Method 投薬方法

Value	Description	Value	Description
CH	Chew 咀嚼	NB	Nebulized 噴霧装置適用
DI	Dissolve 溶解	PT	Pain 痛み
DU	Dust 掃除	PF	Perfuse 灌流
IF	Infiltrate 浸透	SH	Shampoo 洗髪
IS	Insert 挿入	SO	Soak 浸透
IR	Irrigate 洗浄	WA	Wash 洗浄
IVPB	IV Piggyback ＩＶピギーバック	WI	Wipe 拭き取り
IVP	IV Push ＩＶプッシュ		

RXR-5　Routing Instruction　経路指示（CWE）　01315

定義：このフィールドは、特に1つを越える投薬経路が可能な時に、投薬経路についての指示を提供する。典型的な場合は、1ラインを越えるIVラインが注入用の可能な経路の時、どのIVラインを使用しなければならないかを指定する。

RXR-6　Administration Site Modifier　投薬部位モディファイアー（CWE）　01315

定義：このフィールドには、RXR-2 投薬部位の意味を修正するモディファイアーが含まれている。このフィールドに使われているコード表はRXR-2 投薬部位に使われているコード表に依拠する。 もしRXR-2 が HL7 表0550―身体部位を用いる場合にはこのフィールドは、HL7 表0495－身体部位モディファイアー（HL7 V2.5 の4.23.4 参照）からの価のみを入れることが出来る。 もし、RXR-2 が HL7 表0163－身体サイトを用いる場合は、 RXR-6 には何も入れてはならない。その他のコードセットの場合（例、RXR-2 の中のSNOMED）、RXR-6 にはモディファイアーがそのコードセットの中に定義されているか、もしくは関連がある場合にのみ入れられ得る。

条件原則：このフィールドは、RXR-2 投薬部位にコードが入っている場合にのみ使われる事が出来る。このフィールドは、もしRXR-2 にコードが入っているならば必要とされない。

© JAHIS 2017

7.17 TQ1 - Timing/Quantity Segment　タイミング/数量セグメント

TQ1 セグメントは、イベントとアクションの複雑なタイミングを指定するのに使用される。（例えば、オーダ管理やスケジューリングシステム）。このセグメントは、サービスの量、頻度、優先度、及びタイミングを決定する。このセグメントの繰返しを許すことで、あるサービス要求（時間にこだわらず）での量、頻度、優先度の値に幅を持たせることが可能になる。

以下に TQ1 が繰り返されるユースケースを示す。

a) 心筋酵素（直ちに）、後は毎４時間

b) ストレプトキナーゼ検査、１回目（直ちに）結論を出し、実施（直ちに）、その後毎４時間結論を出し、実施（直ちに）。

c) ゲンタマイシン 100mg （すぐ）、80mg 毎 12 時間２回分（最初１回分 80mg）１回分 100mg の後きっかり 12 時間後（２回のサービス要求かも）。

d) アクティバース 15mg ボーラス（直ちに）、次に３０分間 50mg、次に 60 分間 35mg（２回のサービス要求かも）。

e) 初めにイモディアム 4mg（２カプセル）経口、次に 2mg（１カプセル）各未形成の検便後、１日あたり最大 16mg 。

f) 初日 Zithromax 500mg (2 錠剤 tabs) 経口、次に 250mg（１カプセル）経口で１日１回を５か間（２回のサービス要求かも）。

g) 禁煙の処方薬 Zyban (ブプロピオン Bupropion) 150mg 経口から開始、毎午前を３日間、次に 150mg 経口、１日２回を７週から１２週間。

h) コルヒチン 1mg(２カプセル)経口（すぐ）、次に１カプセル毎１から２時間、痛みが緩和するか、或いは好ましくない副作用（下痢、胃腸障害）が出るまで。（２回のサービス要求かも）

i) 初日 doxycylcine 100mg 経口、１日２回、次に 100mg 経口、１日１回。

j) スコポラミン、xxxmg,外科手術前１時間。相対時間= -1^hour 、プライオリティ=P(術前)、或いは代替の繰返パターン=s= P1H^Preop , 1 Hour before Surgery^99LocalCode, 相対時間は空かプライオリティがＰ（術前）。

HL7属性表－TQ1－Timing/Quantity タイミング／数量

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	TBL #	ELEMENT NAME
1	4	SI	O	O			Set ID – TQ1　TQ1をIDにセット
2	20	CQ	O	O			Quantity　数量
3	540	RPT	O	O	Y	0335	Repeat Pattern　繰返しパターン
4	20	TM	O	O	Y		Explicit Time　明示的な時間
5	20	CQ	O	O	Y		Relative Time and Units　関連時間/単位
6	20	CQ	O	O			Service Duration　サービス期間
7	26	TS	O	O			Start date/time　開始日時
8	26	TS	O	O			End date/time　終了日時
9	250	CWE	O	O	Y	0485	Priority　優先度
10	250	TX	O	O			Condition text　条件テキスト
11	250	TX	O	O			Text instruction　テキスト指令
12	10	ID	C	C		0427	Conjunction　連結
13	20	CQ	O	O			Occurrence duration　発生期間
14	10	NM	O	O			Total occurrence's　総発生

TQ1 フィールド定義

TQ1-1　Set ID - TQ1　(SI)　01627

定義 : 最初の伝送時、シーケンス番号は１、２回目の伝送時、シーケンス番号は２、以下同順。

TQ1-2　Quantity　数量　(CQ)　01628

成分:　<Quantity (NM)> ^ <Units (CWE)>

副成分　for Units (CWE):　<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

© JAHIS 2017

定義：このフィールドは、サービスが各々のサービス間隔で提供されるべき量を数量的に指定する。例えば、２つの血液カルチャを４時間毎に入手する場合、その量は２である。或いは、３ユニットの血液がタイプされ、クロスマッチされ、量は３となる。このフィールドの暗黙値は１である。
もし、複数のサービスが要求される場合、複数のサービス要求が発行され、各々のサービスに各自固有な発行者/実行者番号が与えられることを強く推奨する。

TQ1-3　Repeat Pattern　繰返しパターン　(RPT)　01629

成分: <Repeat Pattern Code (CWE)> ^ <Calendar Alignment (ID)> ^ <Phase Range Begin Value (NM)> ^ <Phase Range End Value (NM)> ^ <Period Quantity (NM)> ^ <Period Units (IS)> ^ <Institution Specified Time (ID)> ^ <Event (ID)> ^ <Event Offset Quantity (NM)> ^ <Event Offset Units (IS)> ^ <General Timing Specification (GTS)>

副成分 for Repeat Pattern Code (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義：繰返しの頻度は、その治療が管理されるべき頻度である。オーダエントリシステムで使用された頻度と SIG コード表と同様である。
このフィールドは、もっと複雑な繰返しパターンを構築するために繰り返される。例えば、毎日就寝時は、"|QD~HS|"として繰り返される。
数量タイミング仕様がある期間の後異なる繰返しパターンに変化しなければならない時、新しい TQ1 セグメントが新しい繰返しを示すために使用されなければならない。現状の TQ1 の終了日は現状タイミング仕様の終了を示し、次の TQ1 の開始日は新しいタイミング仕様が開始する時を示す。TQ1-12 の結合フィールドが次の TQ1 セグメントが連続して或いは平行して実行されるかを決定する。

使用者定義表 0335 -Repeat pattern 繰り返しパターン

Value	Description	Comment
Q＜整数＞S	＜整数＞秒ごと	
Q＜整数＞>M	＜整数＞分ごと	
Q＜整数＞H	＜整数＞時間ごと	
Q＜整数＞D	＜整数＞日ごと	
Q＜整数＞W	＜整数＞週ごと	
Q＜整数＞L	＜整数＞月（月周期）ごと	
Q＜整数＞J＜日番号＞	週の特定の曜日に繰り返す	フランス語の *Jour*（日）より。＜整数＞がないとき繰り返し頻度は1と見なされる。＜日番号＞は1=月曜日から7=日曜日までである。したがって、Q2J2 は２週に１度の火曜日ごととなり; Q1J6 は毎日曜日となる。
BID	日に２回、施設で定められた時刻	（例、9AM-4PM）
TID	日に３回、施設で定められた時刻	（例、 9AM-4PM-9PM）
QID	日に４回、施設で定められた時刻	（例、9AM-11AM-4PM-9PM）
xID	日にＸ回、施設で定められた時刻で、Ｘは数字の５より大きい	（例、 5ID=日に５回; 8ID=日に８ 回）
QAM	朝の施設で決められた時間に	
QSHIFT	８時間の３回のシフトを１回ずつ施設で決められた時間に	
QOD	１日おきに	（Q2D と同じ）

© JAHIS 2017

Value	Description	Comment
QHS	毎日就寝時間の前に	
QPM	夕の施設で決められて時間に	
C	サービスは開始時刻から終了時刻まで連続的に提供される	
U <spec> U <指定>	将来の使用のため、＜指定＞はUNIXのcron仕様で定義された繰り返しの指定	
PRN	必要に応じて	
PRNxxx	xxxはある繰り返しコード	（例、PRNQ6H）頻度の間隔で必要に応じて
Once	１回のみ	これもこの成分がnullの時のデフォルト
食事に関連したタイミング	＜タイミング＞C (“cum”)＜食事＞	
A	Ante（前）	
P	Post（後）	
I	Inter（間）	（例、前後の食事の間、夕食と終身の間）
M	Cibus Matutinus 〈朝食〉	
D	Cibus Diurnus （昼食）	
V	Cibus Vespertinus （夕食）	

【処方】本規約では、コード表としてJAMI標準用法規格を使用することを推奨する。JAMI標準用法規格を使用する際のコーディングシステム名はJAMISDP01を用いる。

例：　１日３回朝昼夕食後　　３日分
TQ1|||1013044400000000&内服・経口・１日３回朝昼夕食後&JAMISDP01|||3^D&日&ISO+|20160825

隔日投与、曜日指定といった処方スケジュール用法は１６桁コードの他に表7.17.6 補足用法コード（８桁）仕様表も用いて表現する。その場合のコーディングシステム名もJAMISDP01を用いる。１６桁コードに対応する用法名称はJAMI標準用法規格「１１．用法コードに１対１対応する用法名称」で指定されている名称を使用する。８桁コードに対応する用法名称はJAMI標準用法規格で指定されていないため、本規約では特に規定しない。

例：　１日１回　朝食後（１日おき）　７日分
TQ1|||1011000400000000&内服・経口・１日１回朝食後&JAMISDP01~ I1100000&１日おき&JAMISDP01|||7^D&日&ISO+|20160825

© JAHIS 2017

ローカルコードと標準用法コードの併記

ローカルコードによる用法と標準用法コードによる用法を併記できるのは、ローカルコードと標準用法コードが完全に同じ意味を持つ場合のみとし、かつ第１成分(CWE 型)の第１～３副成分と第４～６副成分を使用して、

L0001&１日２回朝夕食後&99Znn&1012040400000000&内服・経口・１日２回朝夕食後&JAMISDP01

などとすること。

L0001&１日２回朝夕食後&99Znn~1012040400000000&内服・経口・１日２回朝夕食後&JAMISDP01

などと TQ1-3 全体の繰り返しによる併記は、異なる用法の組み合わせとも解釈できるため行ってはならない。

また、

L0002&１日２回朝夕食後（隔日）&99Znn&1012040400000000&内服・経口・１日２回朝夕食後&JAMISDP01~ I1100000&1 日おき&JAMISDP01

などと異なる意味を持つコードの併記も、CWE 型に関する HL7 規約の仕様に反するため行ってはならない。以下のようにすること。

L0002&１日２回朝夕食後&99Znn&1012040400000000&内服・経口・１日２回朝夕食後&JAMISDP01~L0003&（隔日）&99Znn &I1100000&1 日おき& JAMISDP01

© JAHIS 2017

表7.17.1 16桁コード仕様表（JAMI標準用法規格 標準用法コード添付表１）

		第１桁	第２桁	第３桁	第４桁	第５桁	第６桁	第７桁	第８桁	第９桁	第10桁	第11桁	第12桁	第13桁	第14桁	第15桁	第16桁	用法記述の一例
用法種別	タイミング種別	基本用法区分	用法詳細区分	タイミング指定区分	１日内のタイミングに関連する情報											時間的要素・機器区分	実施環境・施行者	
内服用法	食事等タイミング基本	1:内服	0～3	1	１日服用（外用）回数	就寝前の服用指定	夕食時の服用指定	昼食時の服用指定	朝食時の服用指定	起床時の服用指定	時刻指定の服用＊	—	—	—	—	—	—	1日3回朝昼夕食後
	１日回数と時間間隔明示			2		1日での服用開始時刻＊	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1日3回　8時間毎
	１日回数と服用時刻を明示（時刻指定型Ⅰ）			3		第１服用時刻	第2服用時刻＊	第3服用時刻＊	第4服用時刻＊	第5服用時刻＊	第6服用時刻＊	第7服用時刻＊	第8服用時刻＊	—	—	—	—	1日4回　6時、12時、18時、23時
	１日回数とイベントを明示（時刻指定型Ⅱ）			4		イベント区分	イベント詳細区分	イベント附帯条件区分	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1日3回　哺乳時
外用用法	生活リズム基本	2:外用	A～U	6		就寝前の使用指定	夕の使用指定	昼の使用指定	朝の使用指定	起床時の使用指定	時刻指定の使用＊	—	—	—	—	—	—	1日1回就寝時塗布
	１日回数だけを明示			7		外用回数の補足情報＊	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1日3回程度吸入
	時間間隔で明示			8	時間間隔	時間間隔の補足情報＊	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2～3時間毎吸入
内服・外用共通	頓用	1:内服 2:外用	0～U	5	１日服用（外用）回数	イベント区分	イベント詳細区分	イベント附帯条件区分＊	最低時間間隔＊	１日最大用法回数＊	—	—	—	—	—	—	—	喘息発作時、3時間以上あけて1日最大3回まで
注射・注入	上記すべて可能	3:注射 4:注入	0～Z	上記準拠												1～5	1～4	

—の欄は未使用の桁で0を設定する。＊の欄はその情報が必要な場合にのみ設定し、不要な場合には0を設定する。

© JAHIS 2017

表7.17.2 用法コード一覧（内服）（JAMI標準用法規格 標準用法コード添付表２）

分類	標準用法整理番号	標準用法記述	標準用法コード（注1）				備考
食事等タイミングを基本とする内服用法	1101	1日1回起床時	1*11	0000	9000	0000	
	1102	1日1回朝食前	1*11	0001	0000	0000	
	1103	1日1回朝食直前	1*11	0002	0000	0000	
	1104	1日1回朝食後	1*11	0004	0000	0000	
	1105	1日1回朝食2時間後	1*11	0005	0000	0000	
	1106	1日1回昼食前	1*11	0010	0000	0000	
	1107	1日1回昼食直前	1*11	0020	0000	0000	
	1108	1日1回昼食後	1*11	0040	0000	0000	
	1109	1日1回昼食2時間後	1*11	0050	0000	0000	
	1110	1日1回夕食前	1*11	0100	0000	0000	
	1111	1日1回夕食後	1*11	0400	0000	0000	
	1112	1日1回夕食2時間後	1*11	0500	0000	0000	
	1113	1日1回就寝前	1*11	1000	0000	0000	外用用法の整理番号2105の注を参照
	1114	1日1回空腹時	1*41	4800	0000	0000	注2
	1115	1日2回朝食前と就寝前	1*12	1001	0000	0000	
	1116	1日2回朝食後と就寝前	1*12	1004	0000	0000	
	1117	1日2回朝昼食前	1*12	0011	0000	0000	
	1118	1日2回朝昼食後	1*12	0044	0000	0000	
	1119	1日2回朝夕食前	1*12	0101	0000	0000	
	1120	1日2回朝夕食後	1*12	0404	0000	0000	
	1121	1日2回朝夕食事2時間後	1*12	0505	0000	0000	
	1122	1日2回昼夕食前	1*12	0110	0000	0000	
	1123	1日2回昼食前と就寝前	1*12	1010	0000	0000	
	1124	1日2回昼夕食後	1*12	0440	0000	0000	
	1125	1日2回昼食後と就寝前	1*12	1040	0000	0000	
	1126	1日2回夕食前と就寝前	1*12	1100	0000	0000	
	1127	1日2回夕食後と就寝前	1*12	1400	0000	0000	
	1128	1日3回朝昼夕食前	1*13	0111	0000	0000	
	1129	1日3回朝昼夕食直前	1*13	0222	0000	0000	
	1130	1日3回朝昼夕食後	1*13	0444	0000	0000	
	1131	1日3回朝昼夕食後2時間	1*13	0555	0000	0000	
	1132	1日3回朝昼食前と就寝前	1*13	1011	0000	0000	
	1133	1日3回朝昼食後と就寝前	1*13	1044	0000	0000	
	1134	1日3回朝夕食前と就寝前	1*13	1101	0000	0000	
	1135	1日3回朝夕食後と就寝前	1*13	1404	0000	0000	
	1136	1日3回昼夕食前と就寝前	1*13	1110	0000	0000	
	1137	1日3回昼夕食後と就寝前	1*13	1440	0000	0000	
	1138	1日4回朝昼夕食前と就寝前	1*14	1111	0000	0000	
	1139	1日4回朝昼夕食後と就寝前	1*14	1444	0000	0000	

© JAHIS 2017

分類	標準用法整理番号	標準用法記述	標準用法コード（注1）				備考
	1140	1日5回朝昼夕食後、15時、就寝前	1*15	1444	0P00	0000	
1 日回数と時間間隔を明示した内服用法	1201	1日2回12時間毎	1*22	0000	0000	0000	
	1202	1日3回8時間毎	1*23	0000	0000	0000	
	1203	1日4回6時間毎	1*24	0000	0000	0000	
	1204	1日6回4時間毎	1*26	0000	0000	0000	
	1205	1日8回3時間毎	1*28	0000	0000	0000	
1 日回数と服用時刻を明示した内服用法（時刻指定型Ⅰ）	1301	1日1回N1時	1*31	N000	0000	0000	注3
	1302	1日2回N1時、N2時	1*32	NN00	0000	0000	注3
	1303	1日3回N1時、N2時、N3時	1*33	NNN0	0000	0000	注3
	1304	1日4回N1時、N2時、N3時、N4時	1*34	NNNN	0000	0000	注3
	1305	1日5回N1時、N2時、N3時、N4時、N5時	1*35	NNNN	N000	0000	注3
	1306	1日6回N1時、N2時、N3時、N4時、N5時、N6時	1*36	NNNN	NN00	0000	注3
	1307	1日8回N1時、N2時、N3時、N4時、N5時、N6時、N7時、N8時	1*38	NNNN	NNNN	0000	注3
1 日回数とイベントを明示した内服用法（時刻指定型Ⅱ）	1401	1日 1 回哺乳時	1*41	B700	0000	0000	
	1402	1日 2 回哺乳時	1*42	B700	0000	0000	
	1403	1日 3 回哺乳時	1*43	B700	0000	0000	
	1404	1日 4 回哺乳時	1*44	B700	0000	0000	
	1405	1日 5 回哺乳時	1*45	B700	0000	0000	
	1406	1日 6 回哺乳時	1*46	B700	0000	0000	
	1407	1日 8 回哺乳時	1*48	B700	0000	0000	
	1408	1日 10 回哺乳時	1*4A	B700	0000	0000	
	1409	1日 12 回哺乳時	1*4C	B700	0000	0000	
	1114	1日1回空腹時	1*41	4800	0000	0000	注2
頓用型の内服用法	1601	疼痛時	1*50	1100	0000	0000	
	1602	頭痛時	1*50	1200	0000	0000	
	1603	歯痛時	1*50	1300	0000	0000	
	1604	胸痛時	1*50	1400	0000	0000	
	1605	腹痛時	1*50	1500	0000	0000	
	1606	腰痛時	1*50	1600	0000	0000	
	1607	関節痛時	1*50	1700	0000	0000	
	1608	喘鳴時	1*50	2100	0000	0000	
	1609	喘息発作時	1*50	2200	0000	0000	
	1610	喉がゴロゴロする時	1*50	2300	0000	0000	
	1611	しゃっくり時	1*50	2400	0000	0000	
	1612	咳込時	1*50	2500	0000	0000	
	1613	血圧上昇時〇〇mmHg 以上	1*50	3170	0000	0000	注4
	1614	血糖値〇〇mg/dL 以上	1*50	3270	0000	0000	注4
	1615	便秘時	1*50	4100	0000	0000	
	1616	お腹がゴロゴロする時	1*50	4200	0000	0000	
	1617	下痢時	1*50	4300	0000	0000	

© JAHIS 2017

分類	標準用法整理番号	標準用法記述	標準用法コード（注1）				備考
	1618	嘔吐時	1*50	4500	0000	0000	
	1619	吐き気時	1*50	4700	0000	0000	
	1620	空腹時	1*50	4800	0000	0000	
	1621	出血時	1*50	4900	0000	0000	
	1622	乏尿時〇〇mL/時間未満	1*50	5150	0000	0000	注4
	1623	多尿時	1*50	5200	0000	0000	
	1624	むくみ時	1*50	5300	0000	0000	
	1625	不眠時	1*50	6100	0000	0000	
	1626	不安時	1*50	6200	0000	0000	
	1627	不穏時	1*50	6300	0000	0000	
	1628	いらいら時	1*50	6400	0000	0000	
	1629	けいれん時	1*50	6500	0000	0000	
	1630	めまい時	1*50	6600	0000	0000	
	1631	疲労時	1*50	6700	0000	0000	
	1632	発熱時(〇〇度以上)	1*50	7170	0000	0000	注4
	1633	悪寒時	1*50	7200	0000	0000	
	1634	かゆい時	1*50	8100	0000	0000	
	1635	発疹時	1*50	8200	0000	0000	
	1636	発作時	1*50	9100	0000	0000	
	1637	症状ある時	1*50	9200	0000	0000	
	1638	検査前	1*50	A120	0000	0000	必須指示 注5
	1639	検査時	1*50	A220	0000	0000	必須指示 注5
	1640	検査後	1*50	A320	0000	0000	必須指示 注5
	1642	手術前	1*50	A420	0000	0000	必須指示 注5
	なし	手術中	1*50	A520	0000	0000	必須指示 注5
	1642	手術後	1*50	A620	0000	0000	必須指示 注5
	1643	処置前	1*50	A720	0000	0000	必須指示 注5
	1644	処置時	1*50	A820	0000	0000	必須指示 注5
	1645	処置後	1*50	A920	0000	0000	必須指示 注5
	1646	起床時	1*50	B100	0000	0000	
	1647	入浴前	1*50	B200	0000	0000	
	1648	食事前	1*50	B300	0000	0000	
	1649	食事後	1*50	B400	0000	0000	
	1650	就寝前	1*50	B500	0000	0000	
	1651	外出時	1*50	B600	0000	0000	
	1652	哺乳時	1*50	B700	0000	0000	
	1653	必要時	1*50	W100	0000	0000	

© JAHIS 2017

分類	標準用法整理番号	標準用法記述	標準用法コード(注1)				備考
	1654	適宜	1*50	W200	0000	0000	

注記:

1　2桁目の*は、用法詳細区分コードで、内服用法の違いにより以下のいずれかのコードを使用する。詳細は表7.17.4 用法詳細区分表(標準用法マスタ)を参照のこと。

2　コード体系上は「1日回数と服用時刻を明示した内服用法(時刻指定型Ⅰ)」であるが、標準用法上食事等をタイミングとするカテゴリーに入れられているので、同一のものを両方に記載した。

3　表中のN1...N8はそれぞれ、24時制で特定の時刻を表す英字1文字を表す。時刻と英字との対応は以下のとおり。

「時刻0～23に対してそれぞれ文字A～Xを対応づける。」

例:1日3回8時、15時、21時の場合、8時は英字I、15時は英字P、21時は英字Vに対応するので、16桁用法コードは1033IPV000000000となる(内服経口で2桁目が0の場合)。

4　数値による付帯条件を記述するため、「未満」は7桁目を5、「以上」は7桁目を7で記述する。条件数値そのものは単位とともに別に記述するものとし、用法タイミングコードでは表現しない。「未満」「以上」以外の条件を必要とする場合のコードの使い方については表7.17.5 イベント附帯条件区分(標準用法マスタ)を参照のこと。

5　イベント時に必須使用の指示の場合を想定。任意使用の指示の場合には7桁目を2ではなく0とする。詳細は表7.17.5 イベント附帯条件区分(標準用法マスタ)を参照のこと。

表7.17.3 用法コード一覧（外用）（JAMI標準用法規格 標準用法コード添付表３）

分類	標準用法整理番号	標準用法記述	標準用法コード(注1)				備考
生活リズムを基本とする外用用法	2101	1日1回起床時	2*61	0000	9000	0000	
	2102	1日1回朝	2*61	0009	0000	0000	
	2103	1日1回昼	2*61	0090	0000	0000	
	2104	1日1回夕	2*61	0900	0000	0000	
	2105	1日1回就寝時	2*61	1000	0000	0000	注2
	2106	1日2回朝夕	2*62	0909	0000	0000	
	2107	1日2回朝と就寝前	2*62	1009	0000	0000	
	2108	1日2回午前と午後	2*62	0A0A	0000	0000	
	2109	1日3回朝昼夕	2*63	0999	0000	0000	
	2110	1日4回朝昼夕と就寝前	2*64	1999	0000	0000	
1日回数だけを明示した外用用法	2201	1日1回	2*71	0000	0000	0000	
	2202	1日2回	2*72	0000	0000	0000	
	2203	1日3回	2*73	0000	0000	0000	
	2204	1日4回	2*74	0000	0000	0000	
	2205	1日6回	2*76	0000	0000	0000	
	2206	1日3回程度	2*73	A000	0000	0000	
	2207	1日4回程度	2*74	A000	0000	0000	
	2208	1日6回程度	2*76	A000	0000	0000	
	2209	1日1～2回	2*71	2000	0000	0000	
	2210	1日1～数回	2*71	N000	0000	0000	
	2211	1日2～3回	2*72	3000	0000	0000	
	2212	1日3～4回	2*73	4000	0000	0000	
	2213	1日4～5回	2*74	5000	0000	0000	
時間間隔で明示した外用用法(時刻指定型Ⅰ)	2301	2～3時間毎	2*82	3000	0000	0000	
	2302	4～6時間毎	2*84	6000	0000	0000	

© JAHIS 2017

分類	標準用法整理番号	標準用法記述	標準用法コード（注1）				備考
頓用型の外用用法	2401	疼痛時	2*50	1100	0000	0000	
	2402	頭痛時	2*50	1200	0000	0000	
	2403	歯痛時	2*50	1300	0000	0000	
	2404	胸痛時	2*50	1400	0000	0000	
	2405	腹痛時	2*50	1500	0000	0000	
	2406	腰痛時	2*50	1600	0000	0000	
	2407	関節痛時	2*50	1700	0000	0000	
	2408	喘鳴時	2*50	2100	0000	0000	
	2409	喘息発作時	2*50	2200	0000	0000	
	2410	喉がゴロゴロする時	2*50	2300	0000	0000	
	2411	しゃっくり時	2*50	2400	0000	0000	
	2412	咳込時	2*50	2500	0000	0000	
	2413	血圧上昇時〇〇mmHg 以上	2*50	3170	0000	0000	注3
	2414	血糖値〇〇mg/dL 以上	2*50	3270	0000	0000	注3
	2415	便秘時	2*50	4100	0000	0000	
	2416	お腹がゴロゴロする時	2*50	4200	0000	0000	
	2417	下痢時	2*50	4300	0000	0000	
	2418	排便時	2*50	4400	0000	0000	注4
	2419	嘔吐時	2*50	4500	0000	0000	
	2420	口腔乾燥時	2*50	4600	0000	0000	注4
	2421	吐き気時	2*50	4700	0000	0000	
	2422	空腹時	2*50	4800	0000	0000	
	2423	出血時	2*50	4900	0000	0000	
	2424	乏尿時〇〇mL/時間未満	2*50	5150	0000	0000	注3
	2425	多尿時	2*50	5200	0000	0000	
	2426	むくみ時	2*50	5300	0000	0000	
	2427	不眠時	2*50	6100	0000	0000	
	2428	不安時	2*50	6200	0000	0000	
	2429	不穏時	2*50	6300	0000	0000	
	2430	いらいら時	2*50	6400	0000	0000	
	2431	けいれん時	2*50	6500	0000	0000	
	2432	めまい時	2*50	6600	0000	0000	
	2433	疲労時	2*50	6700	0000	0000	
	2434	発熱時(〇〇度以上)	2*50	7170	0000	0000	注3
	2435	悪寒時	2*50	7200	0000	0000	
	2436	かゆい時	2*50	8100	0000	0000	
	2437	発疹時	2*50	8200	0000	0000	
	2438	発作時	2*50	9100	0000	0000	
	2439	症状ある時	2*50	9200	0000	0000	
	2440	検査前	2*50	A120	0000	0000	必須指示 注5
	2441	検査時	2*50	A220	0000	0000	必須指示

© JAHIS 2017

分類	標準用法整理番号	標準用法記述	標準用法コード（注1）				備考
							注5
	2442	検査後	2*50	A320	0000	0000	必須指示 注5
	2443	手術前	2*50	A420	0000	0000	必須指示 注5
	なし	手術中	2*50	A520	0000	0000	必須指示 注5
	2444	手術後	2*50	A620	0000	0000	必須指示 注5
	2445	処置前	2*50	A720	0000	0000	必須指示 注5
	2446	処置時	2*50	A820	0000	0000	必須指示 注5
	2447	処置後	2*50	A920	0000	0000	必須指示 注5
	2448	起床時	2*50	B100	0000	0000	
	2449	入浴前	2*50	B200	0000	0000	
	2450	食事前	2*50	B300	0000	0000	
	2451	食事後	2*50	B400	0000	0000	
	2452	就寝前	2*50	B500	0000	0000	
	2453	外出時	2*50	B600	0000	0000	
	2454	哺乳時	2*50	B700	0000	0000	
	2455	必要時	2*50	W100	0000	0000	
	2456	適宜	2*50	W200	0000	0000	

注記:

1 2桁目の*は、用法詳細区分コードで、外用用法の違いによりいずれかのコードを使用する。詳細は表7.17.4 用法詳細区分表（標準用法マスタ）を参照のこと。

2 内服用法では「1日1回就寝前」となっており記述が異なる。これは日本病院薬剤師会と日本薬剤師会の「標準用法用語集（第1版）」に合わせたものである。

3 数値による付帯条件を記述するため、「以下」は7桁目を5、「以上」は7桁目を7で記述する。条件数値そのものは単位とともに別に記述するものとし、用法タイミングコードでは表現しない。「以下」「以上」以外の条件を必要とする場合のコードの使い方については表7.17.5 イベント附帯条件区分（標準用法マスタ）を参照のこと。

4 頓用内服用法には存在しないので注意。

5 イベント時に必須使用の指示の場合を想定。任意使用の指示の場合には7桁目を2ではなく0とする。詳細は表7.17.5 イベント附帯条件区分（標準用法マスタ）を参照のこと。

表7.17.4 用法詳細区分表（JAMI標準用法規格 表２）

内服／外用区分	用法詳細区分コード		附帯部位情報
内服	経口	0	不要
内服	舌下	1	不要
内服	バッカル	2	不要
内服	口腔内塗布	3	不要
外用	貼付	A	必須
外用	塗布	B	必須
外用	湿布	C	必須

© JAHIS 2017

内服／外用区分	用法詳細区分コード		附帯部位情報
外用	撒布	D	必須
外用	噴霧	E	必須
外用	消毒	F	任意
外用	点耳	G	左・右・両
外用	点眼	H	左・右・両
外用	点鼻	J	左・右・両
外用	うがい	K	不要
外用	吸入	L	不要
外用	トローチ	M	不要
外用	膀胱洗浄	N	不要
外用	鼻腔内洗浄	P	不要
外用	浣腸	Q	不要
外用	肛門挿入	R	不要
外用	肛門注入	S	不要
外用	膣内挿入	T	不要
外用	膀胱注入	U	不要

表7.17.5 イベント附帯条件区分（JAMI標準用法規格 表７）

イベント附帯条件区分	イベント附帯条件区分コード
イベント時頓用（任意使用）	0
イベント時に使用必須	1
イベント後に使用必須	2
ある数値と等しい時、使用必須	3
ある数値未満の時、使用必須	4
ある数値以下の時、使用必須	5
ある数値以上の時、使用必須	6
ある数値超の時、使用必須	7
ある数値超の時、使用必須	8
上記以外の型式の附帯条件を満たす時、使用必須	9

© JAHIS 2017

表7.17.6 補足用法コード（8桁）仕様表（JAMI標準用法規格 標準用法コード添付表５）

	第１桁	第２桁	第３桁	第４桁	第５桁	第６桁	第７桁	第８桁	用法記述の一例
補足用法種別	補足用法区分	補足用法に関連する情報							
日付間隔指定	I	連続服用日数	連続休薬日数	—	—	—	—	—	隔日投与
曜日指定	W	服用有無（日曜）	服用有無（月曜）	服用有無（火曜）	服用有無（水曜）	服用有無（木曜）	服用有無（金曜）	服用有無（土曜）	火曜日、金曜日に服用
日付指定	D	服用月	第1服用日	第2服用日	第3服用日	第4服用日	第5服用日	第6服用日	10 日、20 日、30 日に服用
期間内回数指定	C	服用回数を指定する期間	指定期間内の服用回数	—	—	—	—	—	週２回服用
不均等	V	指定するタイミングの服用順	指定したタイミングの服用量（数字０〜9、小数点、N を使用）						朝１錠、昼２錠、夕３錠服用

—の欄は未使用の桁で0を設定する。＊の欄はその情報が必要な場合にのみ設定し、不要な場合には0を設定する。
不均等用法についてはRXE-7で使用する

表7.17.7 追加用法（食事関連）（MERIT-9　処方オーダ　表6）

Value	Description
nnmm	nn 時 mm 分

TQ1-4　Explicit Time　明示的時間　(TM)　01630

定義：このフィールドはTQ1-3 のコードによって参照された実際の時間を明示的にリストする。D このフィールドは、実際の管理時間が施設内でまちまちであるケースでTQ1-3 を明確化するために使用される。仮にサービスの時間が１日よりももっと長い期間を要求する場合、このフィールドはサービス要求があった各々の日に同じ管理時間が発生する場合にのみ実行が可能となる。仮にサービス要求（TQ1-7 によって与えられる）の実際の開始時間が最初の明示的時間よりも後である場合、開始時間後、最初の明示的時間に最初の管理が行われる。患者が明示的時間の異なる組み合わせを持つ場所に移動したケースでは、既存のサービス要求は、変更された明示的時間を示す新しい数量/タイミングによって更新される。

使用上の注意：このフィールドは、繰返しパターンが存在しない場合には無効。

TQ1-5　Relative Time and Units　相対的時間と単位　(CQ)　01631

成分:　<Quantity (NM)> ^ <Units (CWE)>

副成分 for Units (CWE):　<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義：このフィールドはサービス要求或いはボトル記録のためのスケジュールの間隔を定義するために使用される。仮にこのフィールドが値を持つ場合、明示的時間間隔フィールドの値を上書きする。CQ データ型の単位コンポーネントは、時間単位に制約される。

例:

```
TQ1|1|1|Q1H||60^min&&ISO+   - Q1H is defined with an interval between services of 60 minutes
TQ1|1|1|Q6H||6^hr&&ISO+   - Q6H is defined with an interval between services of 6 hours
TQ1|1|1|QD||1^d&&ISO+   - QD is defined with an interval between services of 1 day
```

TQ1-6　Service Duration　サービス期間　(CQ)　01632

成分:　<Quantity (NM)> ^ <Units (CWE)>

© JAHIS 2017

副成分 for Units (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは、サービスが要求される期間を含む。

このフィールドの数量成分は、ポジティブで、ゼロでない数字でなければならない。このフィールドの単位ポーションは、時間の単位に制約される。

例：ワイヤープールを３日間に１日 20 分。３日ともサービス期間。

TQ1|1||TID|||3^d&&ISO+||||||20^min&&ISO+|9<cr>

【処方】本規約では、薬剤の与薬日数をセットする。休薬日のある用法の場合には、投与実日数を設定する。

TQ1-7 Start date/time 開始日/時間 (TS) 01633

成分: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドは、サービスが開始されるべき最早日/時間を示す場合に、要求者によって指定される。しかしながら、多くの場合、開始日/時間は暗示されるかサービス要求記録（例えば緊急-STAT）の他のフィールドによって定義される。これらの場合、このフィールドは空である。

サービス実施では、しばしばサービス要求を受け取った後、このフィールドに値が記録される。しかしながら、終了時間は、サービス実施の内部使用のため、開始日/時間をベースとして計算している。

【処方】本規約では、投与開始日時をセットする。

TQ1-8 End date/time 終了日/時間 (TS) 01634

成分: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：サービス要求者によって実施される場合、このフィールドはサービスが実行されるべき最遅日/時間を含む。仮に指定された時間によってサービスが実行されなかった場合、そのサービスはまったく実行されるべきではない。要求者はいつもこの値を記入するものではなく、サービス実施が終了日/時間を記入するかも知れない。それを受け取る施設と実際開始時間をベースとして。

終了日/時間の値に関わらず、サービスは期間或いは終了日/時間によって指定された最早日/時間で停止されるべき。

【処方】本規約では、医師が明示的に終了日時を指示した場合のみ、その日時をセットする。

TQ1-9 Priority 優先度 (CWE) 01635

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは、要求の優先度を記述する。仮にこのフィールドがブランクならデフォルトは R である。推奨値に関しては、使用者定義表 0485―拡張優先度コード を参照のこと。

使用者定義表 0485 - Extended Priority Codes 拡張優先度コード

Value	Description	Comment
S	Stat	最も高い優先度（緊急）
A	ASAP	S オーダの後で記入（できるだけ早く）
R	Routine	デフォルト（ルーチン）
P	Preop	（術前）
C	Callback	
T	Timing critical	要求はできるだけ要求時間に近づけることが重要。例えば抗菌レベル。
TS<integer>		タイミングは<整数値＞秒以内であることが重要
TM<integer>		タイミングは<整数値＞分以内であることが重要
TH<integer>		タイミングは<整数値＞時間以内であることが重要

© JAHIS 2017

Value	Description	Comment
TD<integer>		タイミングは<整数値＞日以内であることが重要
TW<integer>		タイミングは<整数値＞週以内であることが重要
TL<integer>		タイミングは<整数値＞月以内であることが重要
PRN	As needed	

TQ1-10　Condition text　条件テキスト　(TX)　01636

定義：これは薬が与えられる条件を記述する自由テキストのフィールドである。例えば、 PRN pain、或いは血圧を１１０以下に保つこと

このフィールドの存在は、この薬がどのように、かつ或いはいつ与えられるべきかを決定するために人間のレビューが必要であるということを意味するためと捉えるべき。

TQ1-11　Text instruction　テキスト指令　(TX)　01637

定義：このフィールドは、指示のフルテキスト版である。（オプション）

【処方】本規約では、用法に関するコメント（用法コメント）など、Rp ごとのコメントを格納する。

TQ1-12　Conjunction　連結　(ID)　01638

定義：このフィールドは、２番目のTQ1セグメントを従える。可能な値に関しては、HL7表 04 72 – TQ 連結 ID を参照のこと。

HL7表 0472 -TQ Conjunction ID　TQ 連結ID

Value	Description	Comment
S	同期（Synchronous）	同期. 今回の指定の後に次の指定を行う(*TQ1-7－開始日時, およびTQ1-8－終了日時*により制限を受けなければ)。"S"指定は、最初のタイミング･シーケンスの後に２番目のタイミング･シーケンスが続くことを示す。例えば、最初の１時間は Q15 分ごとに血圧を測定し、次の日には２時間ごとに血圧を測定するよう依頼する。
A	非同期（Asynchronous）	今回の指定と並行して次の指定を行う(*TQ1-7－開始日時, およびTQ1-8－終了日時*により制限を受けなければ)。連結"A"により、投薬時などに散見される、2 つの指示の並行指定が可能になる。例えば、月曜、水曜、金曜にプレドニゾン１錠, 火曜、木曜、土曜、日曜には 1／2 錠。
C	これは開始時間である (Actuation Time)	このコードの後にはサービスの終了時間が続く。このコードにより、サービスを起動すべき（採血など）時間･優先度から、サービスを終了すべき（結果報告など）時間･優先度が区別できるようになる。

連続サービスあるいは循環サービスの場合、サービスを実際に停止するポイントは、*TQ1-8 終了日時及び TQ1-6 継続時間*の、どちらかより早い停止時間を示す成分により決定される。通常、この２つの成分のうち１つだけが存在する。

条件ルール：TQ1 セグメントがメッセージ内で繰返される場合、TQ1 セグメントに続く連続を意味する適切な継続時間コードで入力されるべきである。

TQ1-13　Occurrence duration　発生期間　(CQ)　01639

成分:　<Quantity (NM)> ^ <Units (CWE)>

副成分 for Units (CWE):　<Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義：このフィールドはサービスの単独能力についての期間を含んでいる。 このフィールドの数量成分は、入力時ポジティブかつゼロでない数字でなければならない。単位成分は、時間の単位に制約される。

例えばワールプールを３日間、１日で２０分を３回。ＴＱオプションで繰り返し無し。

© JAHIS 2017

TQ1|1||TID|||3^d&&ANS+||||||20^min&&ISO+|9<cr>

TQ1-14　Total occurrence's　発生総数　(NM)　01640

定義：このフィールドは、サービス要求の結果であるべきサービスの発生総数を含む。仮に終了日/時間(TQ1-8)と発生総数の両方が値を持ち、その発生数が終了日/時間を越えて延びる場合は、終了日/時間を優先する。その他の場合は発生数を優先する。

例：ワールプールを３日間、１日で２０分を３回。総発生数が９回。

TQ1|1||TID|||3^d&&ANS+||||||20^min&&ISO+|9<cr>

【処方】本規約では、頓用指示の場合、回数をセットする。

© JAHIS 2017

付録－１．処方区分、用法ごとのフィールドへのセット内容

		内服薬／在宅自己注射				外用薬	
		不均等なし		不均等	頓用	頓用以外	頓用
		（1日量）	（1回量）				
RXE-3 (R)	与薬量-最小	1日量／回数	1回量	1回量 （最小値）	1回量	"" or 1回量	"" or 1回量
RXE-4	与薬量-最大	null	null	1回量 （最大値）	null	null	null
RXE-7	依頼者の投薬指示	投与量に関する設定はなし	投与量に関する設定はなし	不均等投与量	投与量に関する設定はなし	投与量に関する設定はなし	投与量に関する設定はなし
RXE-10	調剤量	1日量×投与実日数	1回量×回数×投与実日数	1日量×投与実日数	1回量×総回数	全量	全量 or 1回量×総回数
RXE-19	1 日あたりの総投与量	1日量	1回量×回数	1日量	null	null or 1日量	null
TQ1-3	繰返条件	1日回数	1日回数	1日回数	頓用条件	1日回数、時間間隔など	頓用条件
TQ1-6	期間	投与実日数	投与実日数	投与実日数	null	null or 投与実日数	null
TQ1-14	総発生	null or 総回数 or 投与実日数×1日回数	null or 総回数 or 投与実日数×1日回数	null or 総回数 or 投与実日数×1日回数	総回数	null or 総回数	null or 総回数
TQ1-11	テキスト指令	用法コメント	用法コメント	用法コメント	頓用コメント	1回量、1日当たりの上限	頓用コメント

© JAHIS 2017

付録－２．JAMI 標準用法規格における補足用法コードの使用方法とその例

（１） 日数間隔指定

TQ1-3 の第一成分に「8 桁補足用法コード&補足用法名称&JAMISDP01」とセットする。
16 桁標準用法コードと 8 桁補足用法コードを組み合わせる。

例）　１日３回朝昼夕食後
　　　１日おき（8 桁補足用法コード : I1100000）

　　　メッセージ例（TQ1 のみ）
　　　TQ1|||1013044400000000&内服・経口・１日３回朝昼夕食後&JAMISDP01~I1100000&１日おき&JAMISDP01|||7^D&日&ISO+|20160105

（２） 曜日指定

TQ1-3 の第一成分に「8 桁補足用法コード&補足用法名称&JAMISDP01」とセットする。
16 桁標準用法コードと 8 桁補足用法コードを組み合わせる。

例）　１日３回朝昼夕食後
　　　月曜日、木曜日（8 桁補足用法コード : W0100100）

　　　メッセージ例（TQ1 のみ）
　　　TQ1|||1013044400000000&内服・経口・１日３回朝昼夕食後&JAMISDP01~W0100100&月曜日、木曜日&JAMISDP01|||8^D&日&ISO+|20160105

（３） 日付指定

TQ1-3 の第一成分に「8 桁補足用法コード&補足用法名称&JAMISDP01」とセットする。
16 桁標準用法コードと 8 桁補足用法コードを組み合わせる。
服用月ごとに１つの補足用法コードを使用し、服用月分繰り返す。
同一月内に７回以上服用する場合には、同一月の補足用法コードを２つ以上使用してもよい。

例１）　１日３回朝昼夕食後毎月 10 日、20 日（8 桁補足用法コード : D0AK0000）

　　　メッセージ例（TQ1 のみ）
　　　TQ1|||1013044400000000&内服・経口・１日３回朝昼夕食後&JAMISDP01~D0AK0000&毎月 10 日、20 日&JAMISDP01|||6^D&日&ISO+|20160105

例２）　１日３回朝昼夕食後
　　　12 月 10 日、12 月 20 日、12 月 30 日、1 月 15 日、1 月 30 日
　　　（8 桁補足用法コード : DCAKU000、D1FU0000）

　　　メッセージ例（TQ1 のみ）
　　　TQ1|||1013044400000000&内服・経口・１日３回朝昼夕食後&JAMISDP01~ DCAKU000&12 月 10 日、12 月 20 日、12 月 30 日&JAMISDP01~ D1FU0000&1 月 15 日、1 月 30 日&JAMISDP01|||5^D&

© JAHIS 2017

日&ISO+|20160105

例３）　１日３回朝昼夕食後
毎月１日、４日、８日、11 日、15 日、18 日、22 日、25 日、29 日
（8 桁補足用法コード：D0148BFI、D0MPT000）

メッセージ例（TQ1 のみ）
TQ1|||1013044400000000&内服・経口・１日３回朝昼夕食後&JAMISDP01~D0148BFI&毎月 1 日、4 日、8 日、11 日、15 日、18 日&JAMISDP01~D0MPT000&毎月 22 日、25 日、29 日&JAMISDP01|||27^D&日&ISO+|20160105

（４） 指定期間内回数指定

指定期間内回数指定は、１日分の用法を指定した回数分繰り返すことを想定している。
TQ1-3 の第一成分に「8 桁補足用法コード&補足用法名称&JAMISDP01」とセットする。
16 桁標準用法コードと 8 桁補足用法コードを組み合わせる。

例)　１日３回朝昼夕食後
週１回（8 桁補足用法コード：CW100000）

メッセージ例（TQ1 のみ）
TQ1|||1013044400000000&内服・経口・１日３回朝昼夕食後&JAMISDP01CW100000&週 1 回&JAMISDP01|||4^D&日&ISO+|20160105

（５） 不均等

RXE-7 に「補足用法コード^補足用法名称^JAMISDP01」とセットする。反復セパレータ「~」を用いて１日の服用タイミング分だけ８桁補足用法コードを繰り返す。

例１）　１日４回朝昼夕食後と就寝前
朝：１錠、昼：１錠、夜：１錠、就寝前：２錠
（8 桁補足用法コード：V11NNNNN、V21NNNNN、V31NNNNN、V42NNNNN）

メッセージ例（RXE、TQ1 のみ）
RXE||105271807^ プ レ ド ニ ン 錠 ５ ｍ ｇ ^HOT|1|2|TAB^ 錠 ^MR9P||V11NNNNN^1^JAMISDP01~V21NNNNN^1^JAMISDP01~V31NNNNN^1^JAMISDP01~ V42NNNNN^1^JAMISDP01|||36|TAB^錠^MR9P|||||||6^TAB&錠&MR9P||OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P|||||21^内服薬^JHSP0003
TQ1|||1014144400000000&内服・経口・１日４回朝昼夕食後と就寝前&JAMISDP01|||6^D&日&ISO+|20160105

例２）　１日３回朝昼夕食後
朝：０．８ｇ、昼：０．４ｇ、夕：０．８ｇ
（8 桁補足用法コード：V10.8NNN 、V20.4NNN、V30.8NNN）

メッセージ例（RXE、TQ1 のみ）
RXE||100625402^ テ グ レ ト ー ル 細 粒 50%^HOT|0.4|0.8|G^ ｇ ^MR9P||V10.8NN^0.8^JAMISDP01~V20.4NNN^0.4^JAMISDP01~V30.8NNN^0.8^JAMISDP01|||12|G^ ｇ

© JAHIS 2017

^MR9P|||||||2^G&ｇ&MR9P||OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P|||||21^内服薬^JHSP0003
TQ1|||1013044400000000&内服・経口・１日３回朝昼夕食後&JAMISDP01|||6^D&日&ISO+|20160105

© JAHIS 2017

付録－３．メッセージ使用例

この節では、実際の処方例に基づき、処方メッセージがどの様に構築されるかを示すことで、規約の解釈の相違によるメッセージの使用法に相違が出ない様にする。
次の処方例について、メッセージの例を示す。また、図１に処方せんイメージと HL7 メッセージの対応関係を示す。

（1）内服薬
（2）外用薬
（3）座薬
（4）麻薬
（5）頓服薬
（6）漸増（漸減）投与
（7）隔日投与
（8）曜日指定投与
（9）不均等投与
（１０）交互投与
（１１）在宅自己注射
（１２）処方実施

(A-1) 患者情報照会メッセージ
(A-2) 患者情報応答メッセージ
(B-1) 処方依頼情報照会メッセージ
(B-2) 処方依頼情報応答メッセージ
(C-1) 処方実施情報照会メッセージ
(C-2) 処方実施情報応答メッセージ

© JAHIS 2017

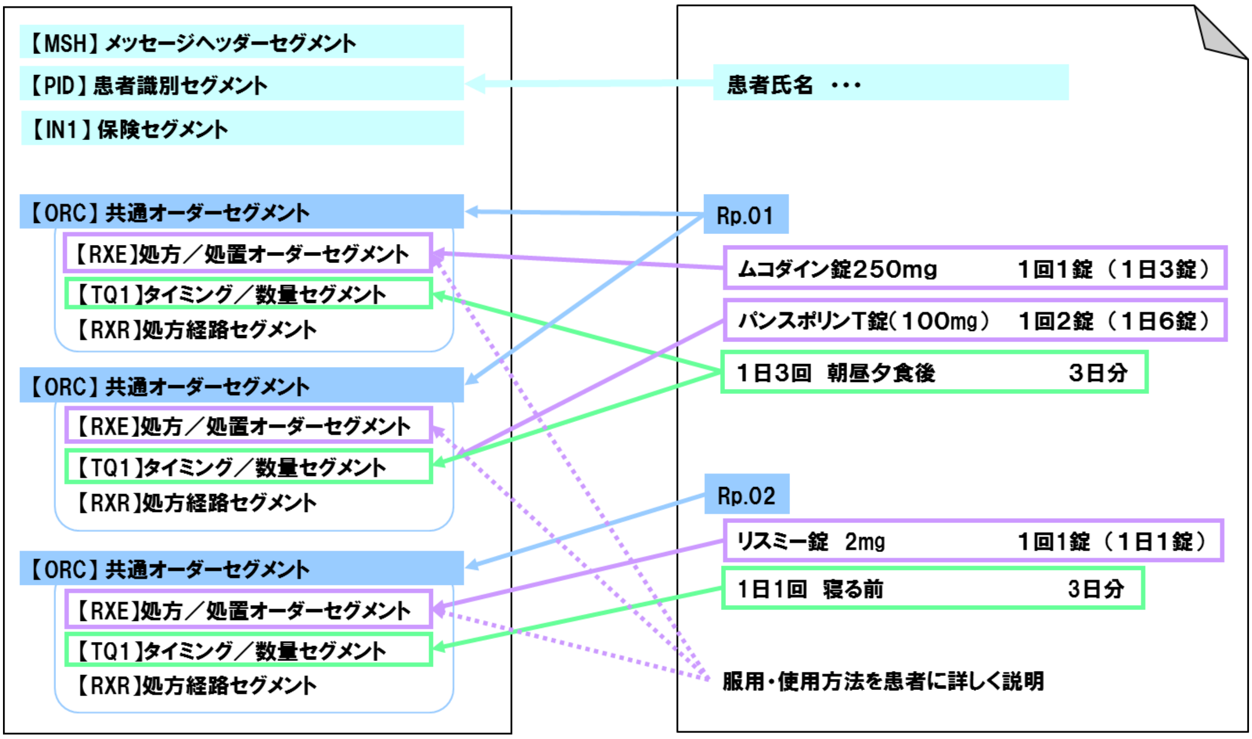


図１　処方せんイメージと HL7 メッセージとのマッピング図

© JAHIS 2017

（1）内服薬

項目名		項目値	備考
オーダ番号		12345678	
依頼日		2016/08/25	
依頼医		医師 春子(123456)	
依頼科		内科(01)	
入外区分		外来(O)	
処方区分		外来院内処方	
Rp1	Rp 番号	01	
	薬剤-1	ムコダイン錠２５０ｍｇ(103835401)	
	１日用量-1	３錠	
	薬剤-2	パンスポリンＴ錠１００　１００ｍｇ (110626901)	
	１日用量-2	6 錠	
	用法	１日３回　毎食後	
	開始日	2016/08/25	
	投与期間	３日分	
Rp2	Rp 番号	02	
	薬剤-1	アレピアチン１０%(100607002)	
	１日用量-1	100mg	
	薬剤-2	フェノバルビタール散１０%「ホエイ」 (100565315)	
	１日用量-2	100mg	
	用法	１日２回　朝夕食後	
	開始日	2016/08/25	
	投与期間	１４日分	

【処方せん表記の参考例】

```
Rp1  ムコダイン錠２５０ｍｇ              1錠      （1日３錠）
     パンスポリンＴ錠１００　１００ｍｇ  2錠      （1日６錠）
       １日３回朝昼夕食後      ３日分

Pp2  アレピアチン１０％                  ５０ｍｇ（1日１００ｍｇ）
     フェノバルビタール散１０％「ホエイ」５０ｍｇ（1日１００ｍｇ）
       １日２回朝夕食後        １４日分
```

```
MSH|^~¥&|SEND||RECEIVE||20160821161523||RDE^O11^RDE_O11|201608211615230143|P|2.5||||||~ISO
IR87||ISO 2022-1994<CR>
PID|||1000000001^^^^PI||患者^太郎^^^^^L^I~カンジャ^タロウ^^^^^L^P||19601224|M<CR>
IN1|1|06^組合管掌健康保険^JHSD0001|""<CR>
ORC|NW|12345678||12345678_01|||||20160825|||123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I~^イシ^ハルコ
^^^^^^^L^^^^^P|||||01^内科^99Z01||||||||||||O^外来患者オーダ^HL70482<CR>
RXE||103835401^ムコダイン錠２５０ｍｇ^HOT|1||TAB^錠^MR9P|| 01^１回目から服用^JHSP0005|||9|TAB^
錠^MR9P||||||||3^TAB&錠&MR9P||OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P||||||21^内服^JHSP0003<CR>
```

© JAHIS 2017

```
TQ1|||1013044400000000&内服・経口・１日３回朝昼夕食後&JAMISDP01|||3^D&日&ISO+|20160825<CR>
RXR|PO^口^HL70162<CR>
ORC|NW|12345678||12345678_01|||||20160825|||123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I~^イシ^ハルコ^^^^^^^L^^^^^P|||||01^内科^99Z01||||||||||||0^外来患者オーダ^HL70482<CR>
RXE||110626901^パンスポリンＴ錠１００　１００ｍｇ^HOT|2||TAB^錠^MR9P|| 01^１回目から服用^JHSP0005|||18|TAB^錠^MR9P||||||||6^TAB&錠&MR9P||OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P||||||21^内服^JHSP0003<CR>
TQ1|||1013044400000000&内服・経口・１日３回朝昼夕食後&JAMISDP01|||3^D&日&ISO+|20160825<CR>
RXR|PO^口^HL70162<CR>
ORC|NW|12345678||12345678_02|||||20160825|||123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I~^イシ^ハルコ^^^^^^^L^^^^^P|||||01^内科^99Z01||||||||||||0^外来患者オーダ^HL70482<CR>
RXE||100607002^アレビアチン散１０%^HOT|50||MG^ミリグラム^MR9P|PWD^散剤^MR9P|01^１回目から服用^JHSP0005|||1.4|G^グラム^MR9P||||||||100^MG&ミリグラム&MR9P||OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P|||||100|MG^ミリグラム^MR9P|21^内服^JHSP0003<CR>
TQ1|||1012040400000000&内服・経口・１日２回朝夕食後&JAMISDP01|||14^D&日&ISO+|20160825<CR>
RXR|PO^口^HL70162<CR>
ORC|NW|12345678||12345678_02|||||20160825|||123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I~^イシ^ハルコ^^^^^^^L^^^^^P|||||01^内科^99Z01||||||||||||0^外来患者オーダ^HL70482<CR>
RXE||100565315^フェノバルビタール散１０%「ホエイ」^HOT|50||MG^ミリグラム^MR9P|PWD^散剤^MR9P|01^１回目から服用^JHSP0005|||1.4|G^グラム^MR9P||||||||100^MG&ミリグラム&MR9P||OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P|||||100|MG^ミリグラム^MR9P|21^内服^JHSP0003<CR>
TQ1|||1012040400000000&内服・経口・１日２回朝夕食後&JAMISDP01|||14^D&日&ISO+|20160825<CR>
RXR|PO^口^HL70162<CR>
<EOM>
```

■ MSH セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	フィールド区切り	|	
2	符号化文字	^~¥&	
3	送信アプリケーション	SEND	
5	受信アプリケーション	RECEIVE	
7	メッセージ日時	20160821161523	
9	メッセージ型	RDE^O11^RDE_O11	
10	メッセージ制御 ID	201608211615230143	
11	処理 ID	P	
12	バージョン ID	2.5	
18	文字セット	~ISO IR87	
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ PID セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	患者 ID リスト	1000000001^^^^PI	
5	患者氏名	患者^太郎^^^^^L^I~カンジャ^タロウ^^^^^L^P	
7	生年月日	19601224	
8	性別	M	

© JAHIS 2017

■ IN1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セットID	1	
2	保険プランID	06^組合管掌健康保険^JHSD0001	
3	保険会社ID	″″	

■ ORC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	NW	
2	依頼者オーダ番号	12345678	
4	依頼者グループ番号	12345678_01	
9	トランザクション日時	20160825	
12	オーダ発行者	123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I~^イシ^ハルコ^^^^^^^L^^^^^P	
17	入力組織	01^内科^99Z01	
29	オーダタイプ	O^外来患者オーダ^HL70482	

■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	与薬コード	103835401^ムコダイン錠２５０ｍｇ^HOT	
3	与薬量-最小	1	
5	与薬単位	TAB^錠^MR9P	
7	依頼者の投薬指示	01^１回目から服用^JHSP0005	
10	調剤量	9	
11	調剤単位	TAB^錠^MR9P	
19	1日あたりの総投与量	3^TAB&錠&MR9P	
21	薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示	OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P	
27	与薬指示	21^内服^JHSP0003	

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	繰返しパターン	1013044400000000&内服・経口・１日３回朝昼夕食後&JAMISDP01	
6	サービス期間	3^D&日&ISO+	
7	開始日時	20160825	

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	PO^口^HL70162	

■ ORC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	NW	
2	依頼者オーダ番号	12345678	

© JAHIS 2017

4	依頼者グループ番号	12345678_01	
9	トランザクション日時	20160825	
12	オーダ発行者	123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I^~^イシ^ハルコ ^^^^^^^L^^^^^P	
17	入力組織	01^内科^99Z01	
29	オーダタイプ	O^外来患者オーダ^HL70482	

■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	与薬コード	110626901^バンスポリンＴ錠１００　１００ｍｇ^HOT	
3	与薬量-最小	2	
5	与薬単位	TAB^錠^MR9P	
7	依頼者の投薬指示	01^１回目から服用^JHSP0005	
10	調剤量	18	
11	調剤単位	TAB^錠^MR9P	
19	1日あたりの総投与量	6^TAB&錠&MR9P	
21	薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示	OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P	
27	与薬指示	21^内服^JHSP0003	

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	繰返しパターン	1013044400000000&内服・経口・１日３回朝昼夕食後&JAMISDP01	
6	サービス期間	3^D&日&ISO+	
7	開始日時	20160825	

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	PO^口^HL70162	

■ ORC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	NW	
2	依頼者オーダ番号	12345678	
4	依頼者グループ番号	12345678_02	
9	トランザクション日時	20160825	
12	オーダ発行者	123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I^~^イシ^ハルコ ^^^^^^^L^^^^^P	
17	入力組織	01^内科^99Z01	
29	オーダタイプ	O^外来患者オーダ^HL70482	

■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	与薬コード	100607002^アレビアチン散１０%^HOT	

© JAHIS 2017

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	与薬量-最小	50	
5	与薬単位	MG^ミリグラム^MR9P	
6	与薬剤形	PWD^散剤^MR9P	
7	依頼者の投薬指示	01^１回目から服用^JHSP0005	
10	調剤量	1.4	
11	調剤単位	G^グラム^MR9P	
19	１日あたりの総投与量	100^MG&ミリグラム&MR9P	
21	薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示	OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P	
25	与薬力価	100	
26	与薬力価単位	MG^ミリグラム^MR9P	
27	与薬指示	21^内服^JHSP0003	

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	繰返しパターン	1012040400000000&内服・経口・１日２回朝夕食後&JAMISDP01	
6	サービス期間	14^D&日&ISO+	
7	開始日時	20160825	

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	PO^口^HL70162	

■ ORC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	NW	
2	依頼者オーダ番号	12345678	
4	依頼者グループ番号	12345678_02	
9	トランザクション日時	20160825	
12	オーダ発行者	123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I^~^イシ^ハルコ^^^^^^^L^^^^^P	
17	入力組織	01^内科^99Z01	
29	オーダタイプ	O^外来患者オーダ^HL70482	

■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	与薬コード	100565315^フェノバルビタール散１０%「ホエイ」^HOT	
3	与薬量-最小	50	
5	与薬単位	MG^ミリグラム^MR9P	
6	与薬剤形	PWD^散剤 ^MR9P	
7	依頼者の投薬指示	01^１回目から服用^JHSP0005	
10	調剤量	1.4	
11	調剤単位	G^グラム^MR9P	

© JAHIS 2017

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
19	1日あたりの総投与量	100^ミリグラム&MG&MR9P	
21	薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示	OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P	
25	与薬力価	100	
26	与薬力価単位	MG^ミリグラム^MR9P	
27	与薬指示	21^内服^JHSP0003	

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	繰返しパターン	1012040400000000&内服・経口・１日２回朝夕食後&JAMISDP01	
6	サービス期間	14^D&日&ISO+	
7	開始日時	20160825	

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	PO^口^HL70162	

© JAHIS 2017

（２）外用薬

項目名		項目値	備考
オーダ番号		12345678	
依頼日		2016/08/25	
依頼医		医師 春子(123456)	
依頼科		内科(01)	
入外区分		外来(O)	
処方区分		外来院外処方	
Rp1	Rp 番号	01	
	薬剤	ジフラール軟膏０．０５%(106238001)	
	全量	２本	
	用法	１日４回左手塗布	
	開始日	2016/08/25	
	投与期間	指定なし	

【処方せん表記の参考例】

```
  Rp01  ジフラール軟膏  ０．０５％                  ２本
        （塗布薬）１日４回
        左手
```

```
MSH|^~¥&|SEND||RECEIVE||20160825161523||RDE^O11^RDE_O11|201608251615230143|P|2.5||||||~ISO
IR87||ISO 2022-1994<CR>
PID|||1000000001^^^^PI||患者^太郎^^^^^L^I~カンジャ^タロウ^^^^^L^P||19601224|M<CR>
IN1|1|06^組合管掌健康保険^JHSD0001|""<CR>
ORC|NW|12345678||12345678_01|||||20160825134500|123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I~^イシ^ハルコ
^^^^^^^L^^^^^P||123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I~^イシ^ハルコ^^^^^^^L^^^^^P|||||01^内科
^99Z01||||||||||||O^外来患者オーダ^HL70482<CR>
RXE||106238001^ジフラール軟膏０．０５％^HOT|""||""|OIT^軟膏^MR9P||||2|HON^本^MR9P||||||||||OHP^
外来処方^MR9P~OHO^院外処方^MR9P||||||23^外用^JHSP0003<CR>
TQ1|||2B74000000000000&外用・塗布・１日４回&JAMISDP01||||20160825<CR>
RXR|AP^外用^HL70162|77L^左手^JAMISDP01<CR>
<EOM>
```

■ MSH セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	フィールド区切り	|	
2	符号化文字	^~¥&	
3	送信アプリケーション	SEND	
5	受信アプリケーション	RECEIVE	
7	メッセージ日時	20160825161523	
9	メッセージ型	RDE^O11^RDE_O11	
10	メッセージ制御 ID	201608251615230143	
11	処理 ID	P	
12	バージョン ID	2.5	

© JAHIS 2017

18	文字セット	~ISO IR87	
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ PID セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	患者 ID リスト	1000000001^^^^PI	
5	患者氏名	患者^太郎^^^^^L^I~カンジャ^タロウ^^^^^L^P	
7	生年月日	19601224	
8	性別	M	

■ IN1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID	1	
2	保険プラン ID	06^組合管掌健康保険^JHSD0001	
3	保険会社 ID	″″	

■ ORC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	NW	
2	依頼者オーダ番号	12345678	
4	依頼者グループ番号	12345678_01	
9	トランザクション日時	20160825134500	
10	入力者	123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I~^イシ^ハルコ^^^^^^^L^^^^^P	
12	オーダ発行者	123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I~^イシ^ハルコ^^^^^^^L^^^^^P	
17	入力組織	01^内科^99Z01	
29	オーダタイプ	O^外来患者オーダ^HL70482	

■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	与薬コード	106238001^ジフラール軟膏０．０５％^HOT	
3	与薬量-最小	″″	
5	与薬単位	″″	
6	与薬剤形	OIT^軟膏^MR9P	
10	調剤量	2	
11	調剤単位	HON^本^MR9P	
21	薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示	OHP^外来処方^MR9P~OHO^院外処方^MR9P	
27	与薬指示	23^外用^JHSP0003	

© JAHIS 2017

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	繰返しパターン	2B74000000000000&外用・塗布・１日４回&JAMISDP01	
7	開始日時	20160825	

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	AP^外用^HL70162	
2	投薬部位	77L^左手^JAMISDP01	

© JAHIS 2017

（３）坐薬

項目名		項目値	備考
オーダ番号		12345678	
依頼日		2016/08/21	
依頼医		医師 春子(123456)	
依頼科		内科(01)	
入外区分		外来(O)	
処方区分		外来院外処方	
Rp1	Rp 番号	01	
	薬剤	ボラギノールN坐薬(105625901)	
	１日用量	２個	
	用法	１日２回朝夕	
	開始日	2016/08/25	
	投与期間	１４日分	

【処方せん表記の参考例】

Rp1　ボラギノールＮ坐薬　　　　　　　　　１個（１日２個）
　　　１日２回朝夕　　　　１４日分

```
MSH|^~¥&|SEND||RECEIVE||20160821161523||RDE^O11^RDE_O11|20160821161523O143|P|2.5||||||~ISO IR87||ISO 2022-1994<CR>
PID|||1000000001^^^^PI||患者^太郎^^^^^L^I~カンジャ^タロウ^^^^^L^P||19601224|M<CR>
IN1|1|06^組合管掌健康保険^JHSD0001|""<CR>
ORC|NW|12345678||12345678_01|||||20160821|||123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I~^イシ^ハルコ^^^^^^^L^^^^^P|||||01^内科^99Z01||||||||||||O^外来患者オーダ^HL70482<CR>
RXE||105625901^ボラギノールN坐薬^HOT|1||KO^個^MR9P|SUP^坐剤^MR9P||||28|KO^個^MR9P||||||||2^KO&個&MR9P||OHP^外来処方^MR9P~OHO^院外処方^MR9P||||||23^外用^JHSP0003<CR>
TQ1|||2R62090900000000&外用・肛門挿入・１日２回朝夕&JAMISDP01|||14^D&日&ISO+|20160825<CR>
RXR|PR^直腸^HL70162|8HO^肛門部^JAMISDP01<CR>
<EOM>
```

■ MSH セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	フィールド区切り	|	
2	符号化文字	^~¥&	
3	送信アプリケーション	SEND	
5	受信アプリケーション	RECEIVE	
7	メッセージ日時	20160821161523	
9	メッセージ型	RDE^O11^RDE_O11	
10	メッセージ制御 ID	20160821161523O143	
11	処理 ID	P	
12	バージョン ID	2.5	
18	文字セット	~ISO IR87	
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

© JAHIS 2017

■ PID セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	患者 ID リスト	1000000001^^^^PI	
5	患者氏名	患者^太郎^^^^^L^I~カンジャ^タロウ^^^^^L^P	
7	生年月日	19601224	
8	性別	M	

■ IN1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID	1	
2	保険プラン ID	06^組合管掌健康保険^JHSD0001	
3	保険会社 ID	″″	

■ ORC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	NW	
2	依頼者オーダ番号	12345678	
4	依頼者グループ番号	12345678_01	
9	トランザクション日時	20160821	
12	オーダ発行者	123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I~~イシ^ハルコ^^^^^^^L^^^^^P	
17	入力組織	01^内科^99Z01	
29	オーダタイプ	O^外来患者オーダ^HL70482	

■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	与薬コード	105625901^ボラギノールN坐薬^HOT	
3	与薬量-最小	1	
5	与薬単位	KO^個^MR9P	
6	与薬剤形	SUP^坐剤^MR9P	
10	調剤量	28	
11	調剤単位	KO^個^MR9P	
19	1 日あたりの総投与量	2^KO &個&MR9P	
21	薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示	OHP^外来処方^MR9P~OHO^院外処方^MR9P	
27	与薬指示	23^外用^JHSP0003	

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	繰返しパターン	2R62090900000000&外用・肛門挿入・１日２回朝夕&JAMISDP01	
6	サービス期間	14^D&日&ISO+	
7	開始日時	20160825	

© JAHIS 2017

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	PR^直腸^HL70162	
2	投薬部位	8HO^肛門部^JAMISDP01	

© JAHIS 2017

（４）麻薬

項目名		項目値	備考
オーダ番号		12345678	
依頼日		2016/08/21	
依頼医		医師 春子(123456)	
依頼科		内科(01)	
麻薬施用者番号		4-321	
入外区分		入院処方	
処方区分		入院定期処方	
Rp1	Rp 番号	01	
	薬剤	ＭＳコンチン錠１０ｍｇ（112052301）	
	１日用量	４錠	
	用法	１日２回　１２時間毎	
	開始日	2016/08/25	
	投与期間	７日分	

【処方せん表記の参考例】

```
Rp01        ＭＳコンチン錠１０ｍｇ                    ４錠
            １日２回（１２時間毎）                    ７日分
```

```
MSH|^~¥&|SEND||RECEIVE||20160821161523||RDE^O11^RDE_O11|20160821161523O143|P|2.5||||||~ISO IR87|
|ISO 2022-1994<CR>
PID|||1000000001^^^^PI||患者^太郎^^^^^L^I~カンジャ^タロウ^^^^^L^P||19601224|M<CR>
IN1|1|06^組合管掌健康保険^JHSD0001|""<CR>
ORC|NW|12345678||12345678_01|||||20160821120000|123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I~^イシ^ハルコ^^^^^
^^L^^^^^P||123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I~^イシ^ハルコ^^^^^^^L^^^^^P|||||01^内科^99Z01||||||||||
||I^入院患者オーダ^HL70482<CR>
RXE||112052301^ＭＳコンチン錠１０ｍｇ^HOT|2||TAB^錠^MR9P|| 02^２回目から服用^JHSP0005|||28|TAB^
錠^MR9P||4-321^医師^春子^^^^^^L^^^^^I||||||4^TAB&錠&MR9P||IHP^入院処方^MR9P~XTR^定期処方^MR9P|||
|||21^内服^JHSP0003<CR>
TQ1|||1022000000000000&内服・経口・１日２回１２時間毎&JAMISDP01|||7^D&日&ISO+|20160825<CR>
RXR|PO^口^HL70162<CR>
<EOM>
```

■ MSH セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	フィールド区切り	|	
2	符号化文字	^~¥&	
3	送信アプリケーション	SEND	
5	受信アプリケーション	RECEIVE	
7	メッセージ日時	20160821161523	
9	メッセージ型	RDE^O11^RDE_O11	
10	メッセージ制御 ID	20160821161523O143	
11	処理 ID	P	

© JAHIS 2017

12	バージョンID	2.5	
18	文字セット	~ISO IR87	
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ PID セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	患者IDリスト	1000000001^^^^PI	
5	患者氏名	患者^太郎^^^^^L^I~カンジャ^タロウ^^^^^L^P	
7	生年月日	19601224	
8	性別	M	

■ IN1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セットID	1	
2	保険プランID	06^組合管掌健康保険^JHSD0001	
3	保険会社ID	″″	

■ ORC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	NW	
2	依頼者オーダ番号	12345678	
4	依頼者グループ番号	12345678_01	
9	トランザクション日時	20160821120000	
10	入力者	123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I~^イシ^ハルコ^^^^^^^L^^^^^P	
12	オーダ発行者	123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I~^イシ^ハルコ^^^^^^^L^^^^^P	
17	入力組織	01^内科^99Z01	
29	オーダタイプ	I^入院患者オーダ^HL70482	

■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	与薬コード	112052301^ＭＳコンチン錠１０ｍｇ^HOT	
3	与薬量-最小	2	
5	与薬単位	TAB^錠^MR9P	
7	依頼者の投薬指示	02^２回目から服用^JHSP0005	
10	調剤量	28	
11	調剤単位	TAB^錠^MR9P	
13	オーダ発行者のDEA番号	4-321^医師^春子^^^^^^L^^^^^I	
19	1日あたりの総投与量	4^TAB&錠&MR9P	
21	薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示	IHP^入院処方^MR9P~XTR^定期処方^MR9P	
27	与薬指示	21^内服^JHSP0003	

© JAHIS 2017

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	繰返しパターン	1022000000000000&内服・経口・１日２回１２時間毎&JAMISDP01	
6	サービス期間	7^D&日&ISO+	
7	開始日時	20160825	

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	PO^口^HL70162	

© JAHIS 2017

（５）頓服薬

項目名		項目値	備考
オーダ番号		12345678	
依頼日		2016/08/21	
依頼医		医師 春子(123456)	
依頼科		内科(01)	
入外区分		外来(O)	
処方区分		外来院内処方	
Rp1	Rp 番号	01	
	薬剤	ボルタレン錠２５ｍｇ （100795402）	
	１回用量	１錠	
	用法	疼痛時	
	用法コメント	１日２回まで	
	開始日	2016/08/25	
	頓用回数	10 回分	

【処方せん表記の参考例】

Rp1　ボルタレン錠(25mg)　　　　　　　１錠
疼痛時　　１０回分
１日２回まで

MSH|^~¥&|SEND||RECEIVE||20160821161523||RDE^O11^RDE_O11|201608211615230143|P|2.5||||||~ISO IR87||ISO 2022-1994<CR>
PID|||1000000001^^^^PI||患者^太郎^^^^^L^I~カンジャ^タロウ^^^^^L^P||19601224|M<CR>
IN1|1|06^組合管掌健康保険^JHSD0001|""<CR>
ORC|NW|12345678||12345678_01|||||20160821|||123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I~^イシ^ハルコ^^^^^^^L^^^^^P|||||01^内科^99Z01||||||||||||O^外来患者オーダ^HL70482<CR>
RXE||100795402^ボルタレン錠２５ｍｇ^HOT|1||TAB^錠^MR9P|||||10|TAB^錠^MR9P||||||||||OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P||||||22^頓用^JHSP0003<CR>
TQ1|||1050110020000000&内服・経口・疼痛時&JAMISDP01||||20160825||||1日2回まで|||10<CR>
RXR|PO^口^HL70162<CR>
<EOM>

■ MSH セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	フィールド区切り	|	
2	符号化文字	^~¥&	
3	送信アプリケーション	SEND	
5	受信アプリケーション	RECEIVE	
7	メッセージ日時	20160821161523	
9	メッセージ型	RDE^O11^RDE_O11	
10	メッセージ制御 ID	201608211615230143	

© JAHIS 2017

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
11	処理 ID	P	
12	バージョン ID	2.5	
18	文字セット	~ISO IR87	
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ PID セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	患者 ID リスト	1000000001^^^^PI	
5	患者氏名	患者^太郎^^^^^L^I~カンジャ^タロウ^^^^^L^P	
7	生年月日	19601224	
8	性別	M	

■ IN1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID	1	
2	保険プラン ID	06^組合管掌健康保険^JHSD0001	
3	保険会社 ID	""	

■ ORC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	NW	
2	依頼者オーダ番号	12345678	
4	依頼者グループ番号	12345678_01	
9	トランザクション日時	20160821	
12	オーダ発行者	123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I~^イシ^ハルコ^^^^^^^L^^^^^P	
17	入力組織	01^内科^99Z01	
29	オーダタイプ	O^外来患者オーダ^HL70482	

■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	与薬コード	100795402^ボルタレン錠２５ｍｇ^HOT	
3	与薬量-最小	1	
5	与薬単位	TAB^錠^MR9P	
10	調剤量	10	
11	調剤単位	TAB^錠^MR9P	
21	薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示	OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P	
27	与薬指示	22^頓用^JHSP0003	

© JAHIS 2017

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	繰返しパターン	1050110020000000&内服・経口・疼痛時&JAMISDP01	
7	開始日時	20160825	
11	テキスト指令	1日2回まで	
14	発生総数	10	

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	PO^口^HL70162	

© JAHIS 2017

（６）漸増（漸減）投与

項目名		項目値	備考
オーダ番号		12345678	
依頼日		2016/08/21	
依頼医		医師 春子(123456)	
依頼科		内科(01)	
入外区分		外来(O)	
処方区分		外来院内処方	
Rp1	Rp 番号	01	
	薬剤	ペルマックス錠５０μg(101230901)	
	１回用量(日)	1 錠 (1 錠)	
	用法	１日１回夕食直後	
	開始日	2016/08/25	
	投与期間	２日分	
Rp2	Rp 番号	02	
	薬剤	ペルマックス錠５０μg(101230901)	
	１回用量(日)	2 錠 (4 錠)	
	用法	１日２回朝夕食直後	
	開始日	2016/08/27	
	投与期間	３日分	
Rp3	Rp 番号	03	
	薬剤	ペルマックス錠５０μg(101230901)	
	１回用量(日)	3 錠 (9 錠)	
	用法	１日３回毎食直後	
	開始日	2016/08/30	
	投与期間	２日分	

【処方せん表記の参考例】

Rp01	ペルマックス錠５０μg	１錠
	１日１回夕食直後	２日分
	8月25日から	
Rp02	ペルマックス錠５０μg	４錠
	１日２回朝夕食直後	３日分
	8月27日から	
Rp03	ペルマックス錠５０μg	９錠
	１日３回朝昼夕食直後	２日分
	8月30日から	

```
MSH|^~¥&|SEND||RECEIVE||20160821161523||RDE^O11^RDE_O11|20160821161523O143|P|2.5||||||~ISO IR87|
|ISO 2022-1994<CR>
PID|||1000000001^^^^PI||患者^太郎^^^^^L^I~カンジャ^タロウ^^^^^L^P||19601224|M<CR>
IN1|1|06^組合管掌健康保険^JHSD0001|""<CR>
ORC|NW|12345678||12345678_01|||||20160821103242|123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I~^イシ^ハルコ^^^^^
^^L^^^^^P||123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I~^イシ^ハルコ^^^^^^^L^^^^^P|||||01^内科^99Z01||||||||||
```

© JAHIS 2017

```
||I^入院患者オーダ^HL70482<CR>
RXE||101230901^ペルマックス錠５０μｇ^HOT|1||TAB^錠^MR9P|||||2|TAB^錠^MR9P||||||||1^TAB&錠&MR9P|
|OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P||||||21^内服^JHSP0003<CR>
TQ1|||1011030000000000&内服・経口・１日１回夕食直後&JAMISDP01|||2^D&日&ISO+|20160825<CR>
RXR|PO^口^HL70162<CR>
ORC|NW|12345678||12345678_02|||||20160821103242|123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I~^イシ^ハルコ^^^^^
^^L^^^^^P||123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I~^イシ^ハルコ^^^^^^^L^^^^^P|||||01^内科^99Z01||||||||||
||I^入院患者オーダ^HL70482<CR>
RXE||101230901^ペルマックス錠５０μｇ^HOT|2||TAB^錠^MR9P|||||12|TAB^錠^MR9P||||||||4^TAB&錠&MR9P
||OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P||||||21^内服^JHSP0003<CR>
TQ1|||1012030300000000&内服・経口・１日２回朝夕食直後&JAMISDP01|||3^D&日&ISO+|20160827<CR>
RXR|PO^口^HL70162<CR>
ORC|NW|12345678||12345678_03|||||20160821103242|123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I~^イシ^ハルコ^^^^^
^^L^^^^^P||123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I~^イシ^ハルコ^^^^^^^L^^^^^P|||||01^内科^99Z01||||||||||
||I^入院患者オーダ^HL70482<CR>
RXE||101230901^ペルマックス錠５０μｇ^HOT|3||TAB^錠^MR9P|||||18|TAB^錠^MR9P||||||||9^TAB&錠&MR9P
||OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P||||||21^内服^JHSP0003<CR>
TQ1|||1013033300000000&内服・経口・１日３回朝昼夕食直後&JAMISDP01|||2^D&日&ISO+|20160830<CR>
RXR|PO^口^HL70162<CR>
<EOM>
```

■ MSH セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	フィールド区切り	|	
2	符号化文字	^~¥&	
3	送信アプリケーション	SEND	
5	受信アプリケーション	RECEIVE	
7	メッセージ日時	20160821161523	
9	メッセージ型	RDE^O11^RDE_O11	
10	メッセージ制御 ID	201608211615230143	
11	処理 ID	P	
12	バージョン ID	2.5	
18	文字セット	~ISO IR87	
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ PID セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	患者 ID リスト	1000000001^^^^PI	
5	患者氏名	患者^太郎^^^^^L^I~カンジャ^タロウ^^^^^L^P	
7	生年月日	19601224	
8	性別	M	

■ IN1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID	1	
2	保険プラン ID	06^組合管掌健康保険^JHSD0001	

© JAHIS 2017

3	保険会社 ID	””	

■ ORC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	NW	
2	依頼者オーダ番号	12345678	
4	依頼者グループ番号	12345678_01	
9	トランザクション日時	20160821103242	
10	入力者	123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I~^^イシ^ハルコ^^^^^^^L^^^^^P	
12	オーダ発行者	123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I~^^イシ^ハルコ^^^^^^^L^^^^^P	
17	入力組織	01^内科^99Z01	
29	オーダタイプ	I^入院患者オーダ^HL70482	

■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	与薬コード	101230901^ペルマックス錠５０μｇ^HOT	
3	与薬量-最小	1	
5	与薬単位	TAB^錠^MR9P	
10	調剤量	2	
11	調剤単位	TAB^錠^MR9P	
19	１日あたりの総投与量	1^TAB&錠&MR9P	
21	薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示	OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P	
27	与薬指示	21^内服^JHSP0003	

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	繰返しパターン	1011030000000000&内服・経口・１日１回夕食直後&JAMISDP01	
6	サービス期間	2^D&日&ISO+	
7	開始日時	20160825	

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	PO^口^HL70162	

■ ORC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	NW	
2	依頼者オーダ番号	12345678	
4	依頼者グループ番号	12345678_02	

© JAHIS 2017

9	トランザクション日時	20160821103242	
10	入力者	123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I~^イシ^ハルコ ^^^^^^^L^^^^^P	
12	オーダ発行者	123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I~^イシ^ハルコ ^^^^^^^L^^^^^P	
17	入力組織	01^内科^99Z01	
29	オーダタイプ	I^入院患者オーダ^HL70482	

■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	与薬コード	101230901^ペルマックス錠５０μｇ^HOT	
3	与薬量-最小	2	
5	与薬単位	TAB^錠^MR9P	
10	調剤量	12	
11	調剤単位	TAB^錠^MR9P	
19	１日あたりの総投与量	4^TAB&錠&MR9P	
21	薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示	OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P	
27	与薬指示	21^内服^JHSP0003	

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	繰返しパターン	1012030300000000&内服・経口・１日２回朝夕食直後 &JAMISDP01	
6	サービス期間	3^D&日&ISO+	
7	開始日時	20160827	

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	PO^口^HL70162	

■ ORC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	NW	
2	依頼者オーダ番号	12345678	
4	依頼者グループ番号	12345678_03	
9	トランザクション日時	20160821103242	
10	入力者	123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I~^イシ^ハルコ ^^^^^^^L^^^^^P	
12	オーダ発行者	123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I~^イシ^ハルコ ^^^^^^^L^^^^^P	
17	入力組織	01^内科^99Z01	
29	オーダタイプ	I^入院患者オーダ^HL70482	

© JAHIS 2017

■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	与薬コード	101230901^ペルマックス錠５０μｇ^HOT	
3	与薬量-最小	3	
5	与薬単位	TAB^錠^MR9P	
10	調剤量	18	
11	調剤単位	TAB^錠^MR9P	
19	１日あたりの総投与量	9^TAB&錠&MR9P	
21	薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示	OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P	
27	与薬指示	21^内服^JHSP0003	

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	繰返しパターン	1013033300000000&内服・経口・１日３回朝昼夕食直後&JAMISDP01	
6	サービス期間	2^D&日&ISO+	
7	開始日時	20160830	

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	PO^口^HL70162	

© JAHIS 2017

（７）隔日投与

項目名		項目値	備考
オーダ番号		12345678	
依頼日		2016/08/21	
依頼医		医師 春子(123456)	
依頼科		内科(01)	
入外区分		外来(O)	
処方区分		外来院内処方	
Rp1	Rp 番号	01	
	薬剤	プレドニン錠５ｍｇ(105271807)	
	１日用量	３錠	
	用法	１日１回朝食後（１日おき）	
	開始日	2016/08/25	
	投与期間	７日分（１４日間）	

【処方せん表記の参考例】

Rp01	プレドニン錠５ｍｇ	３錠
	１日１回朝食後	７日分
	１日おきに服用	

```
MSH|^~¥&|SEND||RECEIVE||20160821161523||RDE^O11^RDE_O11|20160821161523O143|P|2.5||||||~ISO
IR87||ISO 2022-1994<CR>
PID|||1000000001^^^^PI||患者^太郎^^^^^L^I~カンジャ^タロウ^^^^^L^P||19601224|M<CR>
IN1|1|06^組合管掌健康保険^JHSD0001|""<CR>
ORC|NW|12345678||12345678_01|||||20160825|||123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I~^イシ^ハルコ
^^^^^^^L^^^^^P|||||01^内科^99Z01||||||||||||O^外来患者オーダ^HL70482<CR>
RXE||105271807^プレドニン錠５ｍｇ^HOT|3||TAB^錠^MR9P|||||21|TAB^錠^MR9P||||||||3^TAB&錠
&MR9P||OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P||||||21^内服^JHSP0003<CR>
TQ1|||1011000400000000&内服・経口・１日１回朝食後&JAMISDP01~I1100000&１日おき&JAMISDP01|||7^D&日
&ISO+|20160825<CR>
RXR|PO^口^HL70162<CR>
<EOM>
```

■ MSH セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	フィールド区切り	|	
2	符号化文字	^~¥&	
3	送信アプリケーション	SEND	
5	受信アプリケーション	RECEIVE	
7	メッセージ日時	20160821161523	
9	メッセージ型	RDE^O11^RDE_O11	
10	メッセージ制御 ID	20160821161523O143	
11	処理 ID	P	
12	バージョン ID	2.5	

© JAHIS 2017

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
18	文字セット	~ISO IR87	
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ PID セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	患者 ID リスト	1000000001^^^^PI	
5	患者氏名	患者^太郎^^^^^L^I~カンジャ^タロウ^^^^^L^P	
7	生年月日	19601224	
8	性別	M	

■ IN1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID	1	
2	保険プラン ID	06^組合管掌健康保険^JHSD0001	
3	保険会社ＩＤ	″″	

■ ORC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	NW	
2	依頼者オーダ番号	12345678	
4	依頼者グループ番号	12345678_01	
9	トランザクション日時	20160825	
12	オーダ発行者	123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I^~^イシ^ハルコ ^^^^^^^L^^^^^P	
17	入力組織	01^内科^99Z01	
29	オーダタイプ	O^外来患者オーダ^HL70482	

■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	与薬コード	105271807^プレドニン錠５ｍｇ^HOT	
3	与薬量-最小	3	
5	与薬単位	TAB^錠^MR9P	
10	調剤量	21	
11	調剤単位	TAB^錠^MR9P	
19	1 日あたりの総投与量	3^TAB&錠&MR9P	
21	薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示	OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P	
27	与薬指示	21^内服^JHSP0003	

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	繰返しパターン	1011000400000000&内服・経口・１日１回朝食後 &JAMISDP01~I1100000&１日おき&JAMISDP01	
6	サービス期間	7^D&日&ISO+	

© JAHIS 2017

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
7	開始日時	20160825	

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	PO^ロ^HL70162	

© JAHIS 2017

（８）曜日指定投与

項目名		項目値	備考
オーダ番号		12345678	
依頼日		2016/08/21	
依頼医		医師 春子(123456)	
依頼科		内科(01)	
入外区分		外来(O)	
処方区分		外来院外処方	
Rp1	Rp 番号	01	
	薬剤	プレドニン錠５ｍｇ(105271807)	
	１日用量	３錠	
	用法	１日１回朝食後（月曜日、木曜日）	
	開始日	2016/08/25	
	投与期間	７日分	

【処方せん表記の参考例】

Rp01	プレドニン錠５ｍｇ	３錠
	１日１回朝食後	７日分
	月曜日、木曜日に服用	

MSH|^~¥&|SEND||RECEIVE||20160821161523||RDE^O11^RDE_O11|201608211615230143|P|2.5||||||~ISO IR87||ISO 2022-1994<CR>
PID|||1000000001^^^^PI||患者^太郎^^^^^L^I~カンジャ^タロウ^^^^^L^P||19601224|M<CR>
IN1|1|06^組合管掌健康保険^JHSD0001|""<CR>
ORC|NW|12345678||12345678_01|||||20160825|||123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I~^イシ^ハルコ^^^^^^^L^^^^^P|||||01^内科^99Z01||||||||||||O^外来患者オーダ^HL70482<CR>
RXE||105271807^プレドニン錠５ｍｇ^HOT|3||TAB^錠^MR9P|||||21|TAB^錠^MR9P||||||||3^TAB&錠&MR9P||OHP^外来処方^MR9P~OHO^院外処方^MR9P||||||21^内服^JHSP0003<CR>
TQ1|||1011000400000000&内服・経口・１日１回朝食後&JAMISDP01~ W0100100&月曜日、木曜日&JAMISDP01|||7^D&日&ISO+|20160825<CR>
RXR|PO^口^HL70162<CR>
<EOM>

■ MSH セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	フィールド区切り	|	
2	符号化文字	^~¥&	
3	送信アプリケーション	SEND	
5	受信アプリケーション	RECEIVE	
7	メッセージ日時	20160821161523	
9	メッセージ型	RDE^O11^RDE_O11	
10	メッセージ制御 ID	201608211615230143	
11	処理 ID	P	
12	バージョン ID	2.5	

© JAHIS 2017

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
18	文字セット	~ISO IR87	
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ PID セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	患者 ID リスト	1000000001^^^^PI	
5	患者氏名	患者^太郎^^^^^L^I~カンジャ^タロウ^^^^^L^P	
7	生年月日	19601224	
8	性別	M	

■ IN1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID	1	
2	保険プラン ID	06^組合管掌健康保険^JHSD0001	
3	保険会社ＩＤ	""	

■ ORC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	NW	
2	依頼者オーダ番号	12345678	
4	依頼者グループ番号	12345678_01	
9	トランザクション日時	20160825	
12	オーダ発行者	123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I~^イシ^ハルコ^^^^^^^L^^^^^P	
17	入力組織	01^内科^99Z01	
29	オーダタイプ	O^外来患者オーダ^HL70482	

■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	与薬コード	105271807^プレドニン錠５ｍｇ^HOT	
3	与薬量-最小	3	
5	与薬単位	TAB^錠^MR9P	
10	調剤量	21	
11	調剤単位	TAB^錠^MR9P	
19	1 日あたりの総投与量	3^TAB&錠&MR9P	
21	薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示	OHP^外来処方^MR9P~OHO^院外処方^MR9P	
27	与薬指示	21^内服^JHSP0003	

© JAHIS 2017

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	繰返しパターン	1011000400000000&内服・経口・１日１回朝食後&JAMISDP01~ W0100100&月曜日、木曜日&JAMISDP01	
6	サービス期間	7^D&日&ISO+	
7	開始日時	20160825	

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	PO^口^HL70162	

© JAHIS 2017

（９）不均等投与

項目名		項目値	備考
オーダ番号		12345678	
依頼日		2016/08/21	
依頼医		医師 春子(123456)	
依頼科		内科(01)	
入外区分		外来(O)	
処方区分		外来院内処方	
Rp1	Rp 番号	01	
	薬剤	プレドニン錠５ｍｇ(105271807)	
	１日用量	７錠（４錠－２錠－１錠）	
	用法	１日３回毎食後（不均等）	
	開始日	2016/08/25	
	投与期間	７日分	

【処方せん表記の参考例】

Rp01　プレドニン錠５ｍｇ　　朝4錠、昼2錠、夕方1錠（１日７錠）
　　　　１日３回朝昼夕食後　　７日分

```
MSH|^~¥&|SEND||RECEIVE||20160821161523||RDE^O11^RDE_O11|20160821161523O143|P|2.5||||||~ISO IR87|
|ISO 2022-1994<CR>
PID|||1000000001^^^^PI||患者^太郎^^^^^L^I~カンジャ^タロウ^^^^^L^P||19601224|M<CR>
IN1|1|06^組合管掌健康保険^JHSD0001|""<CR>
ORC|NW|12345678||12345678_01|||||20160821104529|123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I~^イシ^ハルコ^^^^^
^^L^^^^^P||123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I~^イシ^ハルコ^^^^^^^L^^^^^P|||||01^内科^99Z01|||||||||
||O^外来患者オーダ^HL70482<CR>
RXE||105271807^プレドニン錠５ｍｇ^HOT|1|4|TAB^錠^MR9P||V14NNNNN^４錠^JAMISDP01~V22NNNNN^２錠^JAM
ISDP01~V31NNNNN^１錠^JAMISDP01|||49|TAB^錠^MR9P||||||||7^TAB&錠&MR9P||OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内
処方^MR9P||||||21^内服薬^JHSP0003<CR>
TQ1|||1013044400000000&内服・経口・１日３回朝昼夕食後&JAMISDP01|||7^D&日&ISO+|20160825<CR>
RXR|PO^口^HL70162<CR>
<EOM>
```

■ MSH セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	フィールド区切り	|	
2	符号化文字	^~¥&	
3	送信アプリケーション	SEND	
5	受信アプリケーション	RECEIVE	
7	メッセージ日時	20160821161523	
9	メッセージ型	RDE^O11^RDE_O11	
10	メッセージ制御 ID	20160821161523O143	
11	処理 ID	P	
12	バージョン ID	2.5	

© JAHIS 2017

18	文字セット	~ISO IR87	
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ PID セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	患者 ID リスト	1000000001^^^^PI	
5	患者氏名	患者^太郎^^^^^L^I~カンジャ^タロウ^^^^^L^P	
7	生年月日	19601224	
8	性別	M	

■ IN1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID	1	
2	保険プラン ID	06^組合管掌健康保険^JHSD0001	
3	保険会社 ID	""	

■ ORC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	NW	
2	依頼者オーダ番号	12345678	
4	依頼者グループ番号	12345678_01	
9	トランザクション日時	20160821104529	
12	オーダ発行者	123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I~^イシ^ハルコ^^^^^^^L^^^^^P	
17	入力組織	01^内科^99Z01	
29	オーダタイプ	O^外来患者オーダ^HL70482	

■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	与薬コード	105271807^プレドニン錠５ｍｇ^HOT	
3	与薬量-最小	1	
4	与薬量-最大	4	
5	与薬単位	TAB^錠^MR9P	
7	依頼者の投薬指示	V14NNNNN^４錠^JAMISDP01~V22NNNNN^２錠^JAMISDP01~V31NNNNN^１錠^JAMISDP01	
10	調剤量	49	
11	調剤単位	TAB^錠^MR9P	
19	１日あたりの総投与量	7^TAB&錠&MR9P	
21	薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示	OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P	
27	与薬指示	21^内服^JHSP0003	

© JAHIS 2017

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	繰返しパターン	1013044400000000&内服・経口・1日3回朝昼夕食後&JAMISDP01	
6	サービス期間	7^D&日&ISO+	
7	開始日時	20160825	

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	PO^口^HL70162	

© JAHIS 2017

（１０）交互投与

項目名		項目値	備考
オーダ番号		12345678	
依頼日		2016/08/21	
依頼医		医師 春子(123456)	
依頼科		内科(01)	
入外区分		外来(O)	
処方区分		外来院内処方	
Rp1	Rp 番号	01	
	薬剤	プレドニン錠５ｍｇ(105271807)	
	１日用量	３錠	
	用法	１日１回朝食後（隔日）	
	開始日	2016/08/25	
	投与期間	７日分（１４日間）	
Rp2	Rp 番号	02	
	薬剤	プレドニン錠５ｍｇ(105271807)	
	１日用量	１錠	
	用法	１日１回朝食後（隔日）	
	開始日	2016/08/26	
	投与期間	７日分（１４日間）	

【処方せん表記の参考例】

Rp01　プレドニン錠５ｍｇ　３錠
　１日１回朝食後（隔日）　７日分
　開始日：2016/8/25

Rp02　プレドニン錠５ｍｇ　１錠
　１日１回朝食後（隔日）　７日分
　開始日：2016/8/26

MSH|^~¥&|SEND||RECEIVE||20160821161523||RDE^O11^RDE_O11|201608211615230143|P|2.5||||||~ISO IR87||ISO 2022-1994<CR>
PID|||1000000001^^^^PI||患者^太郎^^^^^L^I~カンジャ^タロウ^^^^^L^P||19601224|M<CR>
IN1|1|06^組合管掌健康保険^JHSD0001|""<CR>
ORC|NW|12345678||12345678_01|||||20160825|||123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I~^イシ^ハルコ^^^^^^^L^^^^^P|||||01^内科^99Z01||||||||||||O^外来患者オーダ^HL70482<CR>
RXE||105271807^プレドニン錠５ｍｇ^HOT|3||TAB^錠^MR9P|||||21|TAB^錠^MR9P||||||||3^TAB&錠&MR9P||OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P||||||21^内服^JHSP0003<CR>
TQ1|||1011000400000000&１日１回朝食後&JAMISDP01~I1100000&隔日&JAMISDP01|||7^D&日&ISO+|20160825<CR>
RXR|PO^口^HL70162<CR>
ORC|NW|12345678||12345678_02|||||20160825|||123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I~^イシ^ハルコ^^^^^^^L^^^^^P|||||01^内科^99Z01||||||||||||O^外来患者オーダ^HL70482<CR>
RXE||105271807^プレドニン錠５ｍｇ^HOT|1||TAB^錠^MR9P|||||7|TAB^錠^MR9P||||||||1^TAB&錠

© JAHIS 2017

&MR9P||OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P|||||21^内服^JHSP0003<CR>
TQ1|||1011000400000000&1日1回朝食後&JAMISDP01~I1100000&隔日&JAMISDP01|||7^D&日&ISO+|20160826<CR>
RXR|PO^口^HL70162<CR>
<EOM>

■ MSH セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	フィールド区切り	|	
2	符号化文字	^~¥&	
3	送信アプリケーション	SEND	
5	受信アプリケーション	RECEIVE	
7	メッセージ日時	20160821161523	
9	メッセージ型	RDE^011^RDE_011	
10	メッセージ制御 ID	201608211615230143	
11	処理 ID	P	
12	バージョン ID	2.5	
18	文字セット	~ISO IR87	
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ PID セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	患者 ID リスト	1000000001^^^^PI	
5	患者氏名	患者^太郎^^^^^L^I~カンジャ^タロウ^^^^^L^P	
7	生年月日	19601224	
8	性別	M	

■ IN1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID	1	
2	保険プラン ID	06^組合管掌健康保険^JHSD0001	
3	保険会社 ID	””	

■ ORC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	NW	
2	依頼者オーダ番号	12345678	
4	依頼者グループ番号	12345678_01	
9	トランザクション日時	20160825	
12	オーダ発行者	123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I~^イシ^ハルコ^^^^^^^L^^^^^P	
17	入力組織	01^内科^99Z01	
29	オーダタイプ	O^外来患者オーダ^HL70482	

© JAHIS 2017

■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	与薬コード	105271807^プレドニン錠５ｍｇ^HOT	
3	与薬量-最小	3	
5	与薬単位	TAB^錠^MR9P	
10	調剤量	21	
11	調剤単位	TAB^錠^MR9P	
19	1 日あたりの総投与量	3^TAB&錠&MR9P	
21	薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示	OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P	
27	与薬指示	21^内服薬^JHSP0003	

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	繰返しパターン	1011000400000000&１日１回朝食後&JAMISDP01~I1100000&隔日&JAMISDP01	
6	サービス期間	7^D&日&ISO+	
7	開始日時	20160825	

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	PO^口^HL70162	

■ ORC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	NW	
2	依頼者オーダ番号	12345678	
4	依頼者グループ番号	12345678_02	
9	トランザクション日時	20160825	
12	オーダ発行者	123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I~^イシ^ハルコ^^^^^^^L^^^^^P	
17	入力組織	01^内科^99Z01	
29	オーダタイプ	O^外来患者オーダ^HL70482	

■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	与薬コード	105271807^プレドニン錠５ｍｇ^HOT	
3	与薬量-最小	1	
5	与薬単位	TAB^錠^MR9P	
10	調剤量	7	
11	調剤単位	TAB^錠^MR9P	
19	1 日あたりの総投与量	1^TAB&錠&MR9P	
21	薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示	OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P	

© JAHIS 2017

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	繰返しパターン	1011000400000000&１日１回朝食後&JAMISDP01~ I1100000&隔日&JAMISDP01	
6	サービス期間	7^D&日&ISO+	
7	開始日時	20160826	

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	PO^口^HL70162	指示された投与経路

© JAHIS 2017

（１１）在宅自己注射

項目名		項目値	備考
オーダ番号		12345678	
依頼日		2016/08/21	
依頼医		医師 春子(123456)	
依頼科		内科(01)	
入外区分		外来(O)	
処方区分		外来院外処方	
Rp1	Rp 番号	01	
	薬剤	ヒューマリンN注１００単位／ｍL (105466802)	
	１日用量	５０単位	
	用法	１日１回朝食直前	
	開始日	2016/08/25	
	投与期間	１４日分	

【処方せん表記の参考例】

Rp1　ヒューマリンＮ注　　　　　　　　５０単位（１日５０単位）
　　　　１日１回朝食前　　　１４日分

```
MSH|^~¥&|SEND||RECEIVE||20160821161523||RDE^O11^RDE_O11|201608211615230143|P|2.5||||||~ISO IR87||ISO 2022-1994<CR>
PID|||1000000001^^^^PI||患者^太郎^^^^^L^I~カンジャ^タロウ^^^^^L^P||19601224|M<CR>
IN1|1|06^組合管掌健康保険^JHSD0001|""<CR>
ORC|NW|12345678||12345678_01|||||20160821|||123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I~^イシ^ハルコ^^^^^^^L^^^^^P|||||01^内科^99Z01||||||||||||O^外来患者オーダ^HL70482<CR>
RXE||105466802^ヒューマリンＮ注１００単位／ｍＬ^HOT|50||UNT^単位^MR9P|INJ^注射剤^MR9P||||700|UNT^単位^MR9P||||||||50^UNT&単位&MR9P||OHP^外来処方^MR9P~OHO^院外処方^MR9P||||||24^自己注射^JHSP0003<CR>
TQ1|||3211000200000014&注射・皮下注射・１日１回朝食直前・ワンショット・在宅・自己&JAMISDP01|||14^D&日&ISO+|20160825<CR>
RXR|SC^皮下^HL70162<CR>
<EOM>
```

■ MSH セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	フィールド区切り	|	
2	符号化文字	^~¥&	
3	送信アプリケーション	SEND	
5	受信アプリケーション	RECEIVE	
7	メッセージ日時	20160821161523	
9	メッセージ型	RDE^O11^RDE_O11	
10	メッセージ制御 ID	201608211615230143	
11	処理 ID	P	
12	バージョン ID	2.5	

© JAHIS 2017

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
18	文字セット	~ISO IR87	
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ PID セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	患者 ID リスト	1000000001^^^^PI	
5	患者氏名	患者^太郎^^^^^L^I~カンジャ^タロウ^^^^^L^P	
7	生年月日	19601224	
8	性別	M	

■ IN1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID	1	
2	保険プラン ID	06^組合管掌健康保険^JHSD0001	
3	保険会社 ID	″″	

■ ORC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	NW	
2	依頼者オーダ番号	12345678	
4	依頼者グループ番号	12345678_01	
9	トランザクション日時	20160821	
12	オーダ発行者	123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I^^イシ^ハルコ^^^^^^^L^^^^^P	
17	入力組織	01^内科^99Z01	
29	オーダタイプ	O^外来患者オーダ^HL70482	

■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	与薬コード	105466802^ヒューマリンＮ注１００単位／ｍＬ^HOT	
3	与薬量-最小	50	
5	与薬単位	UNT^単位^MR9P	
6	与薬剤形	INJ^注射剤^MR9P	
10	調剤量	700	
11	調剤単位	UNT^単位^MR9P	
19	1 日あたりの総投与量	50^UNT&単位&MR9P	
21	薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示	OHP^外来処方^MR9P~OHO^院外処方^MR9P	
27	与薬指示	24^自己注射^JHSP0003	

© JAHIS 2017

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	繰返しパターン	3211000200000014&注射・皮下注射・１日１回朝食直前・ワンショット・在宅・自己&JAMISDP01	
6	サービス期間	14^D&日&ISO+	
7	開始日時	20160825	

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	SC^皮下^HL70162	

© JAHIS 2017

（１２）処方実施

項目名		項目値	備考
オーダ番号		12345678	
依頼日		2016/08/25	
依頼医		医師 春子(123456)	
依頼科		内科(01)	
入外区分		入院(I)	
Rp1	Rp 番号	01	
	薬剤-1	ムコダイン錠２５０ｍｇ(103835401)	
	投与量-1	1 錠	
	薬剤-2	パンスポリンＴ錠１００　１００ｍｇ (110626901)	
	投与量-2	0 錠	※投与せず
	投与開始日時	2016/08/25 08:30	
	投与終了日時	2016/08/25 08:30	
	投与者	看護師 夏子(20001)	
	投与場所	09A 病棟 021 病室 4 ベッド	
	実施更新日時	2016/08/25 12:03:43	

```
MSH|^~¥&|SEND||RECEIVE||20160821161523||RAS^O17^RAS_O17|201608211615230143|P|2.5||||||~ISO
IR87||ISO 2022-1994<CR>
PID|||1000000001^^^^PI||患者^太郎^^^^^L^I~カンジャ^タロウ^^^^^L^P||19601224|M<CR>
ORC|NW|12345678||12345678_01|||||20160825|||123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I~^イシ^ハルコ
^^^^^^^L^^^^^P|||||01^内科^99Z01||||||||||||I^入院患者オーダ^HL70482<CR>
RXA|0|1|201608250830|201608250830|103835401^ムコダイン錠２５０ｍｇ^HOT |1|TAB^錠
^MR9P||2016082501^2016年8月25日の01回目^JHSP0006|20001^看護師^夏子
^^^^^^^L^^^^^I|09A^021^4^^^N|||||||||CP||20160825120343<CR>
RXA|0|1|""|""|110626901^パンスポリンＴ錠１００　１００ｍｇ^HOT|0|TAB^錠^MR9P||2016082501^2016
年8月25日の01回目^JHSP0006|20001^看護師^夏子
^^^^^^^L^^^^^I|09A^021^4^^^N|||||||||NA||20160825120343<CR>
RXR|PO^口^HL70162<CR>
<EOM>
```

■ MSH セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	フィールド区切り	|	
2	符号化文字	^~¥&	
3	送信アプリケーション	SEND	
5	受信アプリケーション	RECEIVE	
7	メッセージ日時	20160821161523	
9	メッセージ型	RAS^O17^RAS_O17	
10	メッセージ制御 ID	201608211615230143	
11	処理 ID	P	

© JAHIS 2017

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
12	バージョン ID	2.5	
18	文字セット	~ISO IR87	
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ PID セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	患者 ID リスト	1000000001^^^^PI	
5	患者氏名	患者^太郎^^^^^L^I~カンジャ^タロウ^^^^^L^P	
7	生年月日	19601224	
8	性別	M	

■ ORC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	NW	
2	依頼者オーダ番号	12345678	
4	依頼者グループ番号	12345678_01	
9	トランザクション日時	20160825	
12	オーダ発行者	123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I~^イシ^ハルコ^^^^^^^L^^^^^P	
17	入力組織	01^内科^99Z01	
29	オーダタイプ	O^外来患者オーダ^HL70482	

■ RXA セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	与薬サブ ID カウンター	0	
2	投薬サブ ID カウンター	1	
3	投薬開始日時	201608250830	
4	投薬終了日時	201608250830	
5	投薬コード	103835401^ムコダイン錠２５０ｍｇ^HOT	
6	投薬量	1	
7	投薬単位	TAB^錠^MR9P	
9	投薬注記	2016082501^2016 年 8 月 25 日の 01 回目^JHSP0006	
10	投薬者	20001^看護師^夏子^^^^^^^L^^^^^I	
11	投薬場所	09A^021^4^^^N	
20	完了状態	CP	
22	システム入力日時	20160825120343	

■ RXA セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	与薬サブ ID カウンター	0	
2	投薬サブ ID カウンター	1	
3	投薬開始日時	””	
4	投薬終了日時	””	

© JAHIS 2017

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
5	投薬コード	110626901^パンスポリンＴ錠１００　１００ｍｇ^HOT	
6	投薬量	0	
7	投薬単位	TAB^錠^MR9P	
9	投薬注記	2016082501^2016 年 8 月 25 日の 01 回目^JHSP0006	
10	投薬者	20001^看護師^夏子^^^^^^^L^^^^^I	
11	投薬場所	09A^021^4^^^N	
20	完了状態	NA	
22	システム入力日時	20160825120343	

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	PO^ロ^HL70162	

© JAHIS 2017

（A-1）患者情報の照会

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.1「付録 - 1. メッセージ例」を参照のこと。

（A-2）患者情報の応答

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.1「付録 - 1. メッセージ例」を参照のこと。

© JAHIS 2017

（B-1）処方依頼情報照会メッセージ

項目名	項目値	備考
照会条件	照会期間： 2016/8/15～2016/8/25	受信レコード件数：最大 99 件
QPD-8	2016/08/15	依頼日付.LL
QPD-9	2016/08/25	依頼日付.UL

```
MSH|^~¥&|SEND||RECEIVE||20161014171523||QBP^Q11^QBP_Q11|20161014171523|P|2.5||||||~ISO IR87||ISO
2022-1994<CR>
QPD|Z01^Pharmacy Query Sample^99ZPQ|Q002||||||20160815|20160825<CR>
RCP|I|99^RD&レコード&HL70126|R^リアルタイム^HL70394<CR>
<EOM>
```

■ MSH セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	フィールド区切り	|	
2	符号化文字	^~¥&	
3	送信アプリケーション	SEND	
5	受信アプリケーション	RECEIVE	
7	メッセージ日時	20161014171523	
9	メッセージ型	QBP^Q11^QBP_Q11	
10	メッセージ制御 ID	20161014171523	
11	処理 ID	P	
12	バージョン ID	2.5	
18	文字セット	~ISO IR87	
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ QPD セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	メッセージ 照会名	Z01^Pharmacy Query Sample^99ZPQ	照会名
2	照会 タグ	Q002	応答と照会を突合する識別子
8	依頼日付.LL	20160815	依頼日時の最も早い値
9	依頼日付.UL	20160825	依頼日時の最も遅い値

■ RCP セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	照会優先度	I	応答が期待されるタイムフレーム
2	数量制限要求	99^RD&レコード&HL70126	受け入れられる応答の最大長
3	応答様式	R^リアルタイム^HL70394	応答メッセージのタイミングとグルーピング

© JAHIS 2017

（B-2）処方依頼情報応答メッセージ

項目名		項目値	備考
患者 ID		2581159	
患者氏名		患者 一郎	
生年月日		1970/01/01	
性別		男	
オーダ番号		12345678	
依頼日時		2016/08/21 11:43:23	
依頼医／入力者		医師 春子(123456)	
依頼科		内科(01)	
入外区分		外来(O)	
処方区分		外来院内処方	
処方せん受付日時		2016/08/21 10:30:25	
Rp1	Rp 番号	01	
	薬剤	ムコダイン錠２５０ｍｇ(103835401)	
	１日用量	３錠	
	用法	１日３回　毎食後	
	開始日	2016/08/21	
	投与期間	３日分	
Rp2	Rp 番号	02	
	薬剤	パンスポリンＴ錠（１００mg)(110626901)	
	１日用量	６錠	
	用法	１日３回　毎食後	
	開始日	2016/08/21	
	投与期間	３日分	
患者 ID		3656328	
患者氏名		患者 二郎	
生年月日		1985/12/29	
性別		男	
オーダ番号		23456789	
依頼日時		2016/08/25 11:43:23	
依頼医／入力者		医師 春子(123456)	
依頼科		内科(01)	
入外区分		外来(O)	
処方区分		外来院内処方	
処方せん受付日時		2016/08/25 10:30:25	
Rp1	Rp 番号	01	
	薬剤	アレピアチン１０倍散(100607002)	
	１日用量	100mg	
	用法	１日２回　朝夕食後	
	開始日	2016/08/25	
	投与期間	１４日分	

© JAHIS 2017

項目名		項目値	備考
Rp2	Rp 番号	02	
	薬剤	フェノバルビタール１０倍散(100565305)	
	１日用量	100mg	
	用法	１日２回　朝夕食後	
	開始日	2016/08/25	
	投与期間	１４日分	

MSH|^~¥&|SEND||RECEIVE||20160821114323||RSP^K11^RSP_K11|20160821114323|P|2.5||||||~ISO IR87||ISO 2022-1994<CR>

MSA|AA|20161014171523<CR>

QAK|Q002|OK|Z01^Pharmacy Query Sample^99ZPQ|4<CR>

QPD|Z01^Pharmacy Query Sample^99ZPQ|Q002||||||20160815|20160825<CR>

PID|1||2581159^^^^PI||患者^一郎^^^^^L^I~カンジャ^イチロウ^^^^^L^P||19700101|M<CR>

IN1|1|06^組合管掌健康保険^JHSD0001|""<CR>

ORC|RE|12345678||12345678_01|||||20160821114323|123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I~^イシ^ハルコ^^^^^^^L^^^^^P||123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I~^イシ^ハルコ^^^^^^^L^^^^^P|||20160821103025||01^内科^99Z01|||||||||||0^外来患者オーダ^HL70482<CR>

RXE||103835401^ムコダイン錠２５０ｍｇ^HOT|1||TAB^錠^MR9P|||||9|TAB^錠^MR9P||||||||3^TAB&錠&MR9P||OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P||||||21^内服^JHSP0003<CR>

TQ1|||1013044400000000&内服・経口・１日３回朝昼夕食後&JAMISDP01|||3^D&日&ISO+|20160821<CR>

RXR|PO^口^HL70162<CR>

ORC|RE|12345678||12345678_02|||||20160821114323|123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I~^イシ^ハルコ^^^^^^^L^^^^^P||123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I~^イシ^ハルコ^^^^^^^L^^^^^P|||20160821103020||01^内科^99Z01|||||||||||0^外来患者オーダ^HL70482<CR>

RXE||110626901^パンスポリンＴ錠１００　１００ｍｇ^HOT|2||TAB^錠^MR9P|||||18|TAB^錠^MR9P||||||||6^TAB&錠&MR9P||OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P||||||21^内服^JHSP0003<CR>

TQ1|||1013044400000000&内服・経口・１日３回朝昼夕食後&JAMISDP01|||3^D&日&ISO+|20160821<CR>

PID|2||3656328^^^^PI||患者^二郎^^^^^L^I~カンジャ^ジロウ^^^^^L^P||19851229|M<CR>

IN1|1|06^組合管掌健康保険^JHSD0001|""<CR>

ORC|RE|23456789||23456789_01|||||20160825114320|123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I~^イシ^ハルコ^^^^^^^L^^^^^P||123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I~^イシ^ハルコ^^^^^^^L^^^^^P|||20160825103025||01^内科^99Z01|||||||||||0^外来患者オーダ^HL70482<CR>

RXE||100607002^アレビアチン散１０％^HOT|50||MG^ミリグラム^MR9P|PWD^散剤^MR9P||||1400|MG^ミリグラム^MR9P||||||||100^MG&ミリグラム&MR9P||OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P||||||21^内服^JHSP0003<CR>

TQ1|||1012040400000000&内服・経口・１日２回朝夕食後&JAMISDP01|||14^D&日&ISO+|20160825<CR>

RXR|PO^口^HL70162<CR>

ORC|RE|23456789||23456789_02|||||20160825114323|123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I~^イシ^ハルコ^^^^^^^L^^^^^P||123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I~^イシ^ハルコ^^^^^^^L^^^^^P|||20160825103020||01^内科^99Z01|||||||||||0^外来患者オーダ^HL70482<CR>

RXE||100565315^フェノバルビタール散１０％「ホエイ」^HOT|50||MG^ミリグラム^MR9P|PWD^散剤^MR9P||||1400|MG^ミリグラム^MR9P||||||||100^MG&ミリグラム&MR9P||OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P||||||21^内服^JHSP0003<CR>

TQ1|||1012040400000000&内服・経口・１日２回朝夕食後&JAMISDP01|||14^D&日&ISO+|20160825<CR>

RXR|PO^口^HL70162<CR>

<EOM>

© JAHIS 2017

■ MSH セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	フィールド区切り	|	
2	符号化文字	^~¥&	
3	送信アプリケーション	SEND	
5	受信アプリケーション	RECEIVE	
7	メッセージ日時	20160825114324	
9	メッセージ型	RSP^K11^RSP_K11	
10	メッセージ制御 ID	20160825114324	
11	処理 ID	P	
12	バージョン ID	2.5	
18	文字セット	~ISO IR87	
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ MSA セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	肯定応答コード	AA	肯定応答コード
2	メッセージ制御 ID	20161014171523	メッセージ制御 ID

■ QAK セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	照会タグ	Q002	照会識別子
2	照会応答状態	OK	応答状態
3	メッセージ照会名	Z01^Pharmacy Query Sample^99ZPQ	照会名
4	ヒットカウント合計	4	ヒットしたレコードの合計

■ QPD セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	メッセージ照会名	Z01^Pharmacy Query Sample^99ZPQ	照会名
2	照会タグ	Q002	
8	依頼日付.LL	20160815	依頼日時の最も早い値
9	依頼日付.UL	20160825	依頼日時の最も遅い値

■ PID セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID- PID	1	
3	患者 ID リスト	2581159^^^^PI	10 バイト以内
5	患者氏名	患者^一郎^^^^^L^I~カンジャ^イチロウ^^^^^L^P	第 7 成分（名前タイプコード）と第 8 成分（名前表示コード）は必須
7	生年月日	19700101	年は西暦
8	性別	M	性別

© JAHIS 2017

■ IN1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID	1	
2	保険プラン ID	06^組合管掌健康保険^JHSD0001	
3	保険会社 ID	""	

■ ORC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	RE	
2	依頼者オーダ番号	12345678	オーダ番号
4	依頼者グループ番号	12345678_01	オーダ番号_Rp 番号
9	トランザクション日時	20160821114323	依頼日時
10	入力者	123456^医師^春子^^^^^^L^^^^^I~^イシ^ハルコ^^^^^^L^^^^^P	入力者
12	オーダ発行者	123456^医師^春子^^^^^^L^^^^^I~^イシ^ハルコ^^^^^^L^^^^^P	依頼者
15	オーダ有効日時	20160821103025	処方せん受付日時
17	入力組織	01^内科^99Z01	依頼科
29	オーダタイプ	O^外来患者オーダ^HL70482	入外区分

■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	投与コード	103835401^ムコダイン錠２５０ｍｇ^HOT	薬剤コードとその名称
3	投与量-最小	1	1 回の投与量
5	投与単位	TAB^錠^MR9P	RXE-3 の単位コードと名称
10	調剤量	9	指示した薬品の総量
11	調剤単位	TAB^錠^MR9P	RXE-10 の単位コードと名称
19	1 日あたりの総投与量	3^TAB&錠&MR9P	1 日の投与量
21	薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示	OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P	処方区分、薬品コメント、処方せんコメント
27	与薬指示	21^内服^JHSP0003	

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	繰返しパターン	1013044400000000&内服・経口・1 日３回朝昼夕食後&JAMISDP01	用法を表すコードとその名称
6	サービス期間	3^D&日&ISO+	薬剤の投与日数
7	開始日時	20160821	投与開始日時

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	PO^口^HL70162	指示された投与経路

© JAHIS 2017

■ ORC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	RE	
2	依頼者オーダ番号	12345678	オーダ番号
4	依頼者グループ番号	12345678_02	オーダ番号_Rp 番号
9	トランザクション日時	20160821114323	依頼日時
10	入力者	123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I~^イシ^ハルコ^^^^^^^L^^^^^P	入力者
12	オーダ発行者	123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I~^イシ^ハルコ^^^^^^^L^^^^^P	依頼者
15	オーダ有効日時	20160821103025	処方せん受付日時
17	入力組織	01^内科^99Z01	依頼科
29	オーダタイプ	O^外来患者オーダ^HL70482	入外区分

■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	投与コード	110626901^パンスポリンＴ錠１００　１００ｍｇ^HOT	薬剤コードとその名称
3	投与量-最小	2	1 回の投与量
5	投与単位	TAB^錠^MR9P	RXE-3 の単位コードと名称
10	調剤量	18	指示した薬品の総量
11	調剤単位	TAB^錠^MR9P	RXE-10 の単位コードと名称
19	1 日あたりの総投与量	6^TAB&錠&MR9P	1 日の投与量
21	薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示	OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P	処方区分、薬品コメント、処方せんコメント
27	与薬指示	21^内服^JHSP0003	

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	繰返しパターン	1013044400000000&内服・経口・１日３回朝昼夕食後&JAMISDP01	用法を表すコードとその名称
6	サービス期間	3^D&日&ISO+	薬剤の投与日数
7	開始日時	20160821	投与開始日時

■ PID セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID- PID	2	
3	患者 ID リスト	3656328^^^^PI	10 バイト以内
5	患者氏名	患者^二郎^^^^^L^I~カンジャ^ジロウ^^^^^L^P	第 7 成分（名前タイプコード）と第 8 成分（名前表示コード）は必須。
7	生年月日	19851229	年は西暦
8	性別	M	性別

© JAHIS 2017

■ IN1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID	1	
2	保険プラン ID	06^組合管掌健康保険^JHSD0001	
3	保険会社 ID	""	

■ ORC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	RE	
2	依頼者オーダ番号	23456789	オーダ番号
4	依頼者グループ番号	23456789_01	オーダ番号_Rp 番号
9	トランザクション日時	20160825114323	依頼日時
10	入力者	123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I~^イシ^ハルコ^^^^^^^L^^^^^P	入力者
12	オーダ発行者	123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I~^イシ^ハルコ^^^^^^^L^^^^^P	依頼者
15	オーダ有効日時	20160825103025	処方せん受付日時
17	入力組織	01^内科^99Z01	依頼科
29	オーダタイプ	O^外来患者オーダ^HL70482	入外区分

■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	投与コード	100607002^アレピアチン１０%^HOT	薬剤コードとその名称
3	投与量-最小	50	1 回の投与量
5	投与単位	MG^ミリグラム^MR9P	RXE-3 の単位コードと名称
6	投与剤形	PWD^散剤^MR9P	与薬剤形
10	調剤量	1400	指示した薬品の総量
11	調剤単位	MG^ミリグラム^MR9P	RXE-10 の単位コードと名称
19	1 日あたりの総投与量	100^MG&ミリグラム&MR9P	1 日の投与量
21	薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示	OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P	処方区分、薬品コメント、処方せんコメント
27	与薬指示	21^内服^JHSP0003	

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	繰返しパターン	1012040400000000&内服・経口・１日２回朝夕食後&JAMISDP01	用法を表すコードとその名称
6	サービス期間	14^D&日&ISO+	薬剤の投与日数
7	開始日時	20160825	投与開始日時

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	PO^口^HL70162	指示された投与経路

© JAHIS 2017

■ ORC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	RE	
2	依頼者オーダ番号	23456789_01	オーダ番号_版数
4	依頼者グループ番号	23456789_01_02	オーダ番号_版数_Rp 番号
9	トランザクション日時	20160825114323	依頼日時
10	入力者	123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I~^イシ^ハルコ^^^^^^^L^^^^^P	入力者
12	オーダ発行者	123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I~^イシ^ハルコ^^^^^^^L^^^^^P	依頼者
15	オーダ有効日時	20160825103025	処方せん受付日時
17	入力組織	01^内科^99Z01	依頼科
29	オーダタイプ	O^外来患者オーダ^HL70482	入外区分

■ RXE セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
2	投与コード	100565315^フェノバルビタール散１０%「ホエイ」^HOT	薬剤コードとその名称
3	投与量-最小	50	1 回の投与量
5	投与単位	MG^ミリグラム^MR9P	RXE-3 の単位コードと名称
6	投与剤形	PWD^散剤^MR9P	与薬剤形
10	調剤量	1400	指示した薬品の総量
11	調剤単位	MG^ミリグラム^MR9P	RXE-10 の単位コードと名称
19	1 日あたりの総投与量	100^MG&ミリグラム&MR9P	1 日の投与量
21	薬剤部門/治療部門による特別な調剤指示	OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P	処方区分、薬品コメント、処方せんコメント
27	与薬指示	21^内服^JHSP0003	

■ TQ1 セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
3	繰返しパターン	1012040400000000&内服・経口・１日２回朝夕食後&JAMISDP01	用法を表すコードとその名称
6	サービス期間	14^D&日&ISO+	薬剤の投与日数
7	開始日時	20160825	投与開始日時

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	PO^口^HL70162	指示された投与経路

© JAHIS 2017

（C-1）処方実施情報照会メッセージ

項目名	項目値	備考
照会条件	照会期間： 2016/8/15～2016/8/25	受信レコード件数：最大 99 件
QPD-8	2016/08/15	依頼日付.LL
QPD-9	2016/08/25	依頼日付.UL

```
MSH|^~¥&|SEND||RECEIVE||20161014171523||QBP^Q11^QBP_Q11|20161014171523|P|2.5||||||~ISO IR87||ISO 2022-1994<CR>
QPD|Z02^Pharmacy Administration Query Sample^99ZPQ|Q003||||||20160815|20160825<CR>
RCP|I|99^RD&レコード&HL70126|R^リアルタイム^HL70394<CR>
<EOM>
```

■ MSH セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	フィールド区切り	|	
2	符号化文字	^~¥&	
3	送信アプリケーション	SEND	
5	受信アプリケーション	RECEIVE	
7	メッセージ日時	20161014171523	
9	メッセージ型	QBP^Q11^QBP_Q11	
10	メッセージ制御 ID	20161014171523	
11	処理 ID	P	
12	バージョン ID	2.5	
18	文字セット	~ISO IR87	
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ QPD セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	メッセージ 照会名	Z02^Pharmacy Administration Query Sample^99ZPQ	照会名
2	照会 タグ	Q003	応答と照会を突合する識別子
8	依頼日付.LL	20160815	依頼日時の最も早い値
9	依頼日付.UL	20160825	依頼日時の最も遅い値

■ RCP セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	照会優先度	I	応答が期待されるタイムフレーム
2	数量制限要求	99^RD&レコード&HL70126	受け入れられる応答の最大長
3	応答様式	R^リアルタイム^HL70394	応答メッセージのタイミングとグルーピング

© JAHIS 2017

（C-2）処方実施情報応答メッセージ

<table>
<tr><th colspan="2">項目名</th><th>項目値</th><th>備考</th></tr>
<tr><td colspan="2">患者 ID</td><td>1000000001</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">患者氏名</td><td>患者　太郎</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">生年月日</td><td>1970/01/01</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">性別</td><td>男</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">オーダ番号</td><td>12345678</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">依頼日時</td><td>2016/08/21 11:43:23</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">依頼医／入力者</td><td>医師 春子(123456)</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">依頼科</td><td>内科(01)</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">入外区分</td><td>入院(I)</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="10">Rp1</td><td>Rp 番号</td><td>01</td><td></td></tr>
<tr><td>薬剤-1</td><td>ムコダイン錠２５０ｍｇ(103835401)</td><td></td></tr>
<tr><td>投与量-1</td><td>1 錠</td><td></td></tr>
<tr><td>薬剤-2</td><td>パンスポリンT錠１００　１００ｍｇ(110626901)</td><td></td></tr>
<tr><td>投与量-2</td><td>2 錠</td><td></td></tr>
<tr><td>投与開始日時</td><td>2016/08/25 08:30</td><td></td></tr>
<tr><td>投与終了日時</td><td>2016/08/25 08:30</td><td></td></tr>
<tr><td>投与者</td><td>看護師 夏子(20001)</td><td></td></tr>
<tr><td>投与場所</td><td>09A 病棟 021 病室 4 ベッド</td><td></td></tr>
<tr><td>実施更新日時</td><td>2016/08/25 12:03:43</td><td></td></tr>
</table>

```
MSH|^~¥&|SEND||RECEIVE||20160821043130||RSP^K11^RSP_K11|20160821043130|P|2.5||||||~ISO IR87||ISO 2022-1994<CR>
MSA|AA|20160821043124<CR>
QAK|Q003|OK|Z02^Pharmacy Administration Query Sample^99ZPQ|1<CR>
QPD|Z02^Pharmacy Administration Query Sample^99ZPQ|Q003||||||20160815|20160815<CR>
PID|||1000000001^^^^PI||患者^太郎^^^^^L^I~カンジャ^タロウ^^^^^L^P||19601224|M<CR>
ORC|NW|12345678||12345678_01|||||20160825|||123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I~^イシ^ハルコ^^^^^^^L^^^^^P|||||01^内科^99Z01||||||||||||I^入院患者オーダ^HL70482<CR>
RXA|0|1|201608250830|201608250830|103835401^ムコダイン錠２５０ｍｇ^HOT|1|TAB^錠^MR9P|||20001^看護師^夏子^^^^^^^L^^^^^I|09A^021^4^^^N|||||||||CP||20160825120343<CR>
RXA|0|1|201608250830|201608250830|110626901^パンスポリンＴ錠１００　１００ｍｇ^HOT|2|TAB^錠^MR9P|||20001^看護師^夏子^^^^^^^L^^^^^I|09A^021^4^^^N|||||||||CP||20160825120343<CR>
RXR|PO^ロ^HL70162<CR>
<EOM>
```

■ MSH セグメント

<table>
<tr><th>SEQ</th><th>ELEMENT NAME</th><th>値</th><th>備考</th></tr>
<tr><td>1</td><td>フィールド区切り</td><td>|</td><td></td></tr>
<tr><td>2</td><td>符号化文字</td><td>^~¥&</td><td></td></tr>
<tr><td>3</td><td>送信アプリケーション</td><td>SEND</td><td></td></tr>
<tr><td>5</td><td>受信アプリケーション</td><td>RECEIVE</td><td></td></tr>
</table>

© JAHIS 2017

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
7	メッセージ日時	20160821043130	
9	メッセージ型	RSP^K11^RSP_K11	
10	メッセージ制御 ID	20160821043130	
11	処理 ID	P	
12	バージョン ID	2.5	
18	文字セット	~ISO IR87	
20	代替文字セット操作法	ISO 2022-1994	

■ MSA セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	肯定応答コード	AA	肯定応答コード
2	メッセージ制御 ID	20160821043124	メッセージ制御 ID

■ QAK セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	照会タグ	Q003	照会識別子
2	照会応答状態	OK	応答状態
3	メッセージ照会名	Z02^Pharmacy Administration Query Sample^99ZPQ	照会名
4	ヒットカウント合計	1	ヒットしたレコードの合計

■ QPD セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	メッセージ照会名	Z02^Pharmacy Administration Query Sample^99ZPQ	照会名
2	照会タグ	Q003	
8	依頼日付.LL	20160815	依頼日時の最も早い値
9	依頼日付.UL	20160825	依頼日時の最も遅い値

■ PID セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	セット ID- PID	1	
3	患者 ID リスト	1000000001^^^^PI	10 バイト以内
5	患者氏名	患者^太郎^^^^^L^I~カンジャ^タロウ^^^^^L^P	第 7 成分（名前タイプコード）と第 8 成分（名前表示コード）は必須
7	生年月日	19700101	年は西暦
8	性別	M	性別

■ ORC セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	オーダ制御	RE	
2	依頼者オーダ番号	12345678	オーダ番号
4	依頼者グループ番号	12345678_01	オーダ番号_Rp 番号
9	トランザクション日時	20160821114323	依頼日時

© JAHIS 2017

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
10	入力者	123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I~^イシ^ハルコ^^^^^^^L^^^^^P	入力者
12	オーダ発行者	123456^医師^春子^^^^^^^L^^^^^I~^イシ^ハルコ^^^^^^^L^^^^^P	依頼者
15	オーダ有効日時	20160821103025	処方せん受付日時
17	入力組織	01^内科^99Z01	依頼科
29	オーダタイプ	I^入院患者オーダ^HL70482	入外区分

■ RXA セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	与薬サブ ID カウンター	0	
2	投薬サブ ID カウンター	1	
3	投薬開始日時	201608250830	
4	投薬終了日時	201608250830	
5	投薬コード	103835401^ムコダイン錠２５０ｍｇ^HOT	
6	投薬量	1	
7	投薬単位	TAB^錠^MR9P	
10	投薬者	20001^看護師^夏子^^^^^^^L^^^^^I	
11	投薬場所	09A^021^4^^^N	
20	完了状態	CP	
22	システム入力日時	20160825120343	

■ RXA セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	与薬サブ ID カウンター	0	
2	投薬サブ ID カウンター	1	
3	投薬開始日時	201608250830	
4	投薬終了日時	201608250830	
5	投薬コード	110626901^パンスポリンＴ錠１００　１００ｍｇ^HOT	
6	投薬量	2	
7	投薬単位	TAB^錠^MR9P	
10	投薬者	20001^看護師^夏子^^^^^^^L^^^^^I	
11	投薬場所	09A^021^4^^^N	
20	完了状態	CP	
22	システム入力日時	20160825120343	

■ RXR セグメント

SEQ	ELEMENT NAME	値	備考
1	経路	PO^口^HL70162	指示された投与経路

© JAHIS 2017

付録－4．作成者名簿

作成者（社名五十音順）

髙屋 晃司	NECソリューションイノベータ(株)
中田 英男	日本電気(株)
木村 雅彦	日本アイ・ビー・エム(株)
寺澤 徳亮	(株)日立製作所
山口 慶太	(株)日立製作所
窪田 成重	富士通(株)
下邨 雅一	富士通(株)

© JAHIS 2017

改訂履歴		
日付	バージョン	内容
2008/03	Ver. 2.0	Ver.2.0 策定
2013/01	Ver. 2.1	主な改訂内容は以下の通り。 (1) 処方オーダリングシステム用標準用法「服用回数、服用のタイミングに関する標準用法マスタ」の採用 ・標準用法マスタの記載を追加 ・セットする用法マスタに標準用法マスタを採用 ・部位コードに標準用法マスタの「外用部位コード」を採用 (2) IN1 セグメントの説明を追加 ・保険情報をセットするために使用 (3) 各種 JAHIS データ交換規約との整合 (4) メッセージ使用例の見直し
2017/03	Ver.3.0C	主な改訂内容は以下の通り。 (1)「JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.1」との整合 (2) JAMI 標準用法規格における拡張内容の取り込み (3) 処方実施情報、在宅自己注射、持参薬処方への対応 (4) JHSP 表の新規追加 JHSP 表 0005：1日の中での服用開始タイミング JHSP 表 0006：服用実施タイミング JHSP 表 0007：処方区分 (5) 注射データ交換規約との整合を図り、コメント類をセットするフィールドを変更（RXE-21→RXE-7） (6) HL7 関係の説明における不適切な日本語訳の修正 (7) メッセージ使用例の見直し

（ＪＡＨＩＳ標準　ＸＸ－ＸＸＸ）

２０１７年〇月発行

ＪＡＨＩＳ処方データ交換規約Ｖｅｒ．３．０Ｃ

発行元　一般社団法人　保健医療福祉情報システム工業会
〒１０５－０００４　東京都港区新橋２丁目５番５号
（新橋２丁目ＭＴビル５階）

電話　03-3506-8010　　FAX　03-3506-8070

（無断複写・転載を禁ず）